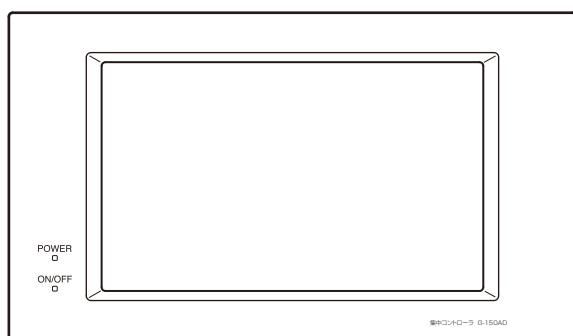




三菱電機 **ビル** 空調管理システム 集中コントローラ G-150AD 取扱説明書



- ご使用の前に、安全のため、この説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
- この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。
- この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。また、海外でのアフターサービスもお受けできませんのでご了承ください。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country.

No servicing is available outside of Japan.



もくじ

安全のために必ず守ること	2
はじめに	4
1 製品の機能	5
2 各部の名称	9
3 表示画面一覧	10
4 最初の電源投入時の設定方法	17
4-1. 拡張コントローラーを使用しない場合	17
4-2. 拡張コントローラーを使用する場合	20
4-3. 拡張コントローラー使用時、複数台のG-150ADを接続する場合	23
5 通常の操作	28
5-1. 運転状態モニター方法	29
5-2. 運転操作・手元禁止操作	33
5-3. スケジュールを設定する	38
5-4. 異常発生中ユニットの一覧を確認する	51
5-5. フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する	53
5-6. 異常履歴を確認する	54
6 初期設定	55
6-1. 設定変更画面への移行操作	55
6-2. 画面をロックする	58
6-3. 現在日時を設定する	59
6-4. ライセンスを登録する	60
6-5. 本体の基本情報を設定する	60
6-6. ネットワークの設定を行う	62
6-7. グループの設定を行う	67
6-8. 換気機器（ロスナイ・加熱加湿付ロスナイ）の連動情報を設定する	71
6-9. ブロックを登録する	73
6-10. フロアレイアウトを設定する	75
6-11. 冷媒系の一覧を確認する	80
6-12. 高度な設定を行う	81

7 機能設定1	85
7-1. ET 制御設定	85
7-2. アドバンストパワーセーブ設定	87
7-3. サーモOFF時送風設定	89
7-4. 計測設定	91
8 機能設定2	97
8-1. 外気温連動制御機能	97
8-2. セットバック機能	100
9 換気設定	103
9-1. 24 時間換気	103
9-2. ナイトパーズ	104
10 ユーザー設定	106
10-1. 保守ユーザーの設定を行う	106
10-2. ビル管理者のユーザー設定を行う	106
11 メンテナンス画面	108
11-1. USBメモリへのデータコピー	108
11-2. USBメモリから設定データを読み込む	110
11-3. 設定データ	111
11-4. 運用データ	113
11-5. タッチパネルの調整を行う	116
11-6. 緊急停止解除画面	117
12 タッチパネルの掃除を行う	118
13 外部入出力機能	119
13-1. 外部入力機能	119
13-2. 外部出力機能	121
14 LAN接続機能	122
15 仕様	122
16 異常コード一覧	123
16-1. M-NET 異常コード	123
16-2. EC line 異常コード	127

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、お使いください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)」の資格のある者が行うこと。

警告

◎据付工事をするときに

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。



地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。



ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。



◎電気工事をするときに

第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。



◎一般注意

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



先のとがった物でタッチパネルを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。



◎移設・修理をするときに

移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

⚠ 注意

◎据付工事をするときに

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しないこと。

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

◎一般注意

ユニットの近くで可燃性スプレーを使用しないこと。また、可燃物を置かないこと。

- 発火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作しないこと。

- 火災・感電・故障のおそれあり。



ぬれ手禁止

水・液体などで洗わないこと。

- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。



水ぬれ禁止

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 環境破壊のおそれあり。



指示を実行

お願い

使用温度範囲を守ってください。

- 範囲外で使用すると故障のおそれあり。

インターネットに接続する場合、セキュリティを確保してください。

- 不正アクセスやいたずら操作のおそれあり。
VPN ルータなどのセキュリティ機器を使用すること。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所に据付けないでください。

- 変形・故障のおそれあり。

特殊用途に使用しないでください。

- 他社の空調機管理や別の用途に使用した場合、誤動作のおそれあり。
三菱電機空調管理システム専用です。

はじめに

本書で、グループ、ブロック、ECという語句を使用しています。
各語句の意味は以下の通りです。

- グループ : G-150ADで管理できる最小の単位で、ユニットをまとめたもの。1グループ最大16ユニット設定可能。
- ブロック : グループをまとめたもの。
- EC : 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) と同義語。

1 製品の機能

本機は、Web対応集中コントローラです。

本機ボタンからの直接操作の他、Web機能を使用しパソコンのブラウザソフトを利用して、空調機の操作・監視が可能です。Web機能を使用する場合、別冊のWebブラウザ操作マニュアルをご覧ください。

機能		内容								
管理台数	室内ユニット 換気機器（ロスナイ） 加熱加湿付ロスナイ 汎用機器	G-150AD 1台につき、最大50ユニットまで接続が可能です。※2 別売の拡張コントローラ（PAC-YG50EC）を併設することで、最大150台（PAC-YG50EC 3台使用時）まで管理台数を増やすことができます。 汎用機器（PAC-YG66DC 接続）の1接点は1ユニットに換算されます。								
	1グループの 室内ユニットの台数	1～16台（連動させない換気機器（ロスナイ）も同様。但し、室内ユニット・換気機器・汎用機器を同一グループに混在させることはできません。）								
	1グループのリモコン台数	1～2台								
	1グループのシステムコントローラ	0～4台（但し、1グループ内のリモコンとシステムコントローラの合計が4台以下になるようにしてください。）								
	連動ロスナイ	1台の連動元（室内ユニット）に連動できる連動機（ロスナイ）……………1台 1台の連動機（ロスナイ）に設定できる連動元（室内ユニット）……………16台								
通常機能 ※1	運転 / 停止 /24時間換気（ロスナイ）	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、運転 / 停止 / 24時間換気（ロスナイ）操作ができます。（機種により24時間換気ボタンがない場合があります。） ※24時間換気設定が有効の場合のみ、24時間換気は表示されます。								
	運転モード	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、冷房 / ドライ / 暖房 / 送風 / 自動の切り換えができます。								
	風速 / 風量（ロスナイ） ※3 ※9	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、4段階の切り換えができます。（機種により2段階・3段階・4段階・自動となります。「自動」の風速は、機能あり機種に対し、操作できます。） （ロスナイの場合、微弱・弱・強・自動の切り換えができます。機種により選択可能な風量は異なります。）								
	設定温度	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で室内温度の設定ができます。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>冷房 / ドライ運転時</th> <th>暖房運転時</th> <th>自動運転時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定温度範囲</td> <td>19℃～30℃</td> <td>17℃～28℃</td> <td>19℃～28℃</td> </tr> </tbody> </table> （機種によって設定可能な温度範囲は異なります。）		冷房 / ドライ運転時	暖房運転時	自動運転時	設定温度範囲	19℃～30℃	17℃～28℃	19℃～28℃
		冷房 / ドライ運転時	暖房運転時	自動運転時						
	設定温度範囲	19℃～30℃	17℃～28℃	19℃～28℃						
	風向設定	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、上下5段階、自動及びスイングの切り換えができます。 （機種により選択可能な風向きは異なります。「上下5段階、自動」の風向は、機能あり機種に対し、操作できます。）								
	換気モード（ロスナイ） ※9	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、普通換気 / 熱交換換気 / 自動換気の切り換えができます。								
	連動ロスナイの運転 / 停止 （ロスナイ）	連動ロスナイのある場合、一括またはグループ単位で運転（強 / 弱） / 停止の切り換えができます。 （但し、連動ロスナイの場合、換気モードの選択はできません。）								
	加湿（ロスナイ）※9	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、運転・停止・自動の切り替えができます。								
	スケジュール ※4	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、曜日パターンの週間スケジュール・年間スケジュール・当日スケジュールを各グループに設定が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 1日に24回の運転スケジュールを設定できます。 スケジュール運転に「運転 / 停止」「運転モード」「設定温度」「風向設定」「風速設定」「手元リモコンの操作禁止設定」の設定が可能です。 （ロスナイの場合、スケジュール運転に「運転 / 停止 / 24時間換気」「換気モード」「加湿」「風量」「手元リモコンの操作禁止設定」の設定が可能です。加熱加湿付ロスナイの場合、スケジュール運転に「運転 / 停止」「運転モード」「換気モード」「設定温度」「風量」「加湿」「手元リモコンの操作禁止」の設定が可能です。） 週間スケジュールを、5種類持つことができ、季節スケジュールの設定ができます。 1年間に5種類の運転パターン（A～E）を設定でき、50日割り当てられます。 設定時刻に設定温度となる最適起動の設定が可能です（室内ユニットのみ）。 								
	スケジュール有効 / 無効	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括でスケジュール有効 / 無効の設定ができます。								
	手元リモコンの操作禁止	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、手元リモコンからの操作を禁止する項目を選択・設定できます。 （禁止できる項目は、運転 / 停止・運転モード・設定温度・フィルターサインです。）								
	フィルターサインリセット	グループ単位 / ブロック単位 / フロア単位 / 一括で、フィルターサイン表示のリセットができます。								
異常リセット	発生中異常の表示のリセットができます。									
異常履歴リセット	異常履歴（ユニット異常、通信異常）のリセットができます。									
外部入力 ※7	外部から一括で、緊急停止 / 通常、緊急停止 復元 / 通常、運転 / 停止、手元リモコンの禁止 / 許可、デマンドレベルの設定ができます。（別売りの外部入出力アダプタが別途必要）									

機能		内容	
通常機能	モニター ※ 1	運転 / 停止 (一括)	ON/OFF LED で 1 グループ以上が運転中、または全グループ停止を表示します。 (汎用機器 (PAC-YG66DC 接続) は除く)
		グループ単位の運転状態	グループ単位で、運転 / 停止・運転モード・風速・設定温度・風向・換気モード・加湿・連動ロスナイの運転 / 停止・スケジュール運転の有効 / 無効・省エネ・セットバック・24 時間換気・ナイトパージを表示します。
		フィルターサイン	グループ単位で、フィルター清掃の時期が来たことをお知らせします。
		手元操作禁止	本機が禁止している内容、または TG-2000 からの禁止内容を表示します。
		計測状態のモニター	温度・湿度データ、電力量データを表示します。
		発生中異常	異常発生中ユニットのアドレスと異常コード、および異常を検出したユニットのアドレスを表示します。
		異常履歴モニター	過去に発生した異常を、最大 384 件まで記憶します。(G-150AD または拡張コントローラ 1 台につき、128 件 (ユニット異常 64 件、通信異常 64 件))
外部出力 ※ 8	外部に一括の運転 / 停止、異常発生の信号を出力できます。 (別売りの外部入出力アダプタが別途必要)		
初期設定機能	初期設定	現在日時設定	現在日時の設定ができます。
		ライセンス登録	購入したライセンスの登録ができます。
		ユニット情報	本体名称、識別番号、拡張コントローラの接続有無、液晶画面輝度、音量、日付表示形式、時刻表示形式、温度表示形式、表示言語、試運転の利用可否、画面ロック機能・室温表示の利用可否の設定ができます。
		ネットワーク設定	LAN に関する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定と M-NET に関する M-NET アドレス、K 伝送コンバータアドレス、手元操作禁止範囲の設定と外部入力の設定、拡張コントローラの設定ができます。
		高度設定	時刻のマスタ / サブ、スケジュール季節設定の有効 / 無効の設定ができます。
		グループ設定	室内ユニット・ロスナイ※ 9・汎用機器・リモコン・下位システムコントローラをグループに登録します。
		ブロック設定	設定したグループをブロックに登録します。
		連動ロスナイ設定	連動ロスナイに、室内ユニットを連動元として登録します。
		フロアレイアウト設定	フロア図の基本設定、グループの表示位置の設定、平面図の設定ができます。
		冷媒系表示	室外ユニットごとに、実際に接続されている室内ユニットを確認できます。
	機能設定	ET 制御設定 ※ 5 ※ 6	室外ユニットごとに ET 制御の有効 / 無効の設定ができます。
		アドバンストパワーセーブ 設定 ※ 5 ※ 6	室外ユニットごとにアドバンストパワーセーブ制御の設定ができます。(有効 / 無効、なし / 弱 / 中 / 強)
		サーモ OFF 時送風設定 ※ 5 ※ 6	室内ユニットごとにサーモ OFF 時送風制御の設定ができます。(冷房時リモコン設定風速 / 停止、暖房時リモコン設定風速 / 弱風 / 微風 / 停止)
		計測設定	環境用計測コントローラの温度センサー・湿度センサーの設定、計量用計測コントローラの電力量計、水道量計などの設定ができます。
		外気温連動制御設定	外気温連動制御機能を利用するための外気温計測ユニットの選択、グループごとに制御レベルの設定ができます。
		セットバック機能設定	セットバック機能を利用するための制御時間帯の設定、グループごとに上限温度・下限温度の設定をすることができます。
	換気設定 ※ 5	24 時間換気	ロスナイの 24 時間換気の有効 / 無効の設定ができます。
		ナイトパージ	ナイトパージ機能を利用するためのナイトパージ有効 / 無効、実施曜日、開始時刻、終了時刻、外気温度閾値、室内外温度差、初期風量の設定ができます。
	ユーザー 情報	保守ユーザー	保守ユーザー名、パスワードの設定ができます。
		ビル管理者	ビル管理者のユーザー名、パスワード、利用可能機能の設定ができます。
	メンテナンス	データバックアップ	設定データ (初期設定、ユーザー情報) を USB メモリに保存できます。
		データ読み込み	設定データ (初期設定、ユーザー情報) を USB メモリから読み込むことができます。
		CSV 出力	運用データ (課金パラメータ、電力量データ) を最大 62 日分 USB メモリに保存できます。
		タッチパネル補正	タッチパネルのタッチ位置を補正することができます。
		緊急停止解除 ※ 10	緊急停止の解除を行うことができます。(緊急停止直前の状態に復元 / スケジュール設定に従って復元 / 復元しない)

機 能		内 容	
その他	データの バックアップ	グループ設定情報 / 連動ロスナイ情報	電源が切れてもグループ設定情報、連動ロスナイ設定情報は保持されます。
		異常履歴	電源が切れても異常履歴データは保持されます。
		スケジュール設定	電源が切れてもグループごとに設定したスケジュール情報は保持されます。
	機器管理	現在日時	電源が切れた場合、内蔵のコンデンサで約 1 週間、現在時刻をバックアップします。 (内蔵のコンデンサの充電には約 1 日かかります。コンデンサ交換の必要はありません。)
		ロック機能	タッチパネル操作をロックすることができ、ユーザー名・パスワードを入力するまで、操作できません。
		タッチパネル掃除	タッチパネルがロックされ、タッチパネルの掃除ができます。
	時刻管理	1 日 1 回、管理しているコントローラ・ユニットの時刻合わせをします。 (時刻合わせ対応コントローラ・ユニットのみ対象)	

- ※ 1: モニター、操作できる範囲は、機種により異なります
- ※ 2: 汎用機器の使用 ch 数によって、制御可能なユニットの最大数は異なります
- ※ 3: 統合ソフト TG-2000 を接続し、微弱風量ありのロスナイを接続する場合は、TG-2000 は Ver.6.39 以降を使用してください。
- ※ 4: 統合ソフト TG-2000 を接続し、週間スケジュールを 3 ~ 5 種類使用する場合は、TG-2000 は Ver.6.39 以降を使用してください。
- ※ 5: 機種によって設定できない場合があります。
- ※ 6: 別途 E 制御ライセンスが必要です。
- ※ 7: 緊急停止・運転 / 停止・デマンドレベルの外部入力機能は、汎用機器 (PAC-YG66DC 接続) では使用できません。
ただし、緊急停止入力は、汎用インターフェース PAC-YG66DC のスイッチ設定により使用できます。
- ※ 8: 汎用機器 (PAC-YG66DC 接続) の運転状態は出力されません。
- ※ 9: ロスナイと加熱加湿付ロスナイを指します。
- ※ 10: 外部入力で緊急停止 復元モード (レベル入力) に設定しているときのみ使用できます。

※上位システムコントローラと下位システムコントローラについて

本機は常に上位システムコントローラとなります。下位システムコントローラとして扱えません。

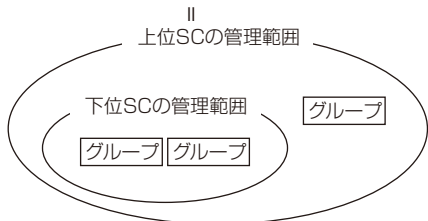
●上位システムコントローラ(上位SC)

他のシステムコントローラの管理範囲全てを包含して管理するシステムコントローラを上位システムコントローラと言います。また、システム内にシステムコントローラが1台しかない場合、そのコントローラも上位システムコントローラとなります。上位システムコントローラでのみグループ設定、および連動設定操作が必要です。

●下位システムコントローラ(下位SC)

自己の管理する範囲全てを上位システムコントローラから管理されるコントローラを下位システムコントローラと言います。

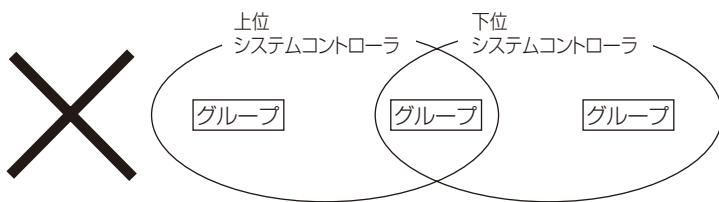
本機 G-150ADやGB-50AD、PAC-YG50ECなど



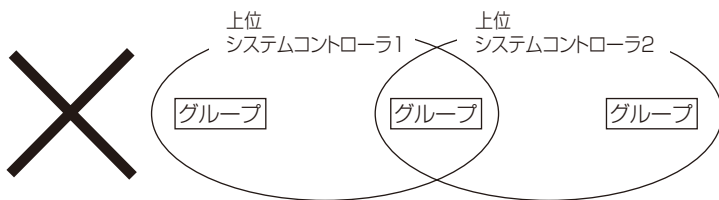
本機は上位SC専用です。下位SCとして上位SC(ゲートウェイなど)から管理することはできません。

お知らせ 次のようなグループ設定はできません。

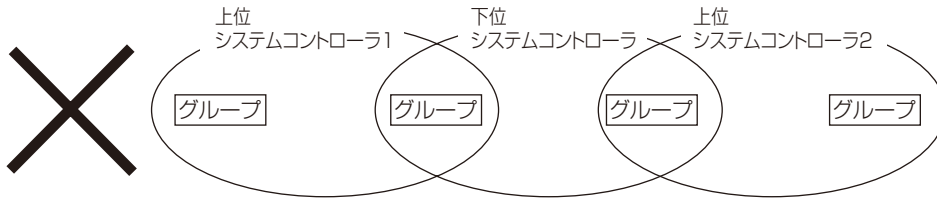
- 上位システムコントローラの管理下でないグループを、下位コントローラから管理する。



- 2台以上の上位システムコントローラで、同じグループを管理する。

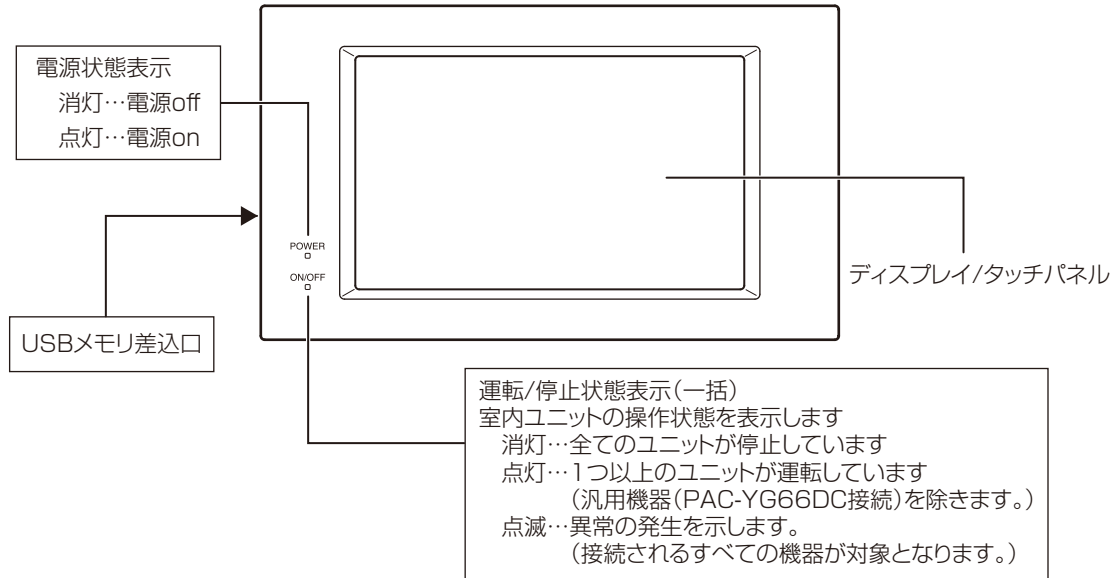


- 2台以上の上位システムコントローラからの管理を受ける下位システムコントローラ



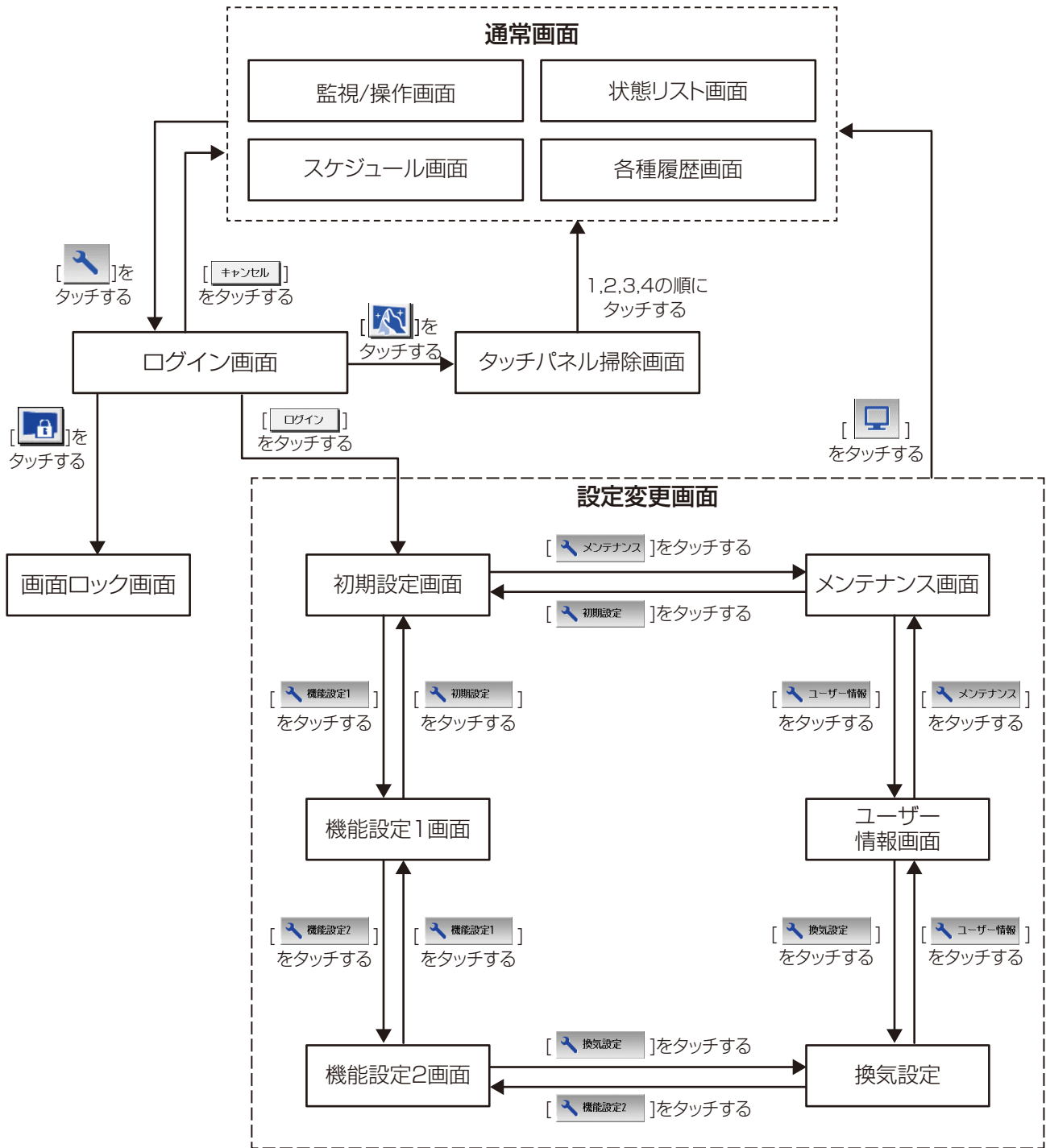
2 各部の名称

お願い 初めて使用される場合、表面カバーの保護シートを剥がしてご使用ください。
※保護シートをつけたままご使用されますと、液晶にシートが貼りつき、誤動作の原因となります。



3 表示画面一覧

各画面の名称と遷移状態を次に示します。



※通常時、画面は表示されておらず、タッチパネルにタッチした時にバックライトが点灯し、画面が表示されます。操作中は、画面は常に表示されます。タッチパネル操作が10分間ない場合、バックライトが消灯し、画面は表示されません。
 ※異常発生時は、タッチパネル操作がない場合でも、常時バックライトは点灯し、画面が表示されます。

お願い

- タッチパネルを何度タッチしても、画面が表示されない場合は、液晶のバックライト故障の可能性があります。この状態で、タッチすると誤操作の原因になりますので、操作を中止し、サービスセンターまでご連絡ください。
- 一度に2箇所タッチすると、違う点が押されたことになり、誤操作の原因になりますので、おやめください。

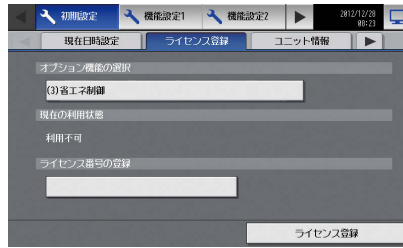


ログイン画面 P.55

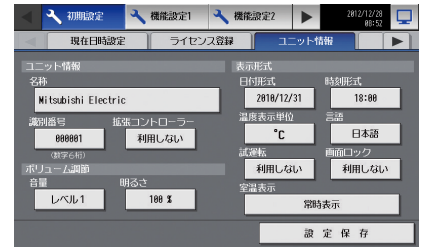
<初期設定画面一覧>



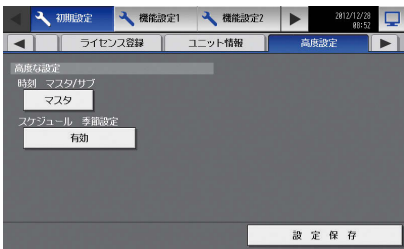
現在日時設定画面 P.59



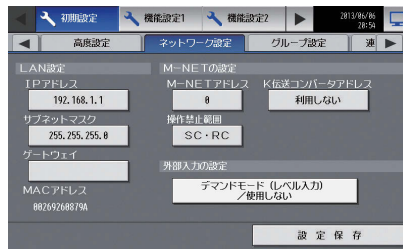
ライセンス登録画面 P.60



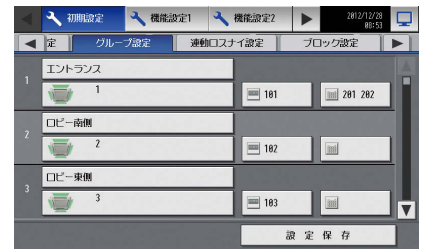
ユニット情報画面 P.60



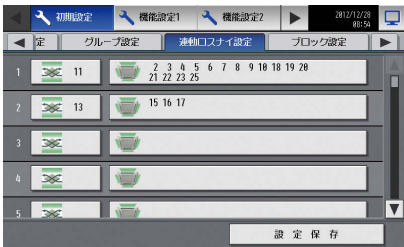
高度設定画面 P.81



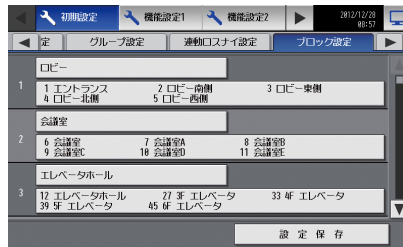
ネットワーク設定画面 P.62



グループ設定画面 P.67



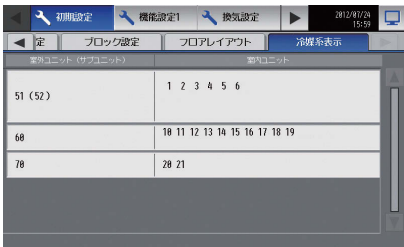
連動ロスナイ設定画面 P.71



ブロック設定画面 P.73



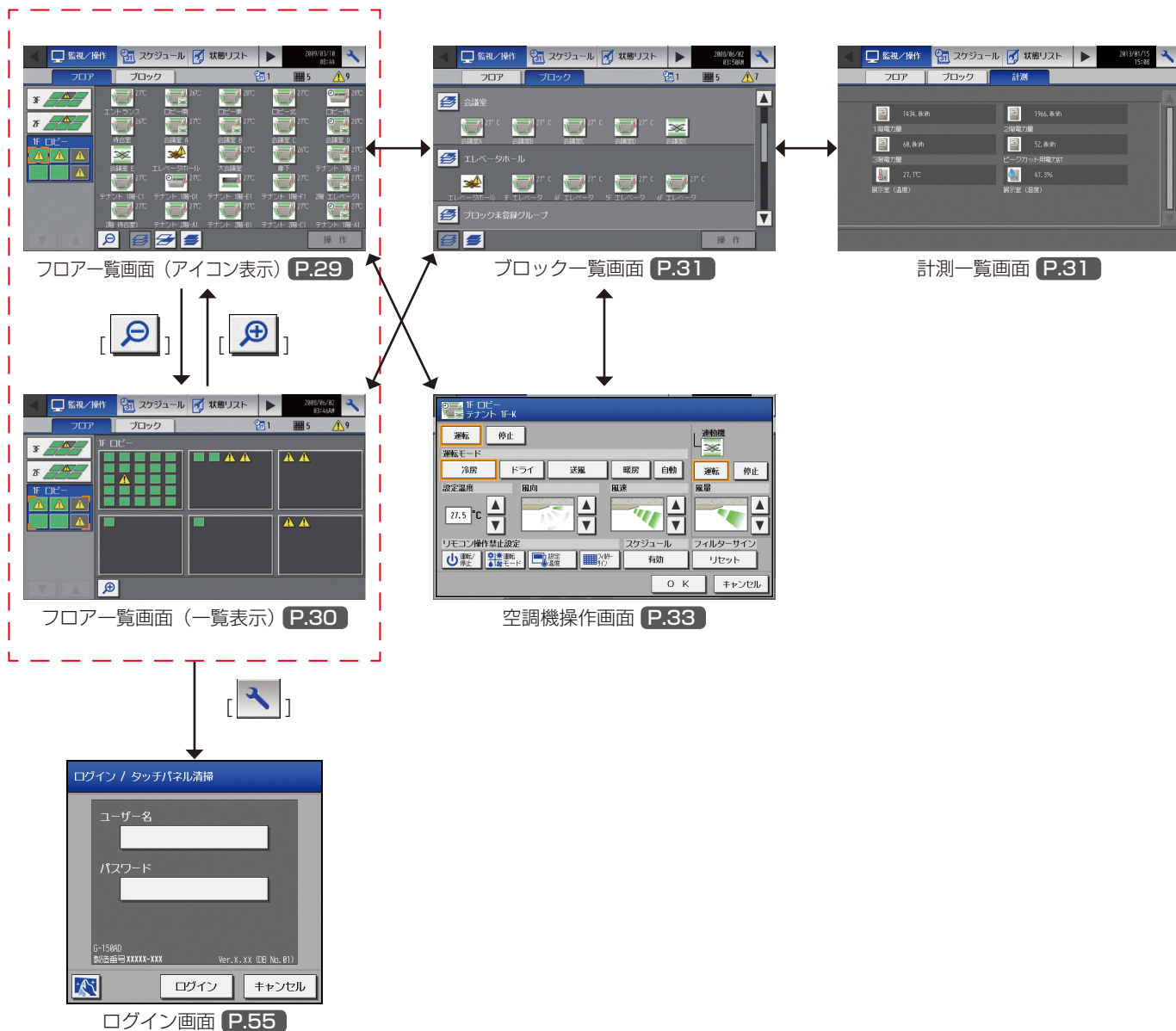
フロアレイアウト設定画面 P.75



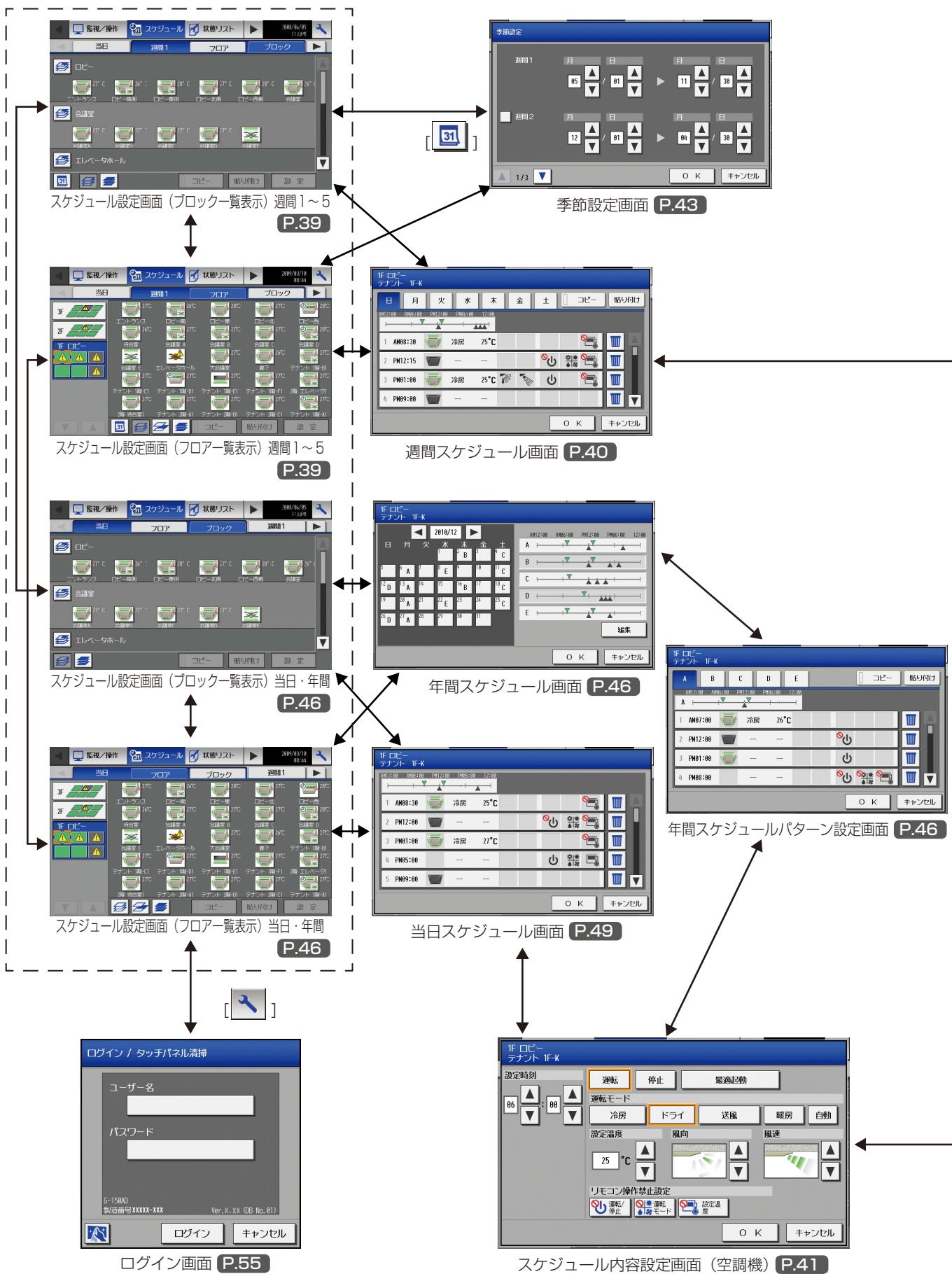
冷媒系表示画面 P.80

上記、初期設定画面の10画面は、サブメニューで切り換え可能です。

<監視・操作画面一覧>



<スケジュール画面一覧>



<状態リスト>

グループ名称	異常発生アドレス	異常コード
1F ロビー エレベータホール	012	6608
1F ロビー 展示ホール	013	6608
1F ロビー 廊下	014	6608
1F ロビー テナント 3F-B	030	6608
1F ロビー テナント 3F-C	031	6608

一括リセット

異常発生中ユニット画面 P.51

ログイン / タッチパネル清掃

ユーザー名

パスワード

G-15000
製造番号 XXXXX-XXX Ver. X.XX (08 No. 01)

ログイン キャンセル

ログイン画面 P.55

[フィルターサイン]
をタッチする

[異常発生中]
をタッチする

グループ名称	アドレス	リセット
1F ロビー 会議室A	007	リセット
1F ロビー 会議室B	008	リセット
1F ロビー テナント 1F-A	015	リセット
1F ロビー テナント 1F-K	025	リセット
1F ロビー 3F エレベータ	027	リセット

一括リセット

フィルターサイン発生中ユニット画面 P.53

<異常履歴>

異常発生日時	異常発生アドレス (検出元)	異常コード	異常側日時
2008/09/01 09:00PM	005 (051)	5010	2008/09/01 09:09PM
2008/09/01 09:00PM	004 (051)	5010	2008/09/01 09:09PM
2008/09/01 09:00PM	003 (051)	5010	2008/09/01 09:09PM
2008/09/01 09:00PM	002 (051)	5010	2008/09/01 09:09PM
2008/09/01 09:00PM	001 (051)	5010	2008/09/01 09:09PM

異常履歴のクリア

ユニット異常履歴画面 P.54

ログイン / タッチパネル清掃

ユーザー名

パスワード

G-15000
製造番号 XXXXX-XXX Ver. X.XX (08 No. 01)

ログイン キャンセル

ログイン画面 P.55

[通信異常]
をタッチする

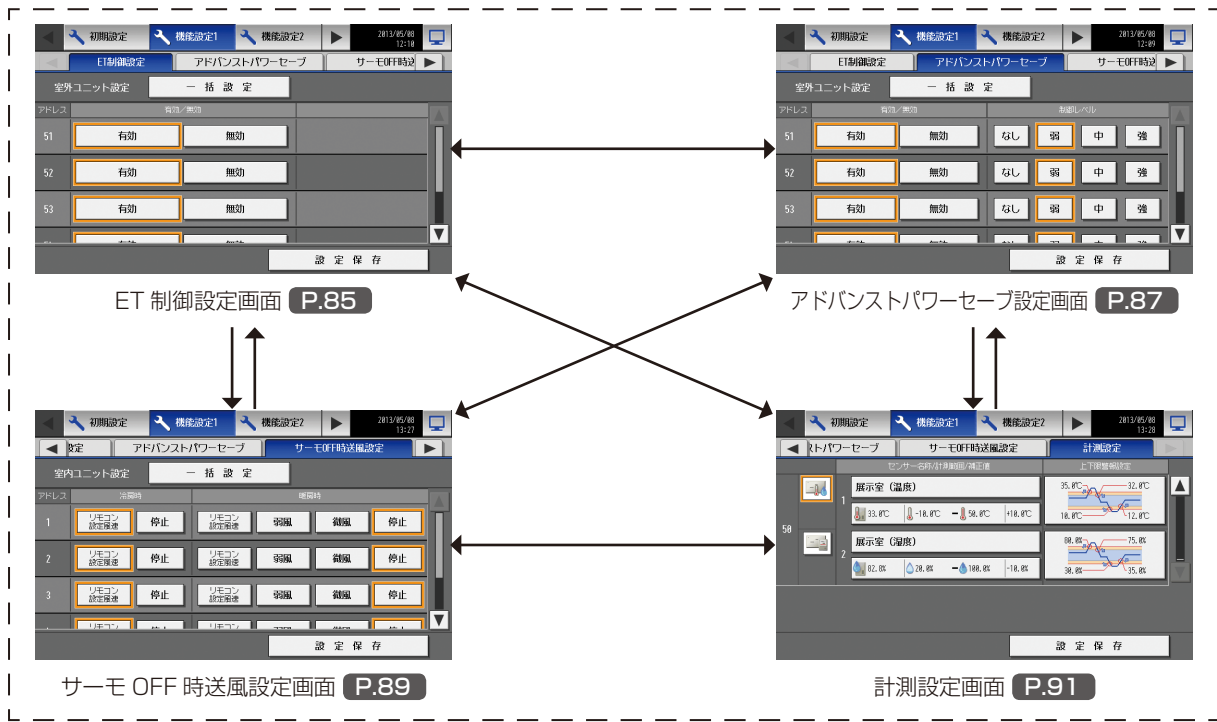
[ユニット異常]
をタッチする

異常発生日時	異常発生アドレス (検出元)	異常コード	異常側日時
2008/06/02 05:22AM	014 (000)	6608	
2008/06/02 05:22AM	013 (000)	6608	
2008/06/02 05:12AM	014 (000)	6608	2008/06/02 05:17AM
2008/06/02 05:12AM	013 (000)	6608	2008/06/02 05:17AM
2008/06/02 05:02AM	014 (000)	6608	2008/06/02 05:07AM

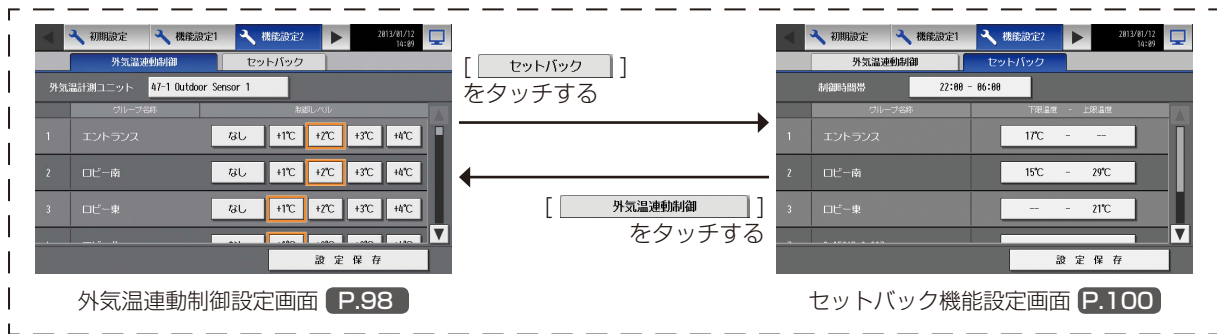
異常履歴のクリア

通信異常履歴画面 P.54

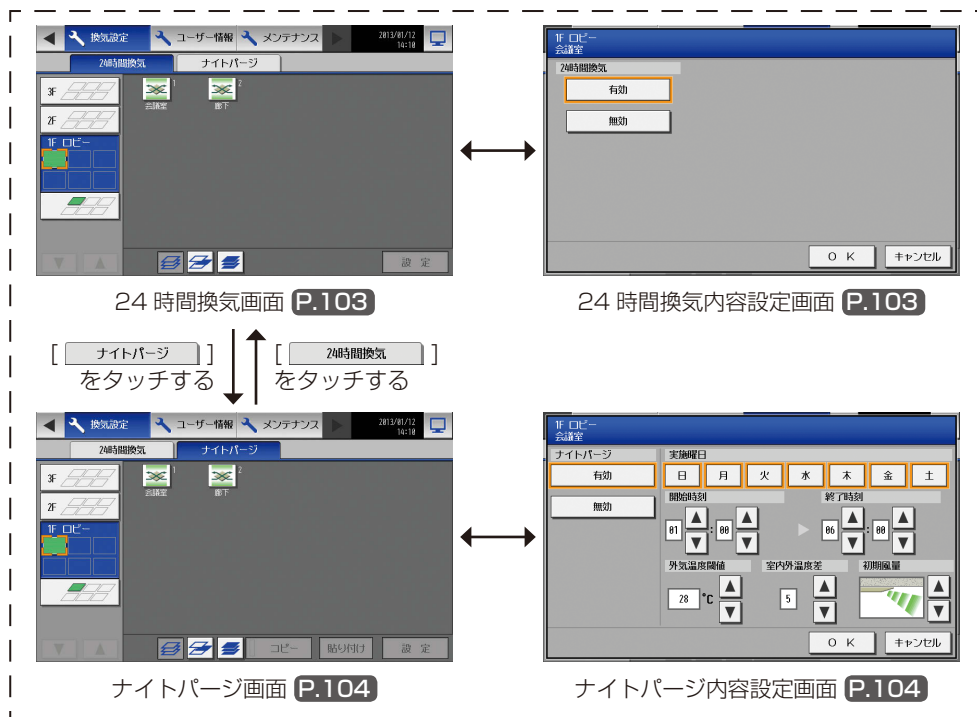
<機能設定 1 画面>



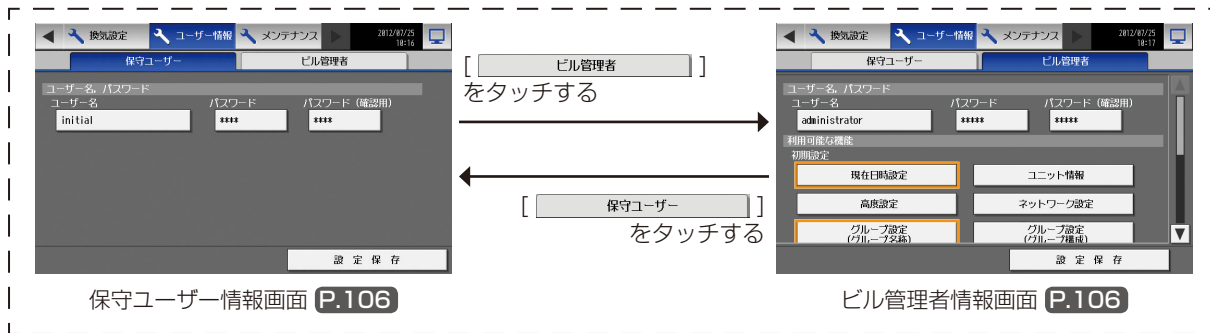
<機能設定 2 画面>



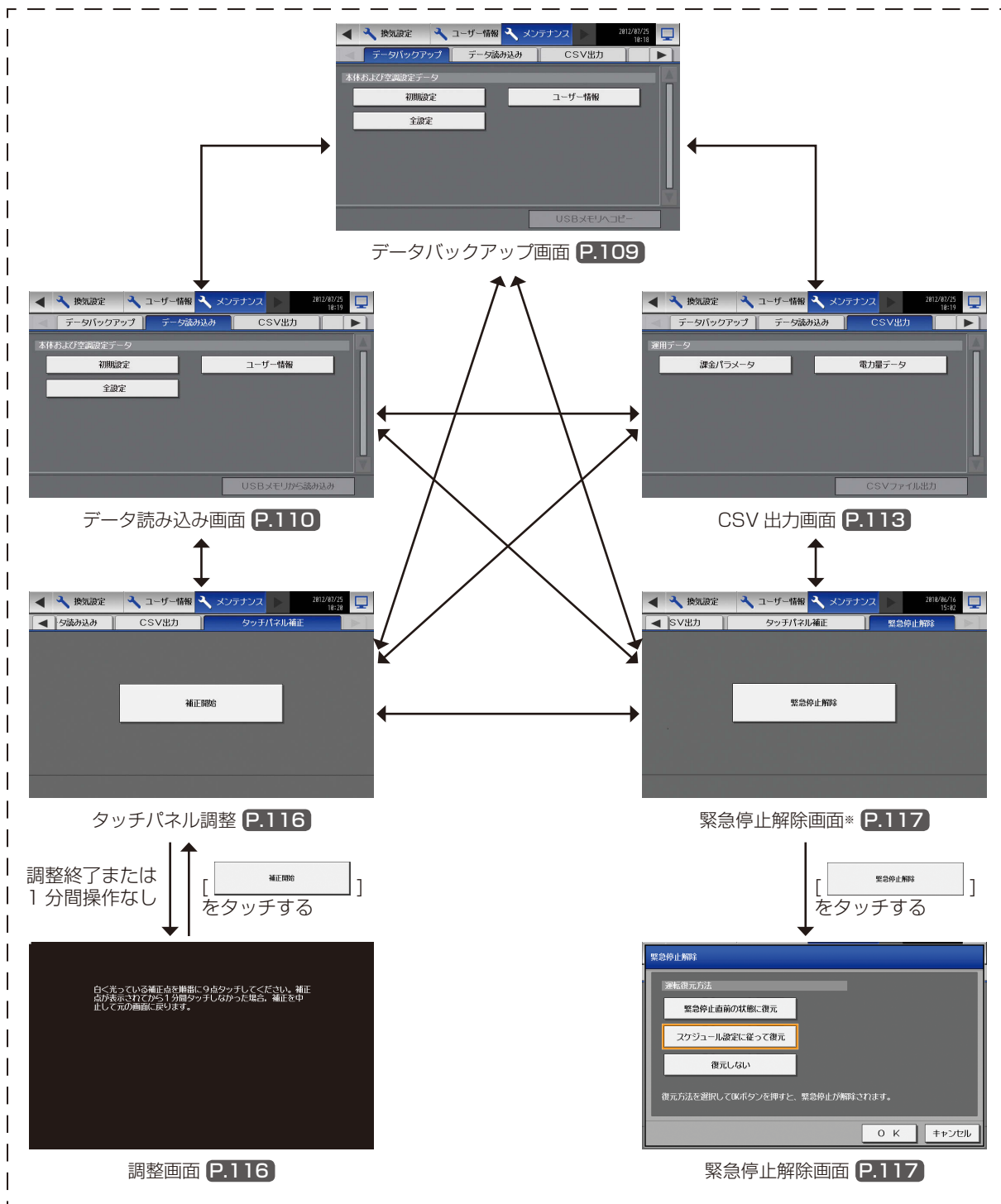
<換気設定画面>



<ユーザー情報画面>



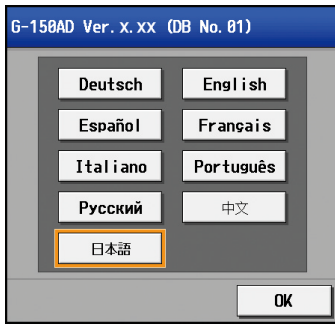
<メンテナンス画面>



※外部入力の設定を「緊急停止 復元モード (レベル入力)」とし、解除待ち状態の場合のみ表示されます。

4 最初の電源投入時の設定方法

4-1. 拡張コントローラーを使用しない場合



電源投入後、言語選択画面が表示されますので、[日本語]が選択されていることを確認して[OK]をタッチしてください。

※電源を入れてから画面が表示されるまでに約 20 秒かかります。



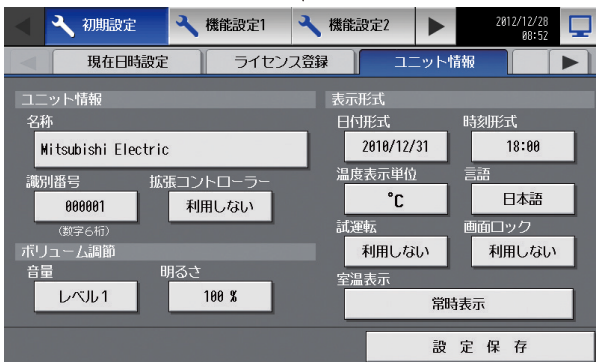
使用言語選択後、現在日時設定画面が表示されます。そこで日時の設定を行ってください。

(詳しい設定方法は、6-3 を参照してください。)

※初期立ち上げ時は、正しい日時の設定がされていないので、必ず日時の設定を行ってください。

※[設定保存]をタッチするまでは、設定が保存されませんので、設定完了後必ず[設定保存]をタッチし、設定を保存してください。

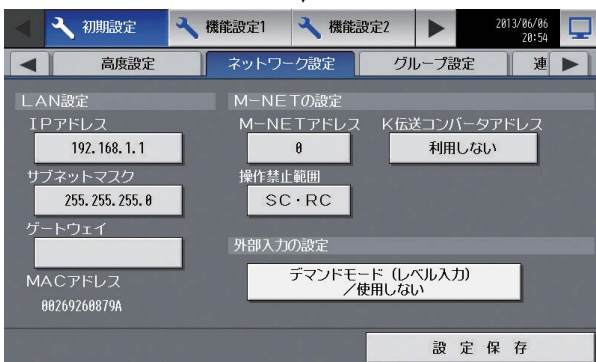
[ユニット情報] をタッチする



現在日時設定後、[ユニット情報]をタッチし、名称、識別番号の設定を行ってください。拡張コントローラーは、必ず[利用しない]に設定してください。

(詳しい設定方法は、6-5 を参照してください。)

[ネットワーク設定] をタッチする



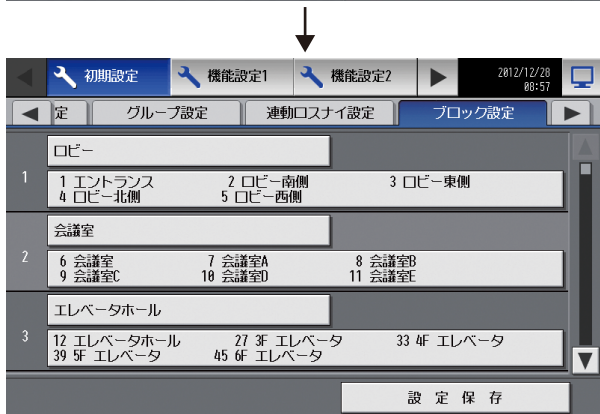
ユニットの設定が終わりましたら、右矢印をタッチし、[ネットワーク設定]を表示させ、[ネットワーク設定]をタッチしてください。そこで、IPアドレスの設定、M-NETアドレスの設定を行ってください。

(詳しい設定方法は、6-6 を参照してください。)

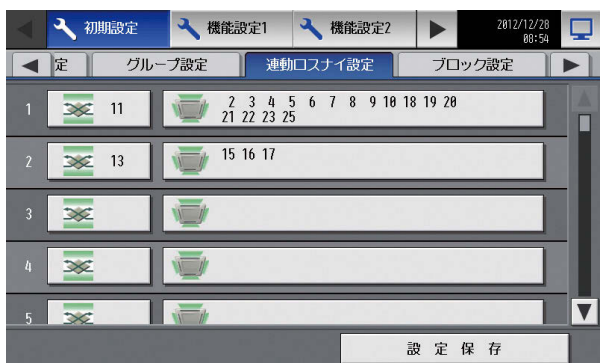
[グループ設定] をタッチする



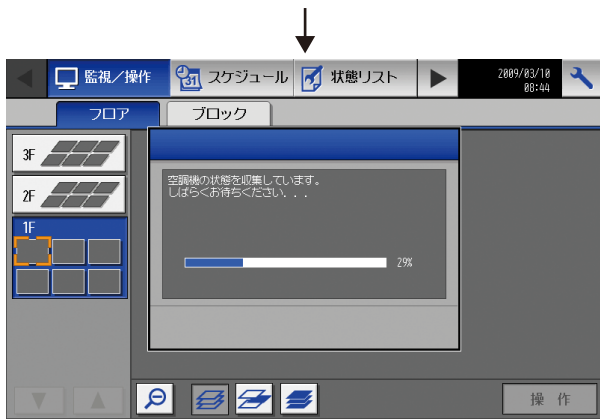
ネットワーク設定後、[グループ設定]をタッチし、グループ設定を行ってください。
(詳しい設定方法は、6-7 を参照してください。)




その他、ブロック設定、連動ロスナイ設定などを行ってください。設定方法は、6章の各項を参照してください。
なお、フロアレイアウトの設定を行う場合、[フロアレイアウト設定]画面にて設定してください。



温度センサー、湿度センサー、電力量計、水道量計などを使用して計測する場合、[機能設定 1] - [計測設定]画面にて計測設定を行ってください。
(詳しい設定方法は 7-4 を参照してください。)



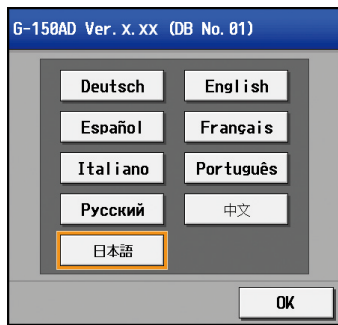
これらの設定が終わりましたら、初期設定は完了です。画面右上の  をタッチして、[監視/操作]画面に移動してください。

監視/操作画面に移動後、メッセージが表示され、設定が終了すると利用出来るようになります。

(通信異常が発生していない場合、2～3分で立ち上がりますが、異常が発生している場合、最大5分程度お待ちいただく場合があります。)

※ 2度目以降の立ち上げ時は、[監視/操作]画面が表示されますので、設定変更を行いたい場合は、「6-1.設定変更画面への移行操作」を参照してください。

4-2. 拡張コントローラーを使用する場合



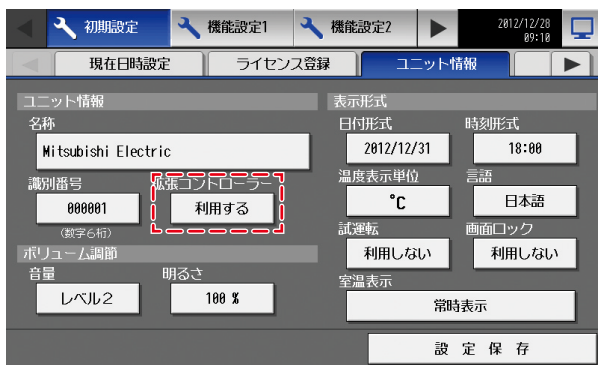
電源投入後、言語選択画面が表示されますので、[日本語]が選択されていることを確認して[OK]をタッチしてください。

※電源を入れてから画面が表示されるまでに約 20 秒かかります。

お願い

- 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) の初期設定 (IP アドレスの設定など) を完了後、電源を投入し、拡張コントローラーと通信可能な状態で実施してください。
通信できない状態では、正常に設定を行うことができません。

[ユニット情報]
をタッチする

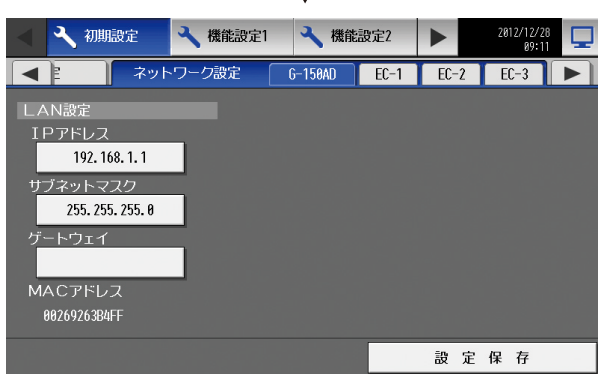


現在日時設定画面表示後、[ユニット情報]をタッチし、名称、識別番号の設定を行ってください。

次に、拡張コントローラーの使用有無設定で、[利用する]を選択してください。

(詳しい設定方法は 6-5 を参照してください。)

[ネットワーク設定] をタッチする

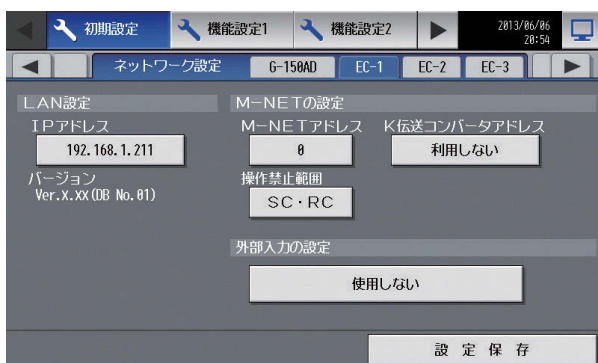


ユニットの設定が終わりましたら、右矢印をタッチし、[ネットワーク設定]を表示させ、[ネットワーク設定]をタッチしてください。そこで、タブから[G-150AD]を選択し、G-150AD本体のIPアドレスの設定を行ってください。

次にタブから設定する拡張コントローラー (EC1 ~ EC3) を選択して下さい。拡張コントローラーのDB No.がG-150AD本体のDB No.と同じかどうか確認してください。

(G-150AD本体のDB No.は、本体の背面または梱包箱・液晶画面で確認できます。液晶画面での確認方法は、6-1 (P.55) を参照してください。拡張コントローラーのDB No.は、本体の上面または梱包箱で確認できます。)

[EC-1] をタッチする

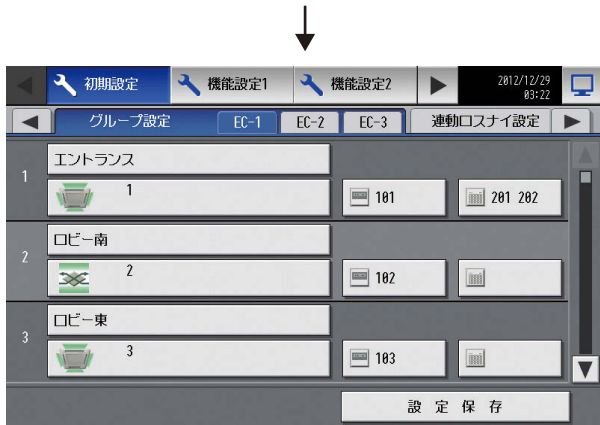


DB No.が同じであれば、それぞれのIPアドレス、M-NETアドレスの設定を行ってください。

(詳しい設定方法は、6-6 を参照してください。)

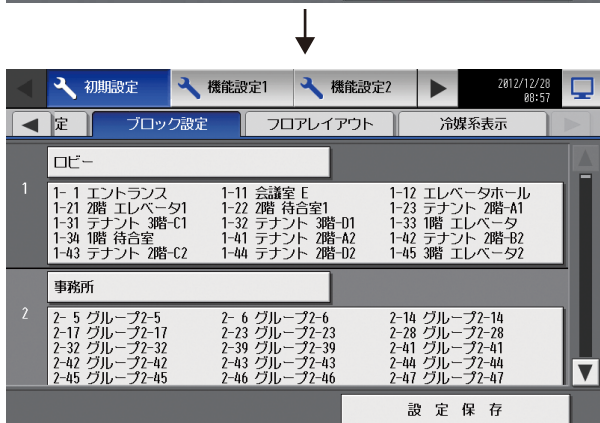
※DB No.が異なる場合は、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

[グループ設定] をタッチする



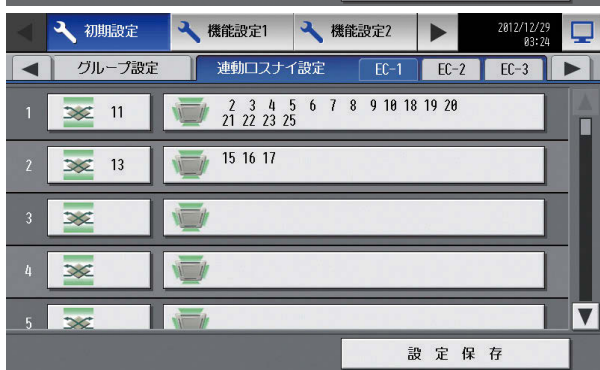
ネットワーク設定後、[グループ設定]をタッチし、タブから設定したEC番号を選択し、それぞれグループ設定を行ってください。

※拡張コントローラーをまたいでのグループ設定は出来ません。
(詳しい設定方法は、6-7を参照してください。)



その他、ブロック設定、連動ロスナイ設定、フロアレイアウトの設定を行ってください。

設定方法の詳細は、6章の各項を参照してください。



温度センサー、湿度センサー、電力量計、水道量計などを使用して計測する場合、[機能設定1] - [計測設定]画面にて計測設定を行ってください。

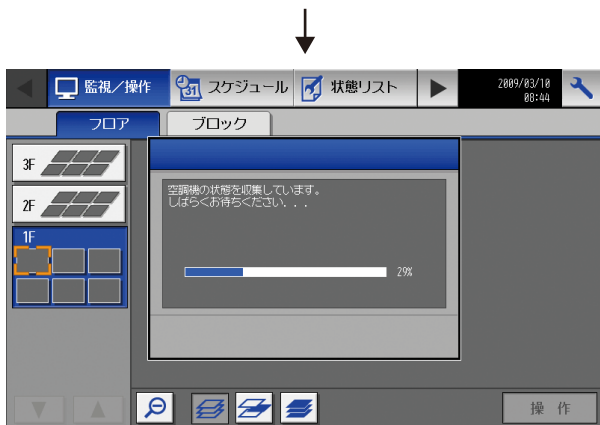
(詳しい設定方法は 7-4 を参照してください。)






各種設定後、最後に[現在日時設定]をタッチし、表示される画面で日時の設定を行ってください。(詳しい設定方法は、6-3を参照してください。)

※拡張コントローラーと時刻を同期させるために、必ず日時の設定を行ってください。
 ※[設定保存]をタッチするまでは、設定が保存されませんので、設定完了後必ず[設定保存]をタッチし、設定を保存してください。



これらの設定が終わりましたら、初期設定は完了です。画面右上のをタッチして、[監視/操作]画面に移動してください。

監視/操作画面に移動後、メッセージが表示され、設定が終了すると利用出来るようになります。

(通信異常が発生していない場合、2～3分で立ち上がりますが、異常が発生している場合、最大5分程度お待ちいただく場合があります。)

※2度目以降の立ち上げ時は、[監視/操作]画面が表示されますので、設定変更を行いたい場合は、「6-1.設定変更画面への移行操作」を参照してください。

4-3. 拡張コントローラー使用時、複数台のG-150ADを接続する場合

1システム(同じ拡張コントローラー)にG-150ADほかを複数台接続し、同一の空調機システムを複数のG-150ADほかから管理することができます。

ただし、接続台数・ソフトウェアバージョンなどの制約がありますのでご注意ください。

対象外のソフトウェアバージョンの場合には各コントローラのソフトウェアアップデートが必要になります。

(1) 接続台数の制約

G-150ADの接続台数は3台以下としてください。

(2) ソフトウェアバージョンの制約

接続台数	拡張コントローラー	3台以下	
	G-150AD	1台	2台、または3台
ソフトウェアバージョン	拡張コントローラー	Ver.1.00以上	Ver.1.30以上
	G-150AD	Ver.2.01以上	Ver.2.30以上

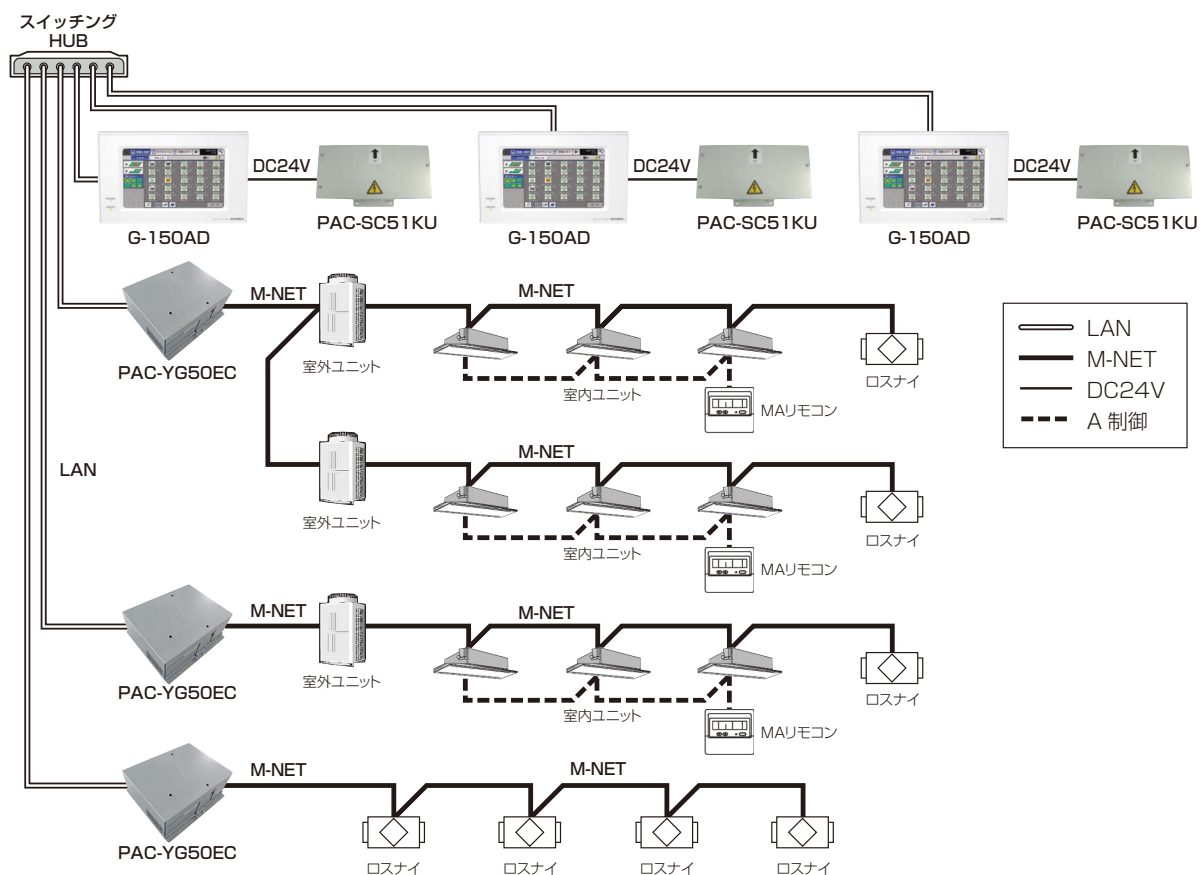
(3) DB No. の制約

DB No. が異なるコントローラーは接続できません。

(4) その他の制約

- 1システム(同じ拡張コントローラー)に接続するG-150ADほかは、グルーピング・換気連動設定を同じ設定にする必要があります。同じ拡張コントローラーに対して異なるグルーピング・換気連動は設定できません。
- 汎用インターフェース(PAC-YG66DC)を使用して汎用機器を接続する場合、接続する全てのG-150ADで同じグループ登録をしてください。
 その他ユニットのグループ登録は1台のG-150ADのみで行ってください。
- ライセンスの登録、およびスケジュール、スケジュール無効、省エネ・ピークカット、24時間換気、ナイトパーズ、セットバック制御、連動制御、ET制御、アドバンストパワーセーブ、サーモOFF時送風、外気温連動、ナイトモードスケジュール、オートチェンジオーバー、設定温度範囲制限機能の各機能の設定は1台のG-150ADのみとしてください。
- スケジュールあり、スケジュール無効、省エネ制御中、セットバック動作中、24時間換気中、ナイトパーズ運転中のアイコンは、制御するG-150ADのみに表示します。

G-150AD複数台接続時のシステム例



本書ではG-150ADを2台以上接続する場合の手順例を示します。その他コントローラを接続する場合、および設定方法の詳細は各コントローラのマニュアルを参照してください。

① 拡張コントローラのネットワーク (IPアドレスほか) の設定、電源投入を行う

「拡張コントローラ 据付/取扱説明書 5-1. 拡張コントローラのIPアドレス、ネットワークの設定」参照



② G-150ADの電源 (PAC-SC51KUの電源) を投入し、初期設定を開始する。

G-150ADは1台ずつ初期設定を行ってください。

1 台目 (マスタ)

③ 表示言語を選択する

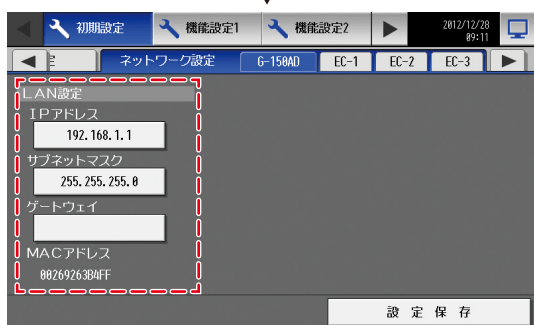


④ ユニット情報を設定する



拡張コントローラは「利用する」に設定してください

⑤ G-150ADのネットワークを設定する



2 台目以降 (サブ)

③ 表示言語を選択する



④ ユニット情報を設定する



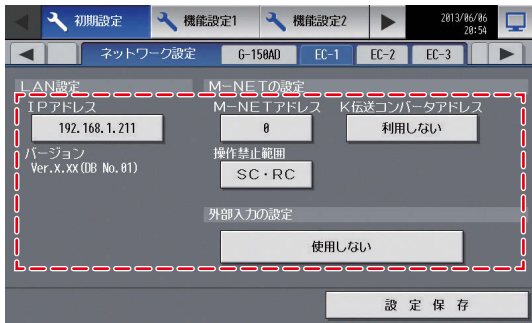
拡張コントローラは「利用する」に設定してください

⑤ G-150ADのネットワークを設定する



※ネットワーク設定を変更し、設定保存するとG-150ADは再起動し、ログイン画面に戻ります。

⑥ 拡張コントローラーのIPアドレス、M-NETの設定、外部入力設定を行う



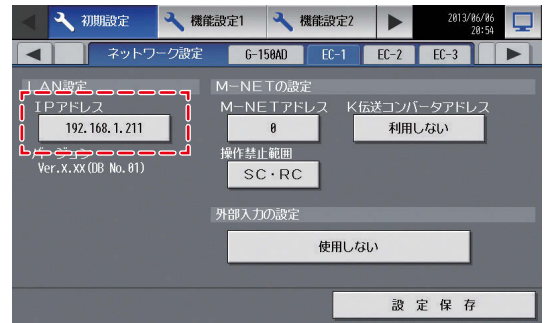
⑦ グループ名称、登録ユニットアドレスを設定する



⑧ 連動ロスナイを設定する



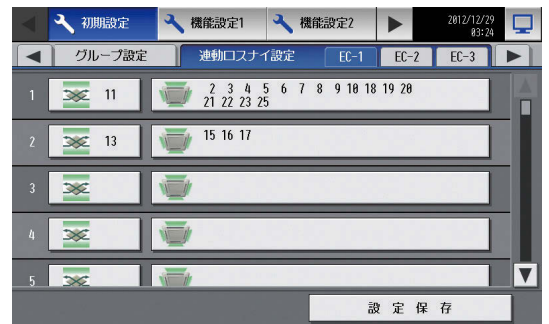
⑥ 拡張コントローラーのIPアドレスを設定する



⑦ 汎用機器の設定、グループ名称を設定する



⑧ 連動ロスナイの設定を確認する



- ・ M-NETの設定、外部入力設定は、[設定保存]をタッチした後に1台目(マスタ)で設定した通りになっていることを確認してください。
- ・ IPアドレス設定後、拡張コントローラー接続情報を収集する状態を示す画面が数分間表示されます。

グループの設定は1台目(マスタ)で設定した通りになっていることを確認してください。但し、汎用機器は1台目(マスタ)と同一の設定を再入力してください。

連動ロスナイの設定が1台目(マスタ)で設定した通りになっていることを確認してください。

⑨ブロック名称、登録グループを設定する



⑩フロアレイアウトを設定する



⑪計測を設定する



⑫時刻を設定する



⑨ブロック名称、登録グループを設定する

1台目(マスタ)と異なる設定をすることもできます。



⑩フロアレイアウトを設定する

1台目(マスタ)と異なる設定をすることもできます。



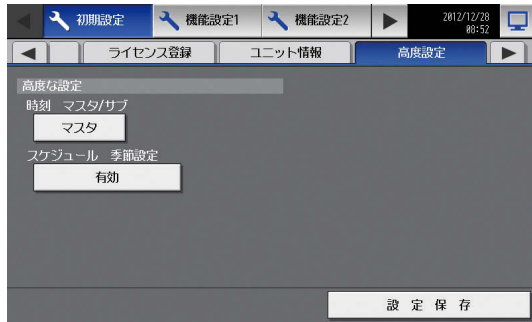
⑪計測を設定する



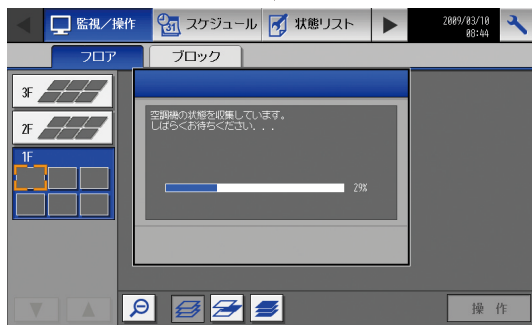
⑫時刻を設定する



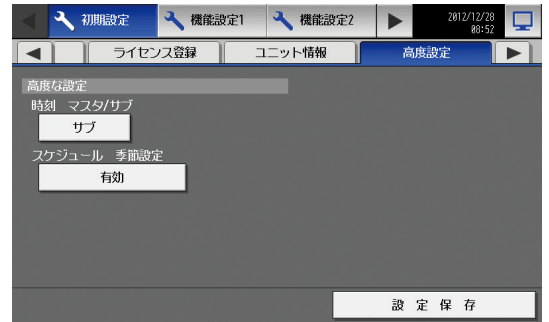
⑬時刻のマスタ/サブ設定を出荷時
設定(マスタ)のまま、変更しない。



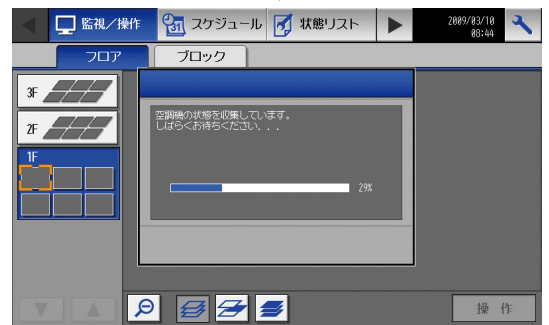
⑭初期設定完了
試運転確認を実施する



⑬時刻のマスタ/サブ設定を
サブに設定する



⑭初期設定完了
試運転確認を実施する

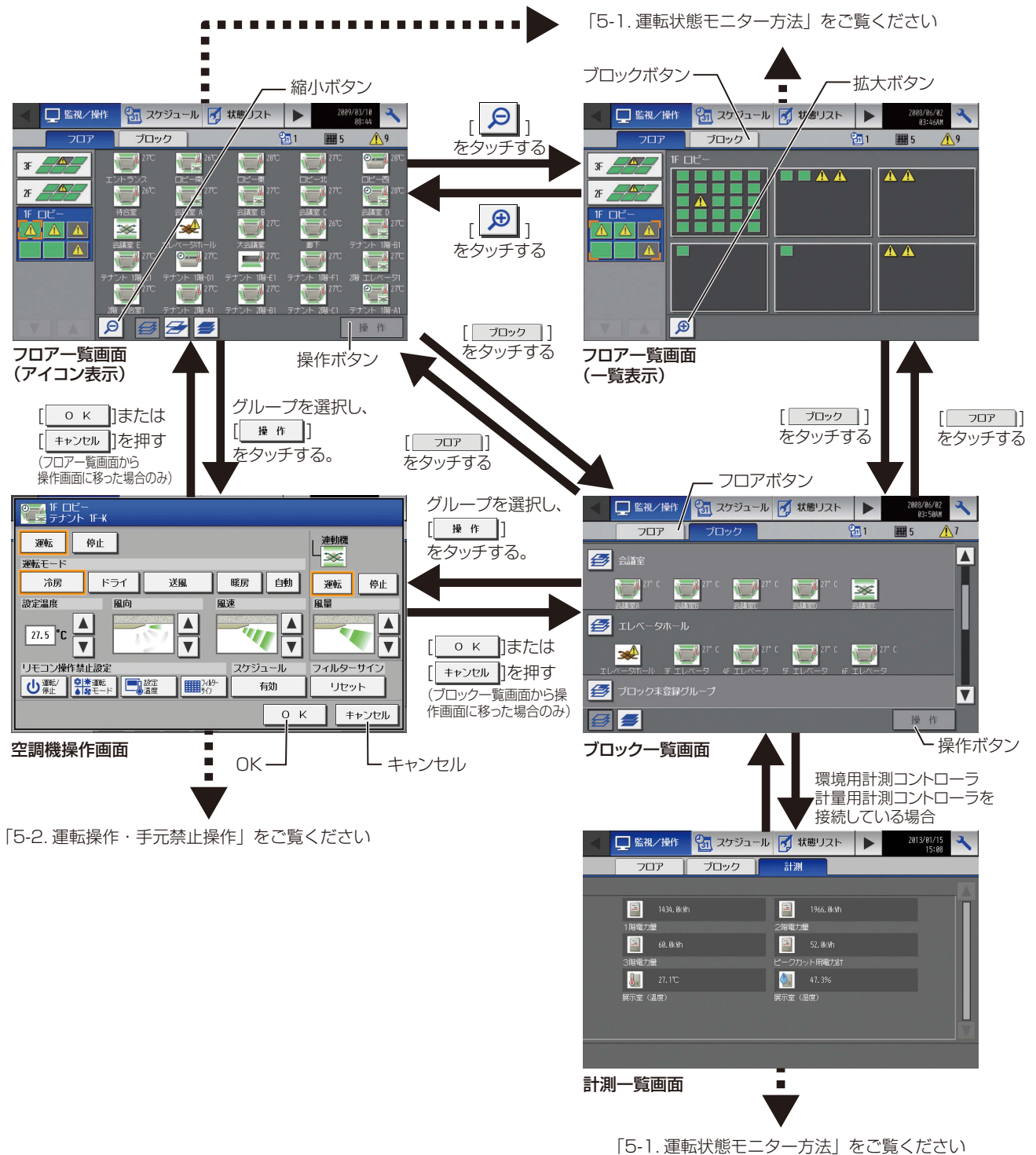


5 通常の操作

通常の操作を行うときは、次の画面を使用します。

フロア一覧画面 ブロッカー一覧画面	空調機の運転/停止/異常状態/室温を表示します。 通常、本機はこの画面で運用します。
空調機操作画面	空調機の各操作(運転/停止、運転モード、風向、風速、設定温度、手元リモコンの操作禁止/許可、フィルターリセット、スケジュール有効/無効)をグループ別、または一括で行います。 ※機種により操作項目は異なります。
計測一覧画面	温度センサー、湿度センサー、電力量計、水道量計などの計測状態を表示します。 (環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラを接続している場合、表示されます。)

< 画面の移り方 >

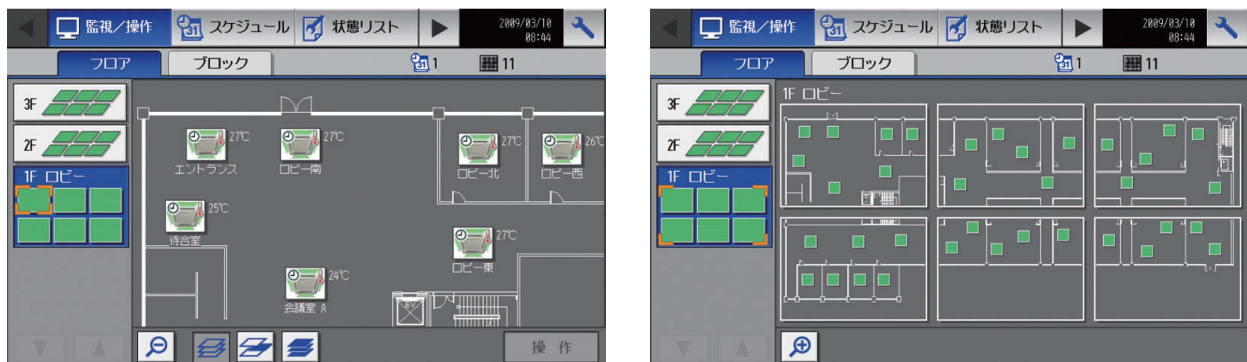


5-1. 運転状態モニター方法

- 空調機の状態をグループ単位、ブロック単位またはフロア単位で運転中/停止中/異常発生中のいずれかで表示します。
- フロア切り換えボタンを押すことで、他のフロアに配置された空調機を確認できます。



(1) 平面図機能を利用した場合の表示イメージ (P.75 ~)



(2) 操作方法

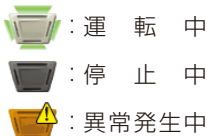
●グループ単位、ブロック単位、フロア単位または全館それぞれの方法で操作が異なりますのでご注意ください。

<グループ単位表示（アイコン表示）>



縮小ボタン

以下のアイコンで状態を表示します。

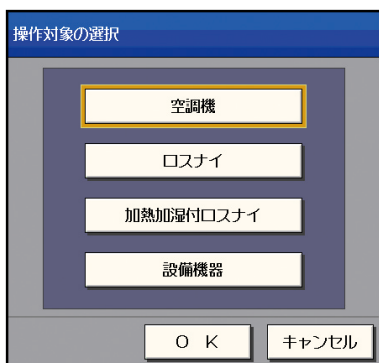


※機器が認識できない場合、アイコン上に「？」が表示されます。表示された場合は、空調機の接続、グループ設定を確認してください。

- グループアイコンを選択し、操作ボタンを押すことにより、選択しているグループの操作画面へ移動します。(選択したグループ内に空調機グループとロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループが混在している場合、選択画面が表示されます。選択画面では複数機種選択可能で機種選択後、操作画面が表示されます。)そこで、運転/停止/24時間換気(ロスナイ)、設定温度、風速、風向、リモコン操作禁止状態、モード、加湿、スケジュール有効/無効の詳しい設定を確認できます。

※複数機種選択した場合の操作項目は、ON/OFF、スケジュール有効/無効のみとなります。

- 縮小ボタンを押すことで、一覧表示へ移動します。



機種選択画面

<グループ単位表示（一覧表示）>

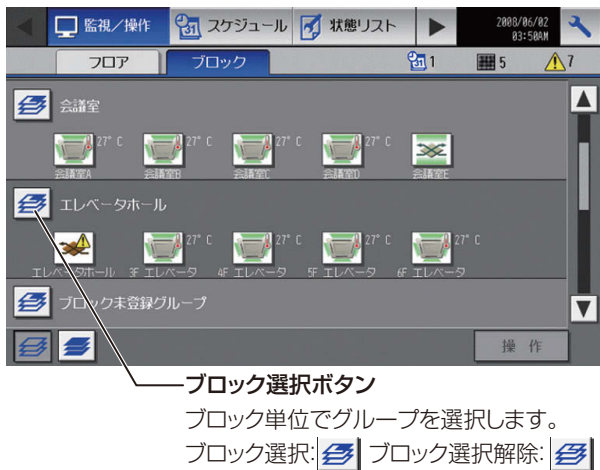


拡大ボタン

フロア切り替えボタン

- 拡大ボタンを押すことで、アイコン表示へ移動します。
- フロア切り替えボタンを押すことで、他のフロアに配置された空調機を確認できます。

< ブロック単位表示 >

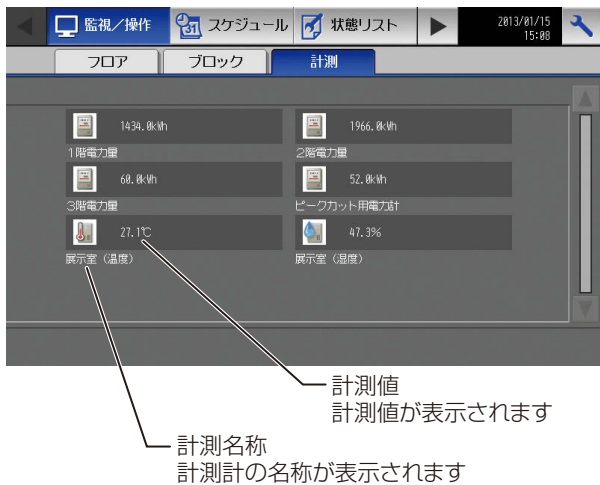


グループアイコンまたはブロック選択ボタンを選択し、操作ボタンを押すことにより、選択しているグループの操作画面へ移動します。(選択したグループ内に空調機グループとロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループが混在している場合、選択画面が表示されます。選択画面では複数機種選択可能で機種選択後、操作画面が表示されます。)そこで、運転/停止/24時間換気(ロスナイ)、設定温度、風速、風向、リモコン操作禁止状態、モード、加湿、スケジュール有効/無効の詳しい設定を確認できます。

※複数機種選択した場合の操作項目は、ON/OFF、スケジュール有効/無効のみとなります。

- スクロールボタンを押すことで、表示されていない他のブロックの状態を確認できます。

< 計測一覧表示 >



- 温度センサー、湿度センサー、電力量計、水道量計などの計測状態を表示します。

※温度、湿度を計測する場合は、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) および市販の温度センサー、湿度センサーが必要です。

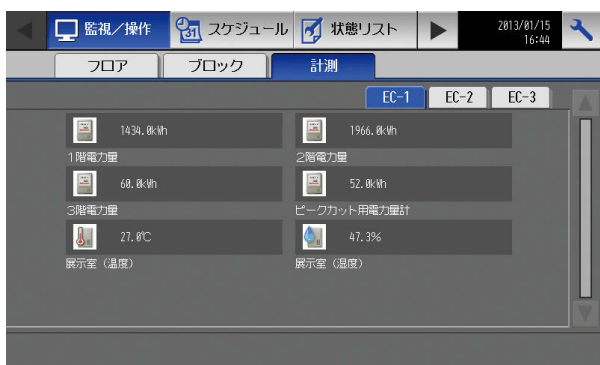
※電力量などを計測する場合は、計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC) および市販のパルス出力式計量計が必要です。

- 各計測計は以下のアイコンで表示されます。また、温度、湿度使用時に、あらかじめ設定された上限警報値、下限警報値を超えている場合、アイコンが橙色で表示されます。

	正常時	上下限警報発生時 (橙色)	通信異常時 (橙色)
温度センサー			※ 1
湿度センサー			※ 1
計量計			※ 2

※ 1 通信異常時、または、センサー異常時、温度センサーと湿度センサーの計測値は「-」が表示されます。

※ 2 通信異常時、計量計の計測値は「異常発生直前の値」が表示されます。



拡張コントローラ (PAC-YG50EC) を接続している場合

・アイコンの表示

画面上に表示されるアイコンは、以下のようなものがあります。

※表示は、グループ設定画面で変更できます。

※共通の表示は、空調機・換気機器・汎用機器の表示に選択可能です。

共通								
汎用機器								

また、グループの状態によって、アイコン上に以下の表示がされます。

異常発生中	連動ロスナイ運転中	連動ロスナイ停止中	セットバック運転中	不明(立ち上げ中)
室温の表示	24 時間換気中	省エネ制御中	フィルターサイン発生中	
スケジュールあり	スケジュール無効	ナイトパーズ運転中		
		青色		

※省エネ制御中に 24 時間換気中アイコンや室温の表示アイコンが表示される場合、表示の優先度は高い方から、省エネ制御中 → 24 時間換気中 → 室温の表示となります。

※省エネ制御中のアイコンは、室内ユニットグループ、および所属する室外ユニットの省エネ制御時間帯に表示されます。

また、所属する室外ユニットのET制御運転中、アドバンストパワーセーブ制御運転中、ピークカット制御中に表示されます。

※ナイトパーズ運転中にスケジュールありが表示される場合は、表示の優先度は高い方から、ナイトパーズ運転中 → スケジュールあり となります。スケジュール無効が表示される場合も、表示の優先度は高い方から、ナイトパーズ運転中 → スケジュール無効 となります。

※ナイトパーズ運転中は、24 時間換気中アイコンは表示されません。

※ロスナイが複数グループの室内ユニットに連動設定されている場合、連動ロスナイが停止中表示の場合でもロスナイが運転している場合があります。

※換気連動設定されたスリムエアコンの場合に、連動ロスナイのみ単独運転を実施しても、空調機および連動ロスナイのアイコンとも運転表示になります。

・対象のM-NET 接続アダプタ形名： PAC-SG40MA、PAC-SF48MA、PAC-SF49MA
PAC-SF50MA、PAC-SG68MA、PAC-SF87MA
PAC-SG98MA、PAC-SH08MA、PAC-SH34MA

・対象の室外ユニット形名： PU/PUH-JGAM、JGAM8、JGAM9
PU/PUH-JFAM
PUZ-JGAM、JGAM9

※拡張コントローラーを接続して、G-150ADを複数台接続する場合、「スケジュールあり」「スケジュール無効」「省エネ制御中」「セットバック運転中」「24 時間換気中」「ナイトパーズ運転中」は、それぞれ機能を実行しているG-150ADのみに表示されます。

※室温の表示/非表示は初期設定画面で切り換えできます。

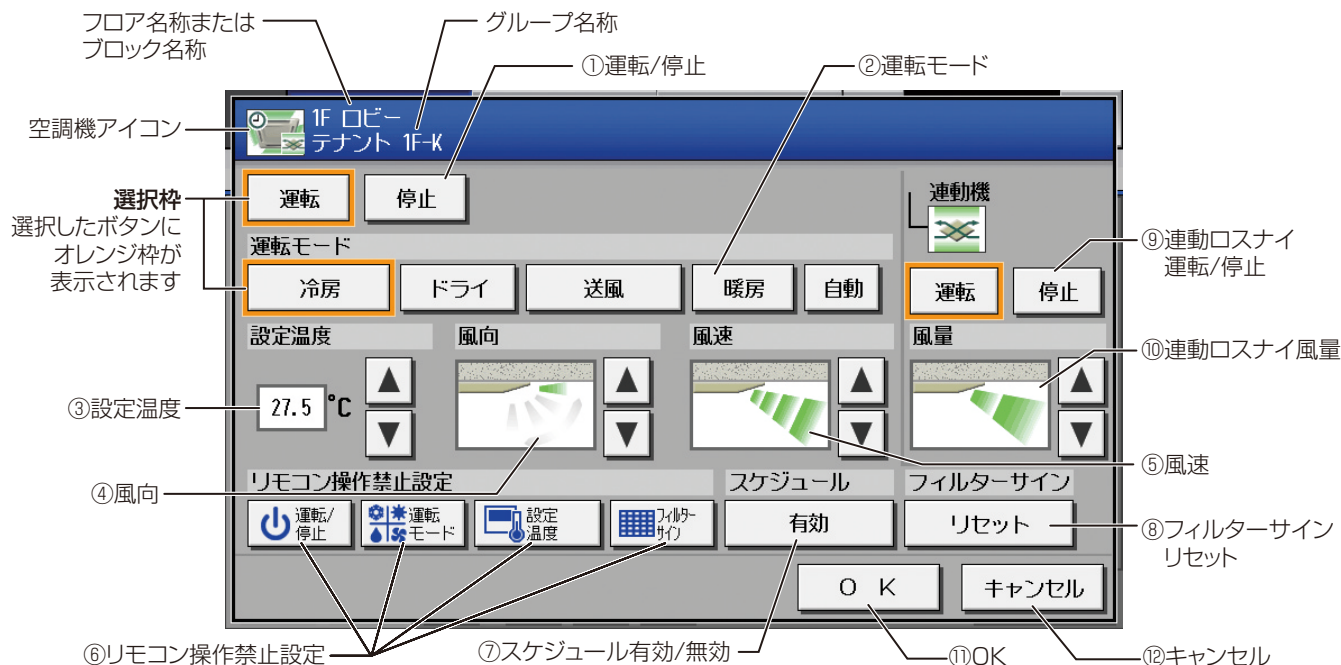
5-2. 運転操作・手元禁止操作

この画面では、空調機（換気機器、汎用機器）の操作や手元リモコンの操作禁止の設定を行います。

※表示は、画面を開いた時のもので、表示中に空調機の状態に変化があったとしても画面は更新されません。

※表示されている状態を変更しても、OKボタンを押すまで変更した操作は反映されません。

(1) 空調機グループの場合



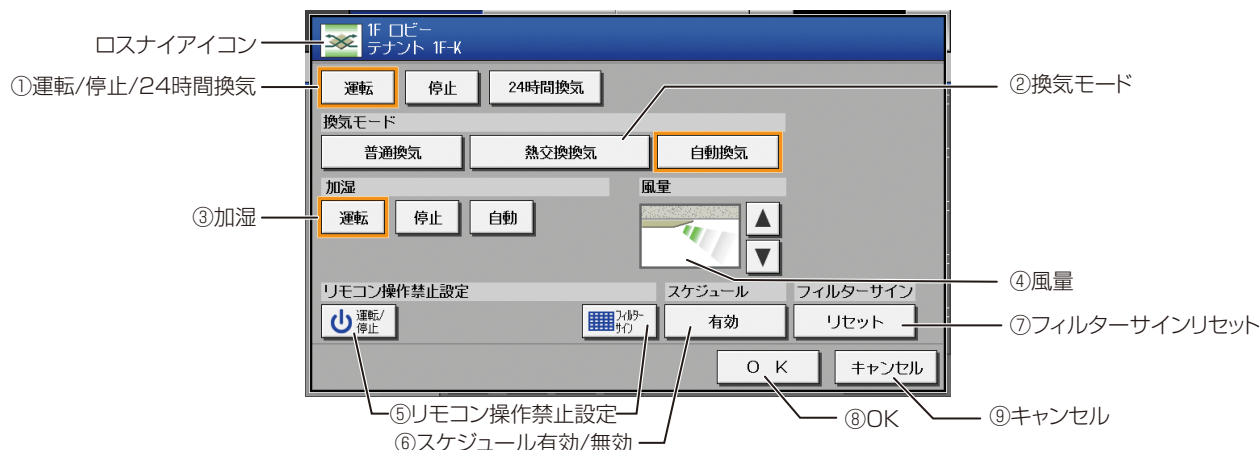
機能	操作方法	表示内容																
① 運転/停止	運転/停止を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。																
② 運転モード	運転モードを選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。 ※運転禁止がある特定機種の場合、モード変更をしても変更が反映されない時、薄いオレンジ色の枠が表示されます。 ※機種により操作可能なモードは異なります。																
③ 設定温度	右の上下ボタンで温度を設定します。	上ボタンを押すと、温度が1度上昇し、下ボタンを押すと1度下降します。温度の設定可能範囲は、モード、機種によって異なります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>冷房・ドライ</th> <th>暖房</th> <th>自動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常機種</td> <td>19～30℃</td> <td>17～28℃</td> <td>19～28℃</td> </tr> <tr> <td>中温機種 (CITY MULTI)</td> <td>14～30℃</td> <td>17～28℃</td> <td>17～28℃</td> </tr> <tr> <td>中温機種 (Mr. Slim)</td> <td>14～30℃</td> <td>14～28℃</td> <td>14～28℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他細かな機種によって、温度範囲が変わる場合があります。また、自動の設定が出来ない場合もあります。) ※同一の室内ユニットに対して、複数の操作機(システムコントローラ、リモコン)から運転モードの変更と設定温度の変更をほぼ同時に行った場合、設定可能範囲外の表示となることがあります。 ※機種により0.5℃単位または1℃単位で表示されます。</p>	機種	冷房・ドライ	暖房	自動	通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃	中温機種 (CITY MULTI)	14～30℃	17～28℃	17～28℃	中温機種 (Mr. Slim)	14～30℃	14～28℃	14～28℃
機種	冷房・ドライ	暖房	自動															
通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃															
中温機種 (CITY MULTI)	14～30℃	17～28℃	17～28℃															
中温機種 (Mr. Slim)	14～30℃	14～28℃	14～28℃															
④ 風向	右の上下ボタンで風向を設定します。	5段階機種 <p>(機種によって、スイング、自動表示が出ない場合もあります。風向きは、4段階および5段階の機種があります。) ※A制御機種(スリム機種)、ルームエアコン機種では「自動」は表示されません。</p>																

	機能	操作方法	表示内容																				
⑤	風速	右の上下ボタンで風速を設定します。	<p>4 段機種</p> <p>(弱) (中2) (中1) (強)</p> <p>(自動)</p> <p>(機種によって、自動表示が出ない場合もあります。風速は、2 段階および 3 段階機種があります。)</p> <p>※ A 制御機種 (スリム機種)、ルームエアコン機種では「自動」は表示されません。</p>																				
⑥	リモコン操作禁止設定	リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可/禁止を切り換えます。禁止項目は、運転/停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセットの 4 項目です。	<p>現状維持→操作許可→操作禁止と推移します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状維持</th> <th>操作許可</th> <th>操作禁止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転/停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転モード</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設定温度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルターサインリセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状維持	操作許可	操作禁止	運転/停止				運転モード				設定温度				フィルターサインリセット			
	現状維持	操作許可	操作禁止																				
運転/停止																							
運転モード																							
設定温度																							
フィルターサインリセット																							
⑦	スケジュール有効/無効	スケジュール有効/無効を選択します。	ボタンを押すたびに、有効→無効→有効と推移します。																				
⑧	フィルターサインリセット	フィルターサインリセットを選択した状態で、OK ボタンを押します。	フィルター清掃時期の表示をリセットします。 ※フィルター清掃後に行ってください。																				
⑨	連動ロスナイ運転/停止	連動ロスナイの運転/停止を選択します。	選択した運転状態のボタンにオレンジの枠が表示されます。																				
⑩	連動ロスナイ風量	右のボタンで連動機の風量を設定します。	<p>2 段機種</p> <p>(弱) (強)</p> <p>(機種によって、風速設定機能がない場合もあります)</p>																				
⑪	OK ボタン	OK ボタンを押し、設定を反映させます。	OK ボタンを押すと、設定を確定し、操作画面に移行する前の画面 (フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面) に戻ります。																				
⑫	キャンセルボタン	キャンセルボタンを押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面 (フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面) に戻ります。																				

※ OK を押した後、連動ロスナイの運転状態の表示は、画面にすぐには反映されません。

※連動ロスナイが停止表示の場合でもロスナイが複数の室内ユニットに連動設定されている場合は、ロスナイは他の室内ユニットに連動して運転している場合があります。

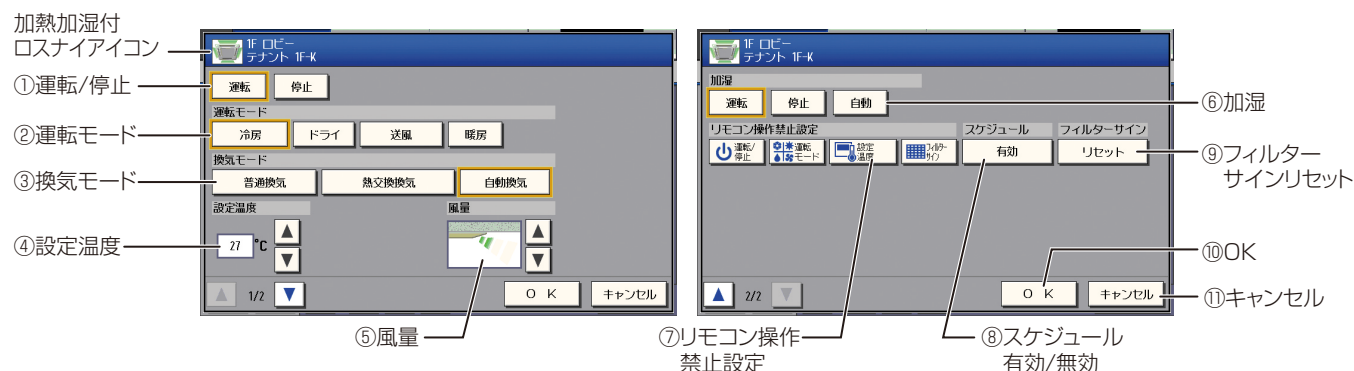
(2) ロスナイグループの場合



	機能	操作方法	表示内容												
①	運転/停止/24時間換気	運転/停止/24時間換気を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。 (機種によって24時間換気ボタンがない場合があります。) ※24時間換気設定が有効の場合のみ、24時間換気ボタンは表示されます。 ※24時間換気設定が有効で停止操作する場合、またはナイトパーージ運転中に運転/停止/24時間換気操作する場合、現状の設定や動作を切り替えることとなるため、確認のためのメッセージが表示されます。 ※ナイトパーージ運転中、停止操作した場合、約1時間ナイトパーージ運転しません。 ※停止操作を行った時、24時間換気を開始する機種があります。該当機種の取扱説明書を参照ください。												
②	換気モード	換気モードを選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。 ※ナイトパーージ運転中または、24時間換気設定が有効の場合、表示されません。												
③	加湿	運転/停止/自動を選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。 (機種によって加湿ボタンがない場合があります。)												
④	風量	風量の右の上下ボタンで風量を設定します。	3段階機種(機種によって設定できない場合があります。) (微弱) (弱) (強) (自動) ※24時間換気を設定した場合は、表示されません。 ※ナイトパーージ運転中、風量を変更できます。「自動」は表示されません。 ※LGH-CX6およびLGH-N**RX (**は容量)のみ微弱操作できます。 ※風量1段階機種の場合、風量は表示されません。												
⑤	リモコン操作禁止設定	リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可/禁止を切り換えます。禁止項目は、運転/停止、フィルターサインリセットの2項目です。	ボタンを押すたびに、現状維持→操作許可→操作禁止と推移します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状維持</th> <th>操作許可</th> <th>操作禁止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転/停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルターサインリセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状維持	操作許可	操作禁止	運転/停止				フィルターサインリセット			
	現状維持	操作許可	操作禁止												
運転/停止															
フィルターサインリセット															
⑥	スケジュール有効/無効	スケジュール有効/無効を選択します。	ボタンを押すたびに、有効→無効→有効と推移します。												
⑦	フィルターサインリセット	フィルターサインリセットを選択した状態で、OKボタンを押します。	フィルター清掃時期の表示をリセットします。 (積算時間がリセットされます。)												
⑧	OKボタン	OKボタンを押し、設定を反映させます。	OKボタンを押すと、設定を確認し、操作画面に移行する前の画面(フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面)に戻ります。												
⑨	キャンセルボタン	キャンセルボタンを押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面(フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面)に戻ります。												

※ロスナイアイコンは、ナイトパーージ設定が有効であり、ナイトパーージ運転していない場合、ナイトパーージ停止中アイコン (グレー)が表示されます。

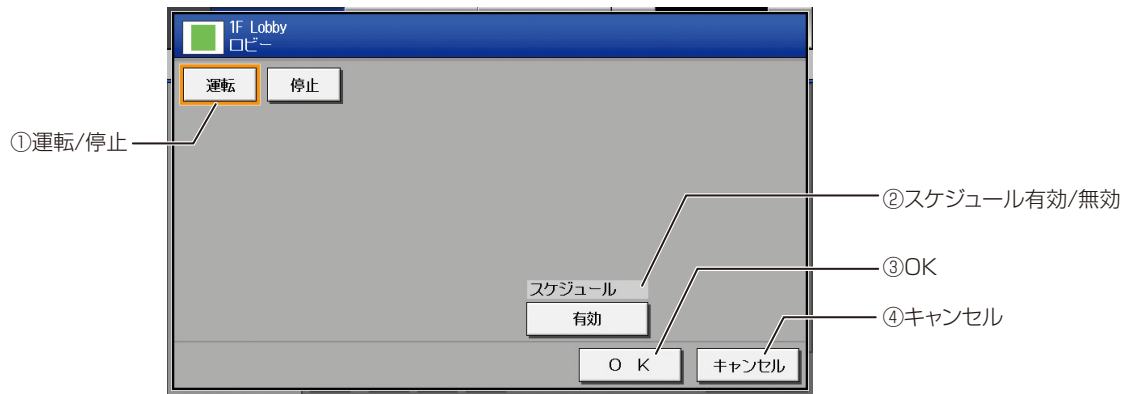
(3) 加熱加湿付ロスナイグループの場合



機能	操作方法	表示内容																				
① 運転/停止	運転/停止を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。																				
② 運転モード	運転モードを選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。 ※運転禁止がある特定機種の場合、モード変更をしても変更が反映されない時、薄いオレンジ色の枠が表示されます。 ※機種により操作可能なモードは異なります。																				
③ 換気モード	換気モードを選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。																				
④ 設定温度	右の上下ボタンで温度を設定します。	上ボタンを押すと、温度が1度上昇し、下ボタンを押すと1度下降します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>冷房・ドライ</th> <th>暖房</th> <th>自動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常機種</td> <td>19～30℃</td> <td>17～28℃</td> <td>19～28℃</td> </tr> </tbody> </table>	機種	冷房・ドライ	暖房	自動	通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃												
機種	冷房・ドライ	暖房	自動																			
通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃																			
⑤ 風量	風量の右の上下ボタンで風量を設定します。	3段機種(機種によって設定できない場合があります) ※風量1段機種の場合、風量は表示されません。																				
⑥ 加湿	運転/停止/自動を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。 ※加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。																				
⑦ リモコン操作禁止設定	リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可/禁止を切り換えます。禁止項目は、運転/停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセットの4項目です。	ボタンを押すたびに、現状維持→操作許可→操作禁止と推移します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状維持</th> <th>操作許可</th> <th>操作禁止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転/停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転モード</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設定温度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルターサインリセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状維持	操作許可	操作禁止	運転/停止				運転モード				設定温度				フィルターサインリセット			
	現状維持	操作許可	操作禁止																			
運転/停止																						
運転モード																						
設定温度																						
フィルターサインリセット																						
⑧ スケジュール有効/無効	スケジュール有効/無効を選択します。	ボタンを押すたびに、有効→無効→有効と推移します。																				
⑨ フィルターサインリセット	フィルターサインリセットを選択した状態で、OKボタンを押します。	フィルター清掃時期の表示をリセットします。(積算時間がリセットされます。)																				
⑩ OKボタン	OKボタンを押し、設定を反映させます。	OKボタンを押すと、設定を確定し、操作画面に移行する前の画面(フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面)に戻ります。																				
⑪ キャンセルボタン	キャンセルボタンを押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面(フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面)に戻ります。																				

(4) 汎用機器グループの場合

※運転/停止とスケジュール有効/無効の操作になります(設定によっては操作できない場合があります)



	機能	操作方法	表示内容
①	運転/停止	運転状態の運転/停止を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。
②	スケジュール有効/無効	スケジュール有効/無効を選択します。	ボタンを押すたびに、有効→無効→有効と推移します。
③	OKボタン	OKボタンを押し、設定を反映させます。	OKボタンを押すと、設定を確定し、操作画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面）に戻ります。
④	キャンセルボタン	キャンセルボタンを押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロッカー一覧画面）に戻ります。


5-3. スケジュールを設定する

それぞれの空調機ごとに週間（5種類）/年間/当日スケジュールを設定できます。スケジュールはその日に設定されている週間/年間/当日スケジュールのうちのいずれかのスケジュールが実行され、実行される優先度は高い方から[当日]→[年間]→[週間 1]→[週間 2]→…→[週間 5]の順になっています。また、週間スケジュールは5種類設定できます。

※拡張コントローラーを接続し、G-150ADを複数台接続して使用する場合は、いずれか1台のG-150ADに設定してください。

5-3-1. 週間スケジュールを設定する

メニューの[スケジュール]をタッチし、サブメニューの[週間 1]～[週間 5]をタッチすると週間スケジュールの設定画面が表示されます。週間スケジュールを設定するには、まず設定する対象を選択し、日曜日～土曜日の各曜日のスケジュール内容を設定します。

その後、スケジュール設定画面内の季節設定ボタン()をタッチすると、季節設定画面が表示されます。季節設定画面では5種類の週間設定ができるため、季節ごとにスケジュール期間を切り替えて利用することができます。

例) 週間 1：春、週間 2：夏、週間 3：秋、週間 4：冬、週間 5：予備

※当日スケジュールが設定されている場合、当日スケジュールが優先されるため、週間スケジュールの当日分は実行されません。

※スケジュールで実行された操作内容は、スケジュールまたはブラウザなどで変更されない限り継続しますので、その日限りのスケジュールを設定する場合は、翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の17:00以降をリモコン操作禁止にしたい場合は、17:00に禁止、23:59に許可を設定してください。

※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000 Ver.6.37以前では[週間 1] [週間 2]のみ使用することができます。

※高度設定画面のスケジュール季節設定が無効の場合、週間スケジュールは動作しません。

※操作画面でスケジュール無効としたグループ  の週間スケジュールは動作しません。(5-2 参照)

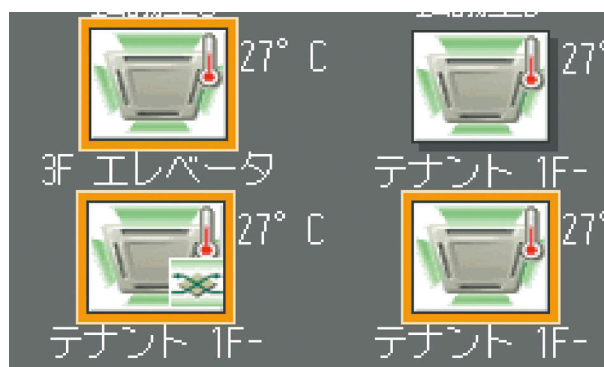
(1) 設定するスケジュールを選択する



サブメニューから[週間 1]～[週間 5]のいずれかを設定を行うスケジュールを選択します。

(2) 操作対象を選択する

(2-1) グループ単位での選択

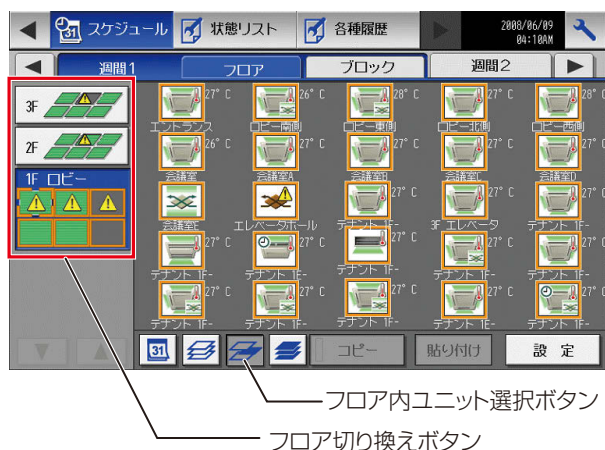


特定のグループをスケジュール設定したい場合は、週間スケジュール設定画面（フロー一覧表示またはブロッカー一覧表示）から、スケジュール設定したいグループのアイコンをタッチし、選択します。複数グループの選択が可能で、選択したグループは、アイコンにオレンジの枠が表示されます。一度選択したグループの選択を取り消したい場合は、選択状態になっているアイコンをもう一度タッチすることで特定のグループの選択を取り消すことができます。また、全選択解除ボタンをタッチすると全ての選択を取り消すことができます。

操作対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると、週間スケジュール画面が表示されます。

* 1グループは、1つのアイコンとグループ名称で表示されています。

(2-2) フロア単位での選択



1フロア全てのグループをスケジュール設定したい場合は、週間スケジュール設定画面のフロア一覧表示から、フロア切り換えボタンで設定したいフロアを選択し、フロア内ユニット選択ボタンをタッチします。選択したフロアにある全てのグループアイコンにオレンジの枠が表示され、フロア切り換えボタン上にもオレンジの枠が表示されます。操作対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると、週間スケジュール画面が表示されます。

(2-3) ブロック単位での選択

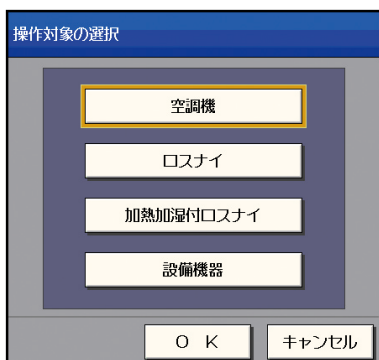


ブロック単位で、スケジュール設定したい場合は、週間スケジュール設定画面のブロック一覧表示から、設定したいブロックのブロック選択ボタンをタッチし、選択します。選択したブロックのグループアイコンにオレンジの枠が表示されます。操作対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると、週間スケジュール画面が表示されます。

(2-4) 全て選択

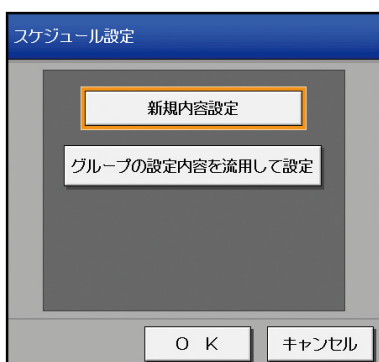


全てのグループをスケジュール設定したい場合は、週間スケジュール設定画面（フロア一覧表示またはブロック一覧表示）から、全ユニット選択ボタンをタッチします。全てのグループアイコンにオレンジの枠が表示されます。操作対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると、週間スケジュール画面が表示されます。



機種選択画面

[設定] ボタンをタッチしたとき、選択したグループ内に空調機グループとロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、設備機器グループが混在している場合、機種選択画面が表示されますので、設定する機種を選択してください。

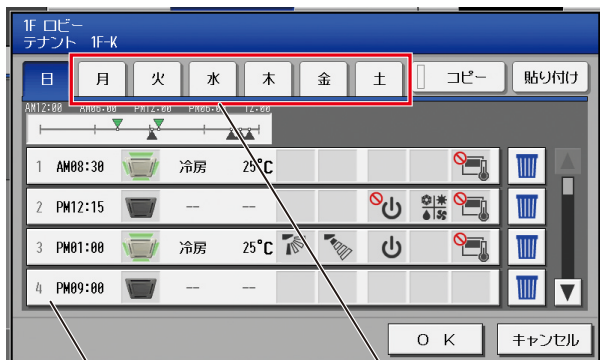


スケジュール設定方法選択画面

複数グループ選択している場合は、スケジュール設定方法を「新規内容設定」するか、「グループの設定内容を流用して設定」するかを選択する画面が表示されますので、今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し、流用元のグループを選択後、「OK」ボタンを押してください。

新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は、流用元グループに設定されているスケジュール内容が、スケジュール内容欄に表示されます。

(3) 設定したい曜日を選択する



スケジュール内容ボタン

曜日メニュー

週間スケジュール画面の曜日メニューから設定したい曜日を選択し、スケジュール内容ボタンをタッチすると、スケジュール内容設定画面が表示されます。



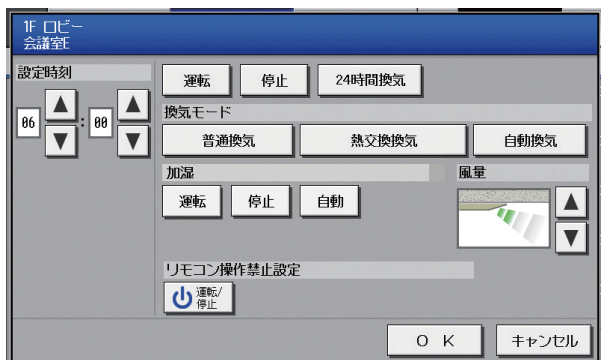
設定されているスケジュールが記号で簡易表示されます。

(がON、 がOFF、 が24時間換気、 がその他設定)

(4) スケジュールを設定する



スケジュール内容設定画面(空調機)



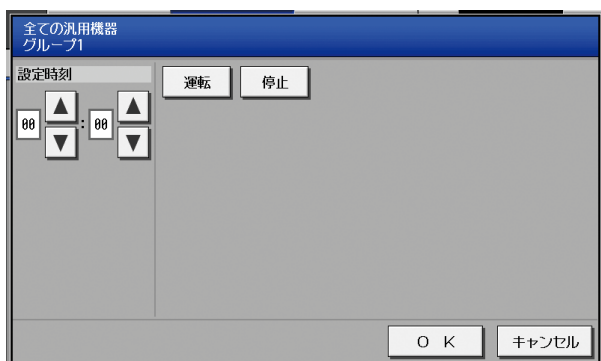
スケジュール内容設定画面(ロスナイ)



スケジュール内容設定画面(加熱加湿付ロスナイ) [1/2]



スケジュール内容設定画面(加熱加湿付ロスナイ) [2/2]



スケジュール内容設定画面(汎用機器)

スケジュール内容設定画面で、スケジュール実行時刻、および運転内容(運転/停止/最適起動(P.44 参照)、運転モード、設定温度、風向、風速、リモコン操作禁止設定)を設定し、[OK] ボタンをクリックします。特定の運転内容だけ設定することにより、運転モードだけ、設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ/ブロッカー括選択時は、自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが、設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上、スケジュール設定を行ってください。

※全グループ/ブロッカー括選択時は、リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが、K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は、全ての項目を[許可]にして設定してください。

※空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループのグループ毎に設定できる運転内容が異なります。

※ロスナイの場合は、設定温度は表示されません。また、リモコン操作禁止項目は[運転/停止]のみとなります。

※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。

※加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。

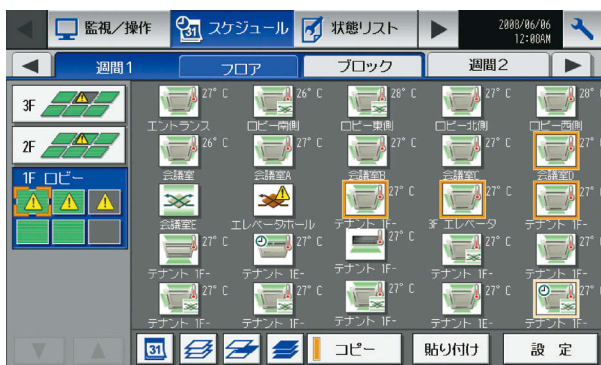
(5) スケジュールを他の曜日、他のグループへコピーする



曜日でスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール画面の曜日メニューからコピーしたい曜日を選択し [コピー] をタッチして選択状態とし、他の曜日で [貼り付け] をタッチします。

グループ間で 1 週間分のスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール設定画面（フロア一覧表示またはブロック一覧表示）からグループを選択して、[コピー] をタッチし選択状態とし、他のグループを選択してから [貼り付け] をタッチします。

- ※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。
例えば、空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。
- ※貼り付け可能な運転モード、設定温度範囲は機種により異なります。
- ※ [週間 1] ~ [週間 5] の異なるスケジュール間でのコピーは出来ません。



(6) スケジュール内容を保存する



スケジュール内容を全て設定した後、[OK] ボタンをタッチしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

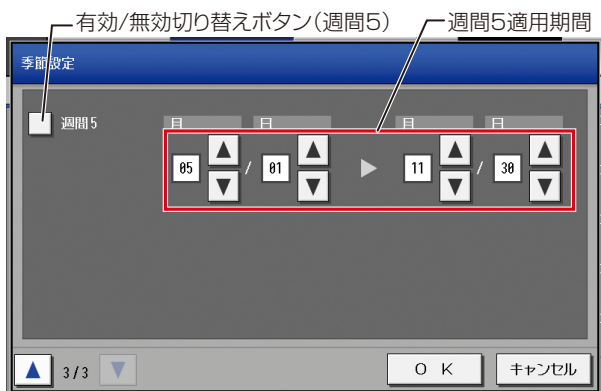
(7) 季節の設定




季節設定画面(週間1、週間2)



季節設定画面(週間3、週間4)



季節設定画面(週間5)

スケジュール設定画面内の季節設定ボタン () をタッチすると、季節設定画面が表示され、[週間 1] ~ [週間 5]の適用期間を設定できます。ページ送りボタン、ページ戻りボタンをタッチすることにより、季節設定画面を切り替えることができます。

また、有効/無効切り替えボタンをタッチすると、週間 2 ~ 週間 5の有効/無効をそれぞれ切り替えられます。(工場出荷時設定：無効)

: 有効 : 無効

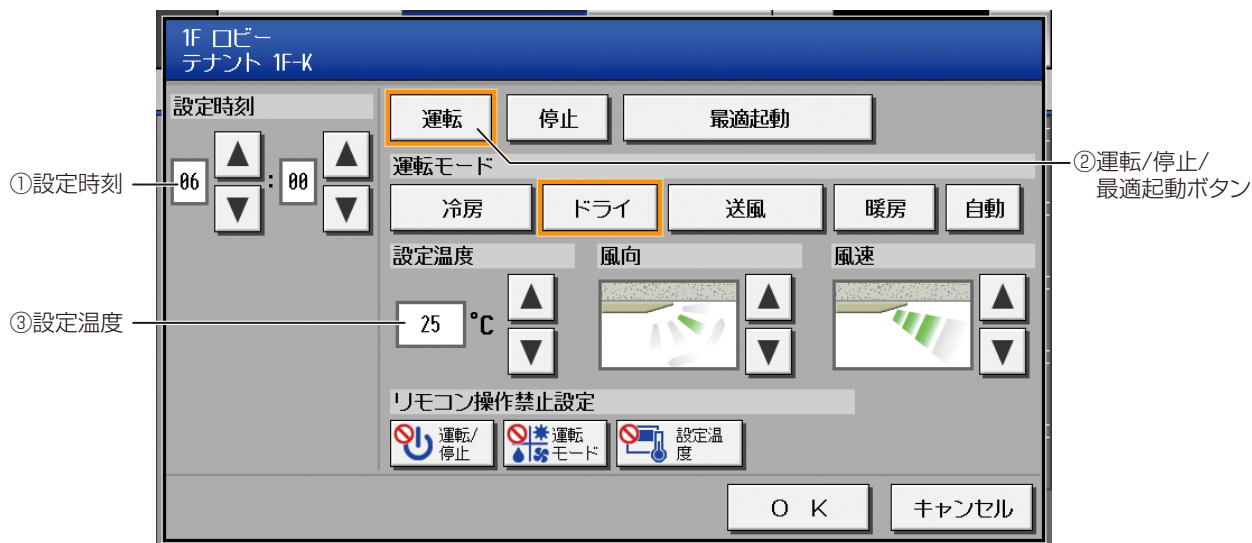
※季節設定画面は 3 画面で構成されており、現在の表示画面はページ数にて確認できます。

※ 12/31 をまたがる設定も可能です (11/1 ~ 3/31 など)

※ [週間 1] ~ [週間 5]の期間が重なっている場合、その期間は、以下の優先度に基づいて、優先度が一番高いスケジュールが実行されます。
優先度は高い方から [週間 1] → [週間 2] → [週間 3] → [週間 4] → [週間 5] の順です。

※高度設定画面のスケジュール季節設定が無効の場合、季節設定ボタンは無効表示になります。

・スケジュール内容設定画面



	機能	操作方法	表示内容																
①	設定時刻	▲▼ボタンをタッチして、スケジュール起動時刻を設定します。	▲ボタンをタッチすると、数字が一つ増加し、▼ボタンを押すと数字が一つ減少します。(1分単位で設定可能です)																
②	運転/停止/最適起動	運転状態の運転/停止/最適起動を選択します。	選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。([最適起動] (下記参照) を選択した場合は運転モード、設定温度も併せて設定してください。また、同時に手元リモコンの操作禁止項目を設定した場合、リモコンで操作が禁止されるのは設定時刻となります。)																
③	設定温度	右の上下ボタンで温度を設定します。	<p>上ボタンを押すと、温度が1度上昇し、下ボタンを押すと1度下降します。温度の設定可能範囲は、モード、機種によって異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>冷房・ドライ</th> <th>暖房</th> <th>自動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常機種</td> <td>19～30℃</td> <td>17～28℃</td> <td>19～28℃</td> </tr> <tr> <td>中温機種 (CITY MULTI)</td> <td>14～30℃</td> <td>17～28℃</td> <td>17～28℃</td> </tr> <tr> <td>中温機種 (Mr. Slim)</td> <td>14～30℃</td> <td>14～28℃</td> <td>14～28℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他細かな機種によって、温度範囲が変わる場合があります。また、自動の設定が出来ない場合もあります。)</p> <p>※同一の室内ユニットに対して、複数の操作機 (システムコントローラ、リモコン) から運転モードの変更と設定温度の変更をほぼ同時に行った場合、設定可能範囲外の表示となることがあります。</p>	機種	冷房・ドライ	暖房	自動	通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃	中温機種 (CITY MULTI)	14～30℃	17～28℃	17～28℃	中温機種 (Mr. Slim)	14～30℃	14～28℃	14～28℃
機種	冷房・ドライ	暖房	自動																
通常機種	19～30℃	17～28℃	19～28℃																
中温機種 (CITY MULTI)	14～30℃	17～28℃	17～28℃																
中温機種 (Mr. Slim)	14～30℃	14～28℃	14～28℃																

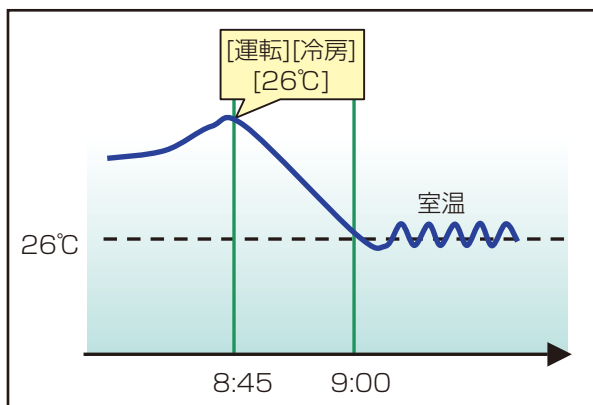
※その他項目は、P.33 の操作画面の説明をご参照ください。

・最適起動スケジュール機能

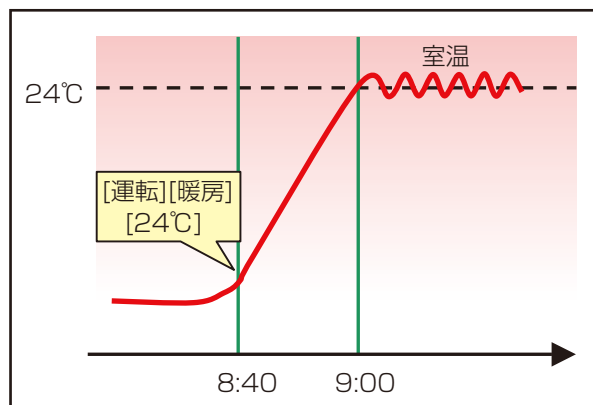
最適起動スケジュール機能とは、指定された時刻に指定された室温となるように空調機を5分～60分前に運転させる機能です。最適起動スケジュールを利用したい場合、スケジュール内容設定画面の運転状態で[最適起動]を選択してください。

※初回起動時は、30分前に運転します。

※室温を空調機の吸込み温度センサーで計測している場合、空調機停止中は内部に空気がこもり、実際の室温と相違がでる場合があります。実際の室温が正常に取得できていない場合は、室温検知センサーを外付けの温度センサー（PAC-SE40TS）やリモコンセンサーに切り換えてご利用ください。



予冷制御例(9:00 26°Cに設定した場合)



予熱制御例(9:00 24°Cに設定した場合)

5-3-2. 年間スケジュールを設定する

[通常画面]のメインメニューから[スケジュール]を選択すると、スケジュール設定画面が表示され、サブメニューから[年間]をタッチすると年間スケジュールの設定画面が表示されます。年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを空調機グループごとに、24ヶ月先(今月含む)までの範囲で50日分設定できます(前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます)。

年間スケジュールを設定するには、まず設定する対象を選択後、[編集]をタッチして年間スケジュール画面を表示します。年間スケジュール画面で、スケジュールパターン(パターンA~E)のスケジュール内容を設定した後で、祝日や夏期休暇などの日にパターンを割り当てます。

※当日スケジュールが設定されている場合、当日スケジュールが優先されるため、年間スケジュールの当日分は実行されません。

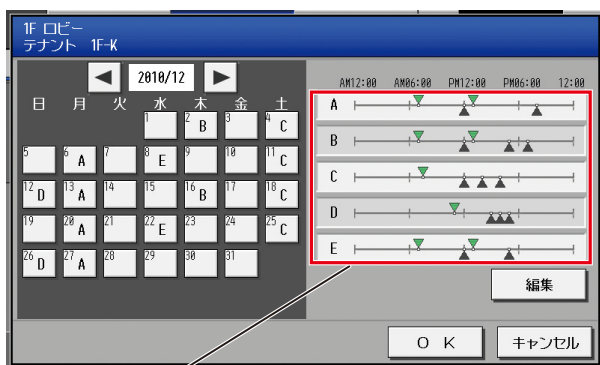
※スケジュールで実行された操作内容は、スケジュールまたはブラウザなどで変更されない限り継続しますので、その日限りのスケジュールを設定する場合は、翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の17:00以降をリモコン操作禁止にしたい場合は、17:00に禁止、23:59に許可を設定してください。

※操作画面でスケジュール無効としたグループ  の年間スケジュールは動作しません。(5-2 参照)

(1) 操作対象を選択する

週間スケジュール同様に操作対象を選択します。(5-3-1. (2) 参照)

(2) パターンを選択する



パターン編集 ——— 年間スケジュール設定画面



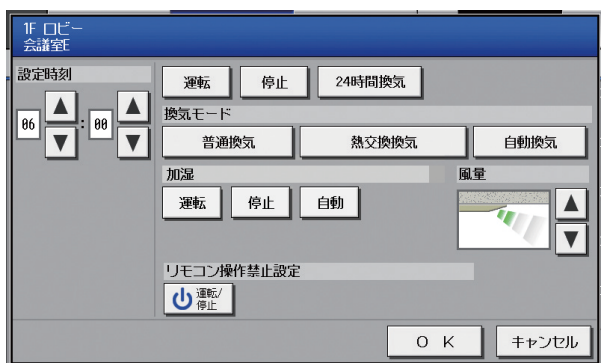
パターン設定画面

年間スケジュール画面のパターン表示領域の各パターン、またはパターン編集ボタンをタッチすると、パターン設定画面が表示されます。パターン設定画面のパターンメニューから編集したいパターンを選択します。

(3) パターンを編集する



スケジュール内容設定画面 (空調機)



スケジュール内容設定画面 (ロスナイ)



スケジュール内容設定画面 (加熱加湿付ロスナイ) [1/2]



スケジュール内容設定画面 (加熱加湿付ロスナイ) [2/2]

パターンを選択後、スケジュール内容ボタンをタッチし、スケジュール内容設定画面を表示します。スケジュール内容設定画面で、スケジュール実行時刻、および運転内容（運転／停止／最適起動、運転モード、設定温度、風向、風速、リモコン操作禁止設定）を設定し、[OK] ボタンをクリックします。特定の運転内容だけ設定することにより、運転モードだけ、設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ／ブロッカー括選択時は、自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが、設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上、スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロッカー括選択時は、リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが、K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は、全ての項目を[許可]にして設定してください。

※空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループのグループ毎に設定できる運転内容が異なります。

※ロスナイの場合は、設定温度は表示されません。また、リモコン操作禁止項目は[運転／停止]のみとなります。

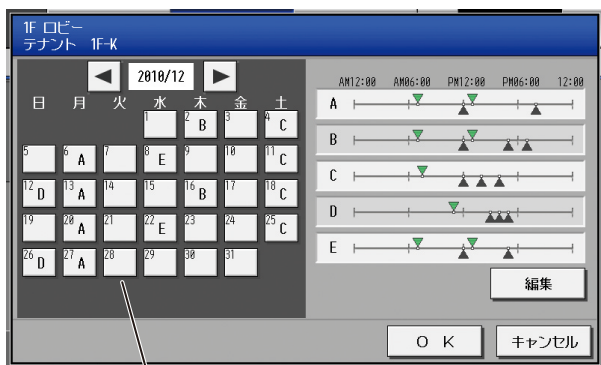
※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。

※加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。



スケジュール内容設定画面 (汎用機器)

(4) パターン割り当て日を設定する



日付ボタン

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

パターンを割り当てるには、カレンダーの日付ボタンをタッチすると、日付ボタンにパターンが表示されますので、割り当てたいパターンが表示されるまでタッチします。

(パターンの表示は、A→B→C→D→E→空白→A→・・・の順です) 解除したい場合は、空白を選択します。

(5) スケジュールを他のパターン、他のグループへコピーする



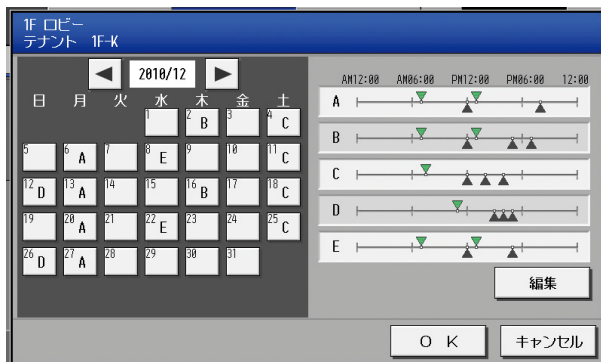
パターン設定画面

パターン間でスケジュール内容をコピーする場合は、パターン設定画面のパターンメニューからコピーしたいパターンを選択し [コピー] をタッチして選択状態とし、他のパターンで [貼り付け] をタッチします。グループ間で年間スケジュールの内容をコピーする場合は、年間スケジュール設定画面 (フロー一覧表示またはブロッカー一覧表示) からグループを選択して、[コピー] をタッチし選択状態とし、他のグループを選択してから [貼り付け] をタッチします。

※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば、空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。

※貼り付け可能な運転モード、設定温度範囲は機種により異なります。

(6) スケジュール内容を保存する



スケジュール内容を全て設定した後、[OK] ボタンをタッチしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

5-3-3. 当日スケジュールを設定する

[通常画面]のメインメニューから[スケジュール]を選択すると、スケジュール設定画面が表示され、サブメニューから[当日]をタッチすると当日スケジュールの設定画面が表示されます。当日スケジュールでは、週間・年間スケジュールを変更せずに当日のみ有効なスケジュールを設定することができます。

当日スケジュールを設定するには、まず設定する対象を選択し、スケジュール内容を設定します。

※スケジュールで実行された操作内容は、スケジュールまたはブラウザなどで変更されない限り継続しますので、その日限りのスケジュールを設定する場合は、翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の17:00以降をリモコン操作禁止にしたい場合は、17:00に禁止、23:59に許可を設定してください。

※操作画面でスケジュール無効としたグループ  の当日スケジュールは動作しません。(5-2 参照)

(1) 操作対象を選択する

週間スケジュール同様に操作対象を選択します。(5-3-1.(2)参照)

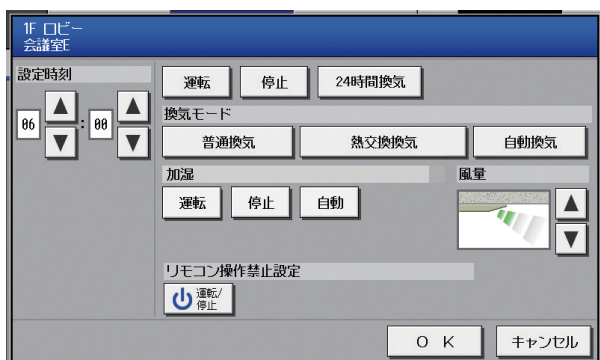
(2) スケジュールを設定する



当日スケジュール設定画面



スケジュール内容設定画面(空調機)



スケジュール内容設定画面(ロスナイ)

当日スケジュール画面で、スケジュール内容ボタンをタッチし、スケジュール内容設定画面を表示します。スケジュール内容設定画面で、スケジュール実行時刻、および運転内容(運転/停止/最適起動、運転モード、設定温度、風向、風速、リモコン操作禁止設定)を設定し、[OK]ボタンをクリックします。特定の運転内容だけ設定することにより、運転モードだけ、設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ/ブロッカー一括選択時は、自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが、設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上、スケジュール設定を行ってください。

※全グループ/ブロッカー一括選択時は、リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが、K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は、全ての項目を[許可]にして設定してください。

※空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループのグループ毎に設定できる運転内容が異なります。

※ロスナイの場合は、設定温度は表示されません。また、リモコン操作禁止項目は[運転/停止]のみとなります。

※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です

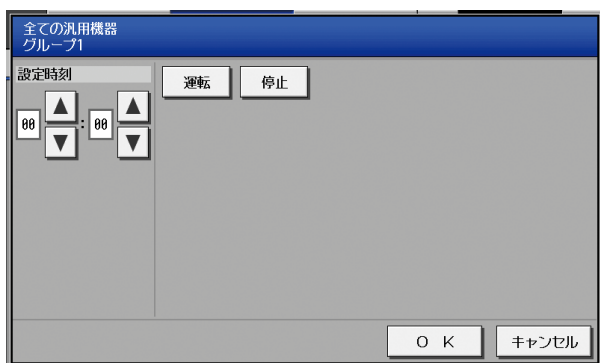
※加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。



スケジュール内容設定画面(加熱加湿付ロスナイ) [1/2]



スケジュール内容設定画面(加熱加湿付ロスナイ) [2/2]



スケジュール内容設定画面(汎用機器)

(3) スケジュールを他のグループへコピーする



グループ間で当日スケジュールの内容をコピーする場合は、当日スケジュール設定画面（フロア一覧表示またはブロック一覧表示）からグループを選択して、[コピー] をタッチし選択状態とし、他のグループを選択してから [貼り付け] をタッチします。

※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば、空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。

※貼り付け可能な運転モード、設定温度範囲は機種により異なります。

(4) スケジュール内容を保存する



スケジュール内容を全て設定した後、[OK] ボタンをタッチしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

5-4. 異常発生中ユニットの一覧を確認する

通常画面のメニューの[状態リスト]をタッチし、サブメニューの[異常発生中]をタッチすると、現在、異常が発生しているユニットが一覧で表示されます。

※異常が発生した場合、異常発生中のユニットアドレス、および異常コード、異常内容を確認の上、お買い上げいただいた販売店もしくはお近くのサービスセンターへお問い合わせください。

①フロア名称またはブロック名称
フロア名称またはブロック名称が表示されます

②グループ名称
グループ名称が表示されます

③発生アドレス
異常が発生しているアドレスが表示されます

④異常発生台数
異常発生台数が表示されます

⑤異常コードボタン
ボタン上に異常コードが表示され、タッチすると異常内容が表示されます

⑥一括リセットボタン
全ての機器の異常がリセットされます

項目	内容
①フロア名称またはブロック名称	異常が発生しているユニットが属しているフロアまたはブロック名称が表示されます。 ※室外ユニットやシステムコントローラなど、操作対象のグループに登録していない機器は空欄で表示されます。 ※ブロックまたはフロアに登録されていない場合は、空欄で表示されます。
②グループ名称	異常が発生しているユニットが属しているグループのグループ名称が表示されます。 ※室外ユニットやシステムコントローラなど、操作対象のグループに登録していない機器は空欄で表示されます。
③発生アドレス	異常が発生しているユニットのアドレスが表示されます。 拡張コントローラ (EC) を接続している場合、「EC 番号-ユニットアドレス」のように表示されます。例：[1-012]
④異常発生台数	異常が発生している機器の台数が表示されます。
⑤異常コードボタン	発生している異常の異常コードが表示されます。異常コードボタンをタッチすると、異常内容が表示されます。
⑥一括リセット	[一括リセット]をタッチすると、異常が発生している全ての機器の異常がリセットされます。 ※一括リセットすると、リセットされたユニットが停止します。

●異常内容表示画面

異常内容表示

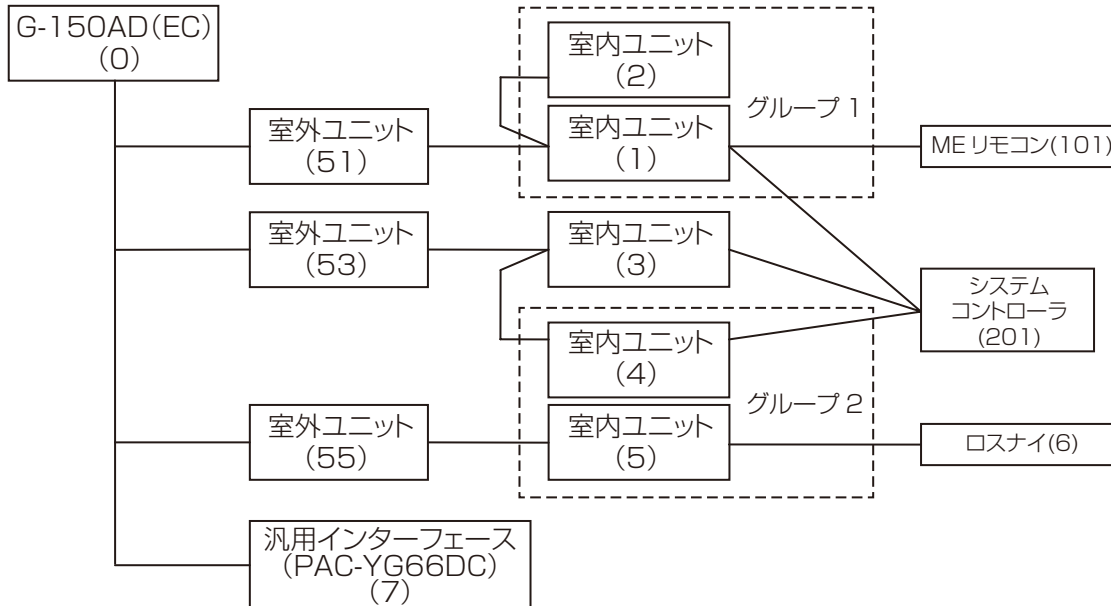
●異常リセット範囲

発生中の異常をリセットした場合に、異常発生中のユニット以外のユニットが停止する場合があります。

異常発生ユニットと停止するユニットの対応表

異常発生ユニット	停止するユニット
G-150AD (EC) が異常の場合	ユニットは停止しない
室外ユニットが異常の場合	異常の室外ユニットに接続されている全ての室内ユニット
室内ユニットが異常の場合	異常の室内ユニットおよびその室内ユニットと同じグループの室内ユニット
ME(MA) リモコンが異常の場合	異常が発生しているリモコンが接続されている室内ユニット
システムコントローラが異常の場合	異常が発生しているシステムコントローラが接続されている全ての室内ユニット
連動設定されたロスナイが異常の場合	異常が発生しているロスナイの連動元の室内ユニット
汎用インターフェース (PAC-YG66DC) が異常の場合	ユニットは停止しない

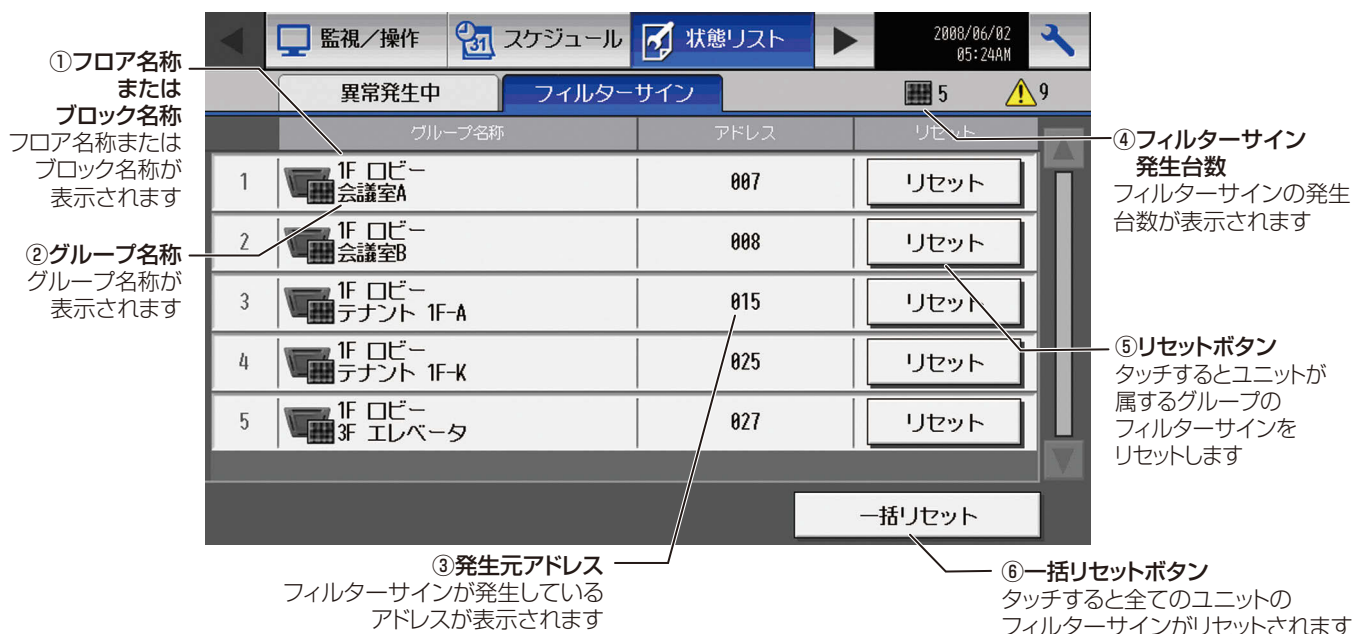
下記に、停止するユニットの範囲例を示します。



異常発生ユニット	停止するユニット
G-150AD(EC) (0)	なし
室外ユニット (51)	室内ユニット (1)、室内ユニット (2)
室外ユニット (53)	室内ユニット (3)、室内ユニット (4)、室内ユニット (5)
室内ユニット (1)	室内ユニット (1)、室内ユニット (2)
室内ユニット (3)	室内ユニット (3)
室内ユニット (5)	室内ユニット (4)、室内ユニット (5)
ロスナイ (6)	室内ユニット (5)
MEリモコン (101)	室内ユニット (1)
システムコントローラ (201)	室内ユニット (1)、室内ユニット (3)、室内ユニット (4)
汎用インターフェース (PAC-YG66DC) (7)	なし

5-5. フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する

通常画面のメニューの[状態リスト]をタッチし、サブメニューの[フィルターサイン]をタッチすると、現在、フィルターサインが発生しているユニットが一覧で表示されます。



項目	内容
①フロア名称またはブロック名称	フィルターサインが発生しているユニットが属しているフロアまたはブロック名称が表示されます。 ※ブロックまたはフロアに登録されていない場合は、空欄で表示されます。
②グループ名称	フィルターサインが発生しているユニットが属しているグループのグループ名称が表示されます。
③発生元アドレス	フィルターサインが発生しているユニットのアドレスが表示されます。 拡張コントローラー（EC）を接続している場合、「EC番号-ユニットアドレス」のように表示されます。 例：[1-012]
④フィルターサイン発生数	フィルターサインが発生している機器の台数が表示されます。
⑤リセット	[リセット]をタッチすると、フィルターサインが発生しているユニットが属しているグループのフィルターサインがリセットされます。（フィルター清掃後に行ってください）
⑥一括リセット	[一括リセット]をタッチすると、フィルターサインが発生している全ての機器のフィルターサインがリセットされます。（フィルター清掃後に行ってください）

5-6. 異常履歴を確認する

通常画面のメニューの[各種履歴]をタッチすると、ユニット異常の履歴(最新の64件)が表示されます。
サブメニューの[通信異常]をタッチすると、M-NET通信異常の履歴(最新の64件)が表示されます。



項目	内容
①ユニット異常履歴	[ユニット異常]をタッチするとユニット異常履歴が表示されます。
②通信異常履歴	[通信異常]をタッチするとM-NET通信異常履歴が表示されます。
③異常発生日時	異常発生日時が表示されます。
④発生アドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。
⑤検出元アドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
⑥復旧日時	異常が復旧した日時を表示します。
⑦異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。 異常コードをタッチすると、異常内容が表示されます。
⑧異常履歴クリア	[異常履歴クリアボタン]をタッチすると、表示されている異常履歴が消去されます。

■ 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

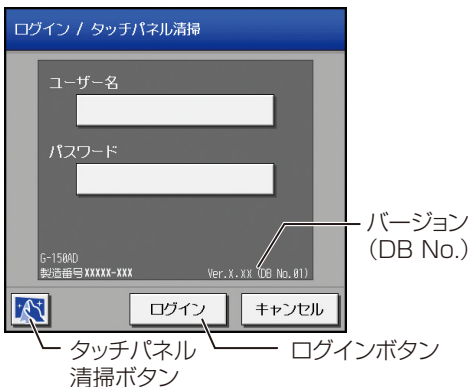
ECタブが表示され、それぞれの拡張コントローラーごとに異常履歴を最大128件(ユニット異常64件、通信異常64件)確認出来ます。


6 初期設定

6-1. 設定変更画面への移行操作



をタッチする



通常画面で右上の設定変更ボタンをタッチすると、ログイン画面が表示されます。そこで、ユーザー名入力ボタン、パスワード入力ボタンをタッチし、それぞれ入力します。

その後、ログインボタンを押し、入力したユーザー名、パスワードが正しければ初期設定画面が表示されます。

※入力はキーボード画面が表示され、表示されるキーをタッチして入力します。

ユーザー	初期ユーザー名	初期パスワード	利用可能機能
保守ユーザー	initial	init	すべての機能
ビル管理者	administrator	admin	すべての機能のうち、利用可能の設定がされているもの

※保守ユーザーは、管理者が通常の業務で必要な項目のみ(グループ名称設定など)利用可能とすることが可能です。

※ビル管理者以外の方が設定変更を行わないよう、ユーザー名、パスワードを初期値から変更して運用することをお奨めします。

■ 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続する場合

ログイン画面の右下に表示されている、DB No.の確認を行い、拡張コントローラー本体に貼付されているラベルのDB No.と異なる場合、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。



キーボード画面

キーボード画面

初期設定画面内で、文字を入力する時に利用する画面です



項目	内容
①表示領域	入力した文字を表示します ※入力可能な文字数は、各種設定によって異なります。
②矢印ボタン	タッチすると、カーソルを移動します
③削除ボタン	タッチすると、カーソルの一つ前の文字を削除します
④キーボード	入力用のキーボードです。 タッチすると、タッチした箇所に表示されている文字が入力されます
⑤英字(大文字)ボタン	タッチすると英字(大文字)入力用キーボードを表示します
⑥英字(小文字)ボタン	タッチすると英字(小文字)入力用キーボードを表示します
⑦数字・記号ボタン	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します
⑧手書き入力ボタン	タッチすると手書き入力画面を表示します
⑨OKボタン	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります
⑩キャンセルボタン	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります

※入力可能な文字の種類によって、表示されるキーボードが異なります

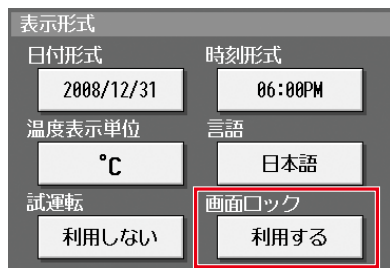
• 手書き入力画面



項目	内容
①表示領域	入力した文字を表示します ※入力可能な文字数は、各種設定によって異なります
②矢印ボタン	タッチすると、カーソルを移動します
③削除ボタン	タッチすると、カーソルの一つ前の文字を削除します
④手書き入力領域	文字を入力する領域です 領域内に入力したい文字を一文字手書きで入力してください 文字を手書き入力していくと、入力候補文字ボタンに文字が表示されますので、その中から入力したい文字を選択し、タッチして入力してください。 ※素早く入力した場合、正確に認識できない場合がありますので、ゆっくりと入力してください ※文字の書き順が違っている場合、正確に認識できない場合がありますので、正しい書き順で入力してください ※タッチペンなどで文字を書く場合、先が鋭利でないものをご使用ください
⑤クリアボタン	手書き入力領域をクリアします
⑥入力候補文字ボタン	手書き入力領域に入力した文字を認識し、確度の高い5文字を表示します 入力したい文字が表示されているボタンをタッチすると、入力文字が確定します ※入力したい文字が表示されない場合は、クリアボタンを押し、手書き入力領域をクリアし、再度ゆっくりと文字を書いてください
⑦過去入力単語ボタン	過去に入力した単語が表示されます ボタンをタッチすると、タッチしたボタンに表示されている単語が、入力されます ※表示される単語は、初期に登録されている単語および過去に入力し、記憶された単語です
⑧英字(大文字)ボタン	タッチすると英字(大文字)入力用キーボードを表示します
⑨英字(小文字)ボタン	タッチすると英字(小文字)入力用キーボードを表示します
⑩数字・記号ボタン	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します
⑪OKボタン	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります
⑫キャンセルボタン	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります

6-2. 画面をロックする

保守ユーザー、ビル管理者以外のユーザーが操作できないようにするために、画面ロックを行います。



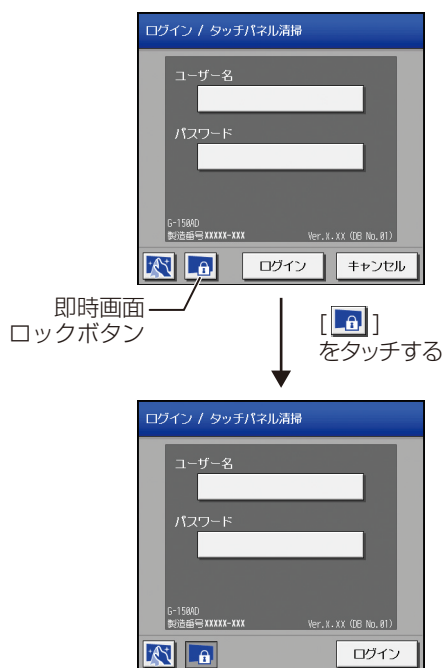
[初期設定画面]の[ユニット情報]画面で画面ロックを[利用する]に設定した場合に、利用出来ます。

※初期設定は、[利用しない]に設定されています

画面ロック機能を[利用する]とした場合、バックライトが消灯した際に(10分間操作なしの場合)、画面ロック機能が働きます。

※初期設定画面の場合、画面ロック機能は働きません

また、ログイン画面に即時画面ロックボタンが表示されますので、ボタンをタッチすることで、すぐに画面ロックをかけることができます。



画面ロックを解除するには、ログイン時と同様のユーザー名・パスワードを入力してください。

※保守ユーザー用、ビル管理者用、どちらでもロックを解除できます

6-3. 現在日時を設定する

設定変更画面へ移行後、メニューバーの[初期設定]をタッチし、サブメニューの[現在日時設定]をタッチすると、現在日時の設定画面が表示されます。現在日時入力後、設定保存ボタンを押して現在日時を設定してください。

※スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると、飛ばされた時刻のスケジュールは実行されませんのでご注意ください。

※電力按分課金支援機能を利用しているときに現在日時を変更すると、空調料金の集計結果に影響が出る場合があります。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000から設定を行ってください。

※この画面で時刻設定を行うと、M-NET上の他のユニット、拡張コントローラー(PAC-YG50EC)、時刻マスタ設定がサブに設定されたG-150ADにも時刻が設定されます。

※拡張コントローラー(PAC-YG50EC)、汎用インターフェース(PAC-YG66DC)、環境用計測コントローラ(PAC-YG63MC)、計量用計測コントローラ(PAC-YG60MC)を新たに接続した場合、これらのユニットに現在日時を設定するために、この画面で日時設定を行ってください。

※時刻マスタ設定がサブ設定されている場合は設定操作ができません。

※MAリモコンに時刻設定ができない室内ユニットの機種があります。

お願い ・ 拡張コントローラー(PAC-YG50EC)接続時、日時設定は拡張コントローラーを正常に接続、および拡張コントローラーのIPアドレスなどの初期設定を完了して、通信可能な状態で行ってください。



項目	内容
①現在日時	現在日時設定部の上下ボタンをタッチして、現在日時を設定します。
②設定保存	設定保存ボタンをタッチして、設定した日時を保存します。 ※ボタンをタッチした時点で設定され、刻時されます。

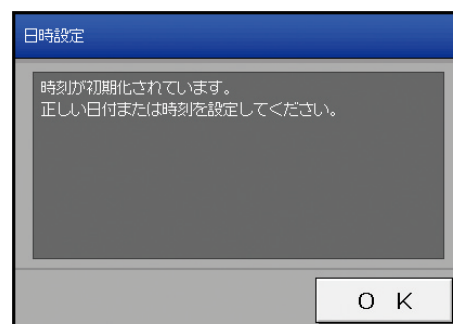
●時刻が初期化された時のメッセージ表示

停電などにより、長期間電源が供給されない状況が続いた場合、時刻がリセットされ、電源投入時に右記のメッセージポップアップが表示されます。メッセージが表示されましたら、初期設定画面より時刻の設定を行ってください。

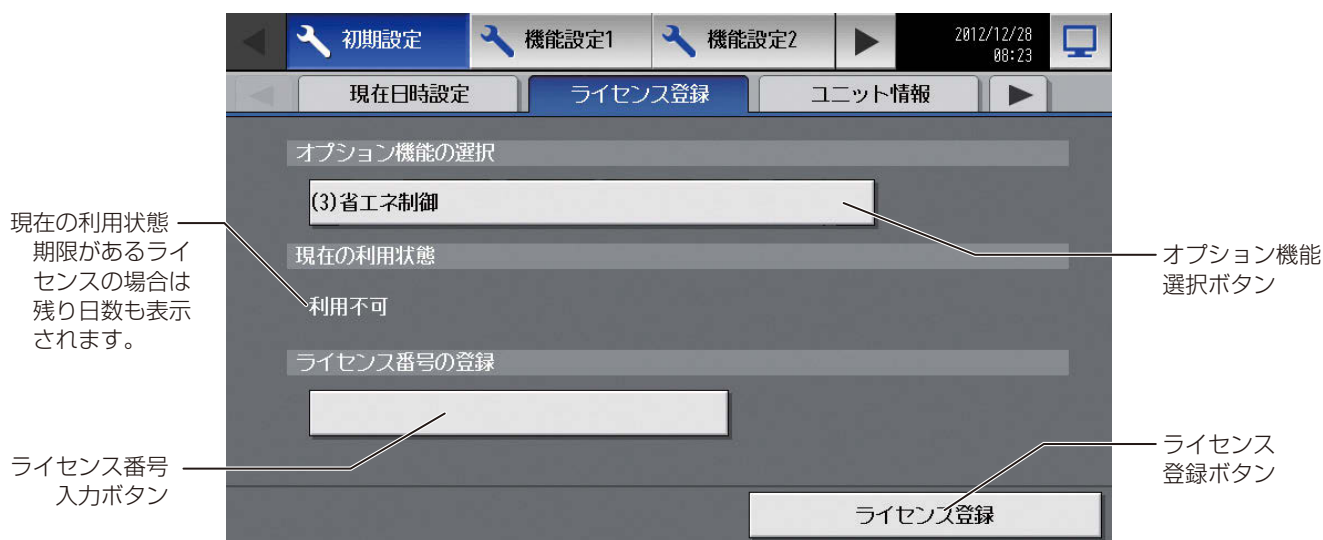
※右記メッセージは、設定を行うまで定期的に表示されます。

※初期化された状態で使用した場合、スケジュール機能やナイトモード機能・セットバック機能・ナイトバース機能は正常に動作しません。

※時刻マスタ/サブ設定が[サブ]となっている場合は、一度[マスタ]に設定を変更した後、時刻設定を行ってください。時刻設定後は、元の[サブ]設定に戻してください。



6-4. ライセンスを登録する



オプション機能のライセンス登録方法について説明します。設定変更画面のメニューバー [初期設定] をタッチし、サブメニューの[ライセンス登録]をタッチすると、ライセンス登録画面が表示されます。

[オプション機能選択ボタン]で、登録するオプション機能を選択し、[ライセンス番号入力ボタン]を押して、ライセンス番号を入力してください。入力完了しましたら、[ライセンス登録ボタン]を押して下さい。ライセンス番号が正しいものであればオプション機能が追加され、現在の利用状態が「利用可能」になります。

正常に登録できない場合は、ライセンス番号が間違えていないか、ライセンス登録するオプション機能を正しく選択しているか、また、G-150AD本体の現在日時が正しく設定されているかを確認してください。

オプション機能の内容およびライセンス番号の購入方法は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※拡張コントローラーを接続してG-150ADを2台接続する場合は、そのオプション機能を使用するG-150ADにのみライセンス登録が必要になります。

6-5. 本体の基本情報を設定する

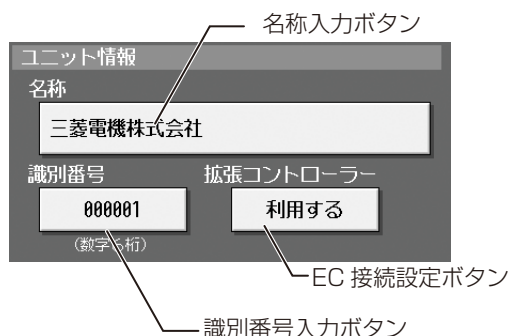
設定変更画面のメニューバーの[初期設定] - [ユニット情報]をタッチしてユニット情報画面を開き、G-150AD本体の名称や表示の設定など各種基本設定を行います。



※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

6-5-1. ユニットの設定

本体情報部で、本体の設定を行います。



(1)[名称入力ボタン]を押すと、手書き入力画面が表示され(P.57 参照)、G-150AD本体の名称を最大 40 文字で入力します。ここで入力された名称は異常発生時に送信される異常メール本文内の送信者名称として使用されます。

※名称には半角の < > & " ` の文字は利用できません。

(2)[識別番号入力ボタン]を押して、G-150ADの識別番号を数字 6 桁(半角)で入力します。複数のG-150ADを識別番号で管理したい場合などにご利用ください。ここで入力された識別番号は異常発生時に送信される異常メール本文内の送信者識別番号として使用されます。

(3)拡張コントローラを接続する場合、[EC接続設定ボタン]を押して、[利用する]を選択してください。

※EC接続を[利用する]とした場合は、ネットワーク設定画面で必ず拡張コントローラの設定を行ってください。

(4)設定後、ユニット情報画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

6-5-2. 表示の設定を行う

表示の設定部で、表示関連の設定を行います。

(1)年月日の並び順を選択します。

ボタンをタッチするたびに

[31/12/yyyy] [12/31/yyyy] [yyyy/12/31] が切り替わります。

yyyyの部分には現在の年が表示されます。

(例えば[31/12/yyyy]は、現在 2009 年であれば、31/12/2009 と表示)

ここで設定された形式で、Web ブラウザ上の日付、メールの日付が表示されます。

(2)時刻表示形式を選択します ([18:00] または [PM 06:00])。

ボタンをタッチするたびに [18:00] [PM 06:00] が切り替わります。

(3)温度表示単位を選択します (°C) または (°F)。ボタンをタッチするたびに (°F) (°C) が切り替わります。

(4)言語設定ボタンをタッチすると、[言語選択画面] を表示し、選択された言語をボタン上に表示します。

(5)試運転の利用可否を選択します。ボタンをタッチするたびに [利用しない] [利用する] が切り替わります。試運転を [利用する] にすると、操作画面で [試運転] が可能となります。

(6)画面ロック機能の利用可否を選択します。ボタンをタッチするたびに [利用しない] [利用する] が切り替わります。

(7)室温表示設定を選択します ([常時表示]、[運転中表示]、[表示しない])。

ボタンをタッチするたびに [常時表示]、[運転中表示]、[表示しない] が切り替わります。

※この設定はG-150AD本体の液晶画面でのみ有効です。

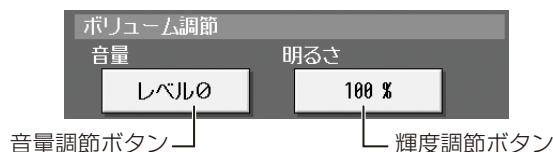
(8)設定後、ユニット情報画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。



言語選択画面

6-5-3. ボリュームの調節を行う

ボリューム調節部で、輝度、音量の調節を行います。



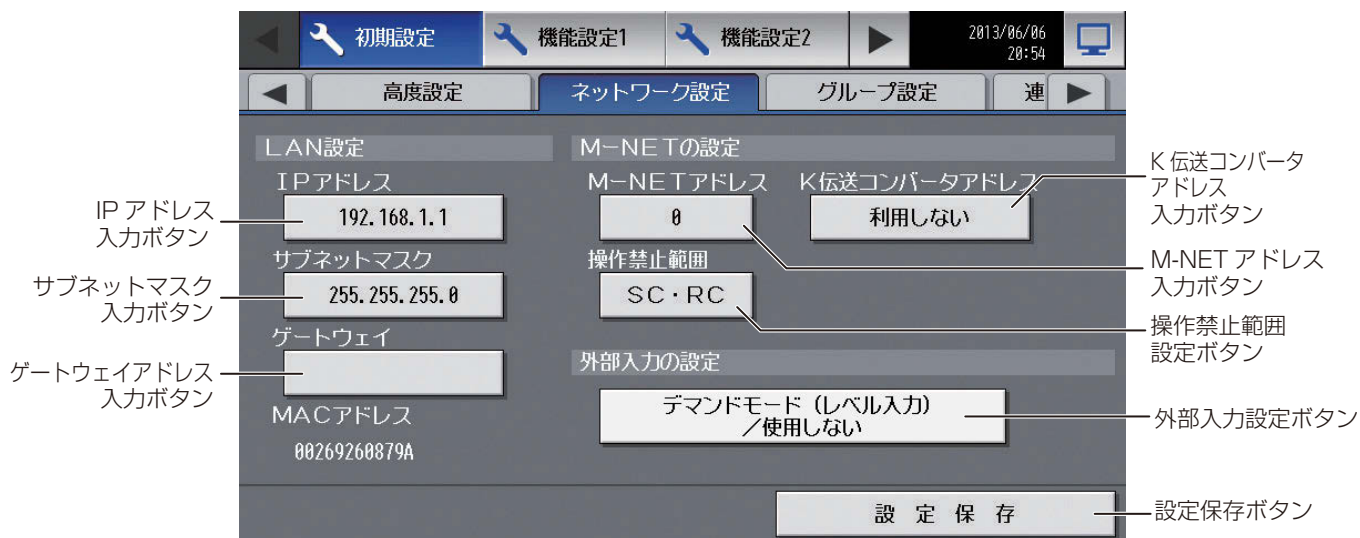
- (1)音量調節ボタンをタッチするたびに [レベル 0] [レベル 1] [レベル 2] [レベル 3] が切り替わります。音の大きさはボタン変更後、すぐに反映されますが、[設定保存] をタッチするまでは保存されません。そのため、[設定保存] をタッチする前に画面を移ると設定した音量は、設定前の状態に戻ります。
- (2)輝度調節ボタンをタッチするたびに [70 %] [80 %] [90 %] [100 %] が切り替わります。明るさはボタン変更後、すぐに反映されますが、[設定保存] をタッチするまでは保存されません。そのため、[設定保存] をタッチする前に画面を移ると設定した輝度は、設定前の状態に戻ります。
- (3)設定後、ユニット情報画面の [設定保存] をタッチすると、設定が保存されます。

6-6. ネットワークの設定を行う

設定変更画面のメニューバーの [初期設定] - [ネットワーク設定] をタッチしてネットワーク設定画面を開き、LAN の設定や M-NET の設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※設定を変更した場合は、通常画面に戻る際に、設定を反映させるため自動的に G-150AD の再立ち上げを行います。



6-6-1. LANの設定を行う

LANの設定部で、G-150ADのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。

なお、既設のLANにG-150ADを接続する場合は、ネットワーク管理者と相談し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。

①専用 LAN に G-150AD を接続する場合の設定方法

(1)G-150ADのIPアドレスを設定します。IPアドレス入力ボタンをタッチすると、キーボード画面が表示されます。そこで、G-150ADのIPアドレスを入力します。G-150AD用にLAN配線を新設した場合は、G-150ADのIPアドレスを[192.168.1.1]から順に割り振ります。

例えば、1台目のG-150ADは[192.168.1.1]、2台目のG-150ADは[192.168.1.2]という形で設定していきます。

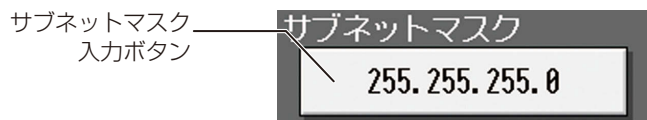
また、G-150ADを監視、設定するWeb監視パソコンなども同一システムのネットワークアドレスに設定します。

※G-150AD専用LANの場合、G-150AD本体のIPアドレスは[192.168.1.1]～[192.168.1.40]、G-150ADと接続するパソコンのIPアドレスは[192.168.1.101]～[192.168.1.150]の間で設定することを推奨しています。(TG-2000は[192.168.1.150]で設定されますので、TG-2000を接続する場合は、[192.168.1.150]は使用しないでください)



(2)サブネットマスク部にサブネットマスクを設定します。

サブネットマスク入力ボタンをタッチすると、キーボード画面が表示されます。そこで、G-150ADのサブネットマスクを入力します。通常は[255.255.255.0]を入力してください。



(3)ダイヤルアップルータ経由で遠隔監視または異常メール通報を行う場合は、[ゲートウェイ]部にダイヤルアップルータのIPアドレスを入力します。ダイヤルアップルータを接続しない場合は、[ゲートウェイ]部は空欄のままとしてください。

※ダイヤルアップルータのIPアドレスは[192.168.1.254]で設定することを推奨しています。IPアドレスの設定方法は、ダイヤルアップルータの取扱説明書をお読みください

※モデム機能の無いダイヤルアップルータを利用する場合は、ダイヤルアップルータと公衆回線網の間にモデム(アナログ用、ISDN用)を接続する必要があります。



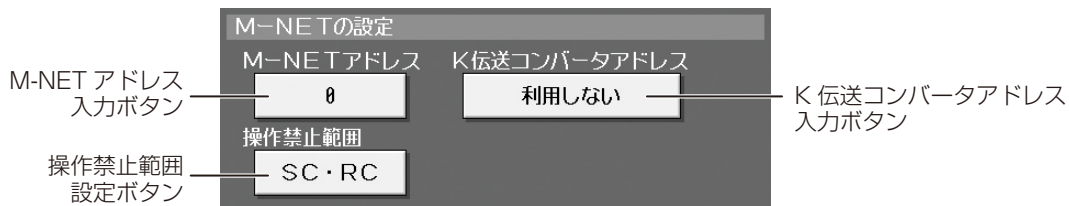
(4)設定後、ネットワーク設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

②既設の LAN に G-150AD を接続する場合の設定方法

既設のLANにG-150ADを接続する場合は、LANを管理しているネットワーク管理者と相談し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。

6-6-2. M-NETの設定を行う

M-NETの設定部で、G-150ADのM-NETアドレス、K制御機種の有無、手元禁止を送信する機器を設定します。



- (1) [M-NET アドレス]部にG-150ADのM-NETアドレスを入力します。通常は[0]を入力してください。
- (2) K制御の空調機が接続される場合は、K伝送コンバータのM-NETアドレスを[K伝送コンバータアドレス]部に入力します。
 - ※ K制御機種を接続する場合、G-150ADのM-NETアドレスは必ず「0」に設定してください。
 - ※ K制御機種の室内ユニットアドレスは、M伝送機種の室内ユニットアドレスよりも大きくなるように設定してください。
 - ※ K制御機種のグループ設定は、グループ番号とそのグループに属する室内ユニットの最小アドレスが同じになるよう設定してください。
- (3) 手元操作禁止に設定した場合に、下位システムコントローラとリモコンの両方を操作禁止とするか、リモコンだけを操作禁止とするかを選択します。下位システムコントローラとリモコンの両方を操作禁止とする場合は[SC・RC]を、リモコンだけを操作禁止とする場合は[RCのみ]を操作禁止範囲設定ボタンをタッチして、選択します。
 - ※ 通常は[SC・RC]を選択してください。
- (4) 設定後、ネットワーク設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

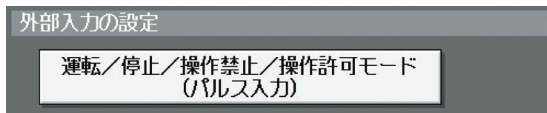
6-6-3. 外部入力の設定を行う

外部入力機能を用いると、別売りの外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) を介して接点信号やパルス信号でG-150ADに接続する空調機の一括停止、一括運転やデマンド制御*などができます。

タッチするたびに、「デマンドモード (レベル入力) / 使用しない」「緊急停止モード (レベル入力)」「緊急停止 復元モード (レベル入力)」「運転/停止モード (レベル入力)」「運転/停止/操作禁止/操作許可モード (パルス入力)」が切り替わります。

※ 外部機器との接続など、詳しくは 13 章に記載しております。

※ 外部入力機能によりデマンド制御を使用する場合は別途省エネピークカットライセンスが必要です。



6-6-4. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

設定変更画面のメニューバーの[初期設定]-[ネットワーク設定]をタッチしてネットワーク設定画面を開き、LANの設定やM-NETの設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※設定を変更した場合は、通常画面に戻る際に、設定を反映させるため自動的にG-150ADの再起動を行います。

※必ず拡張コントローラーを接続している状態で設定してください。

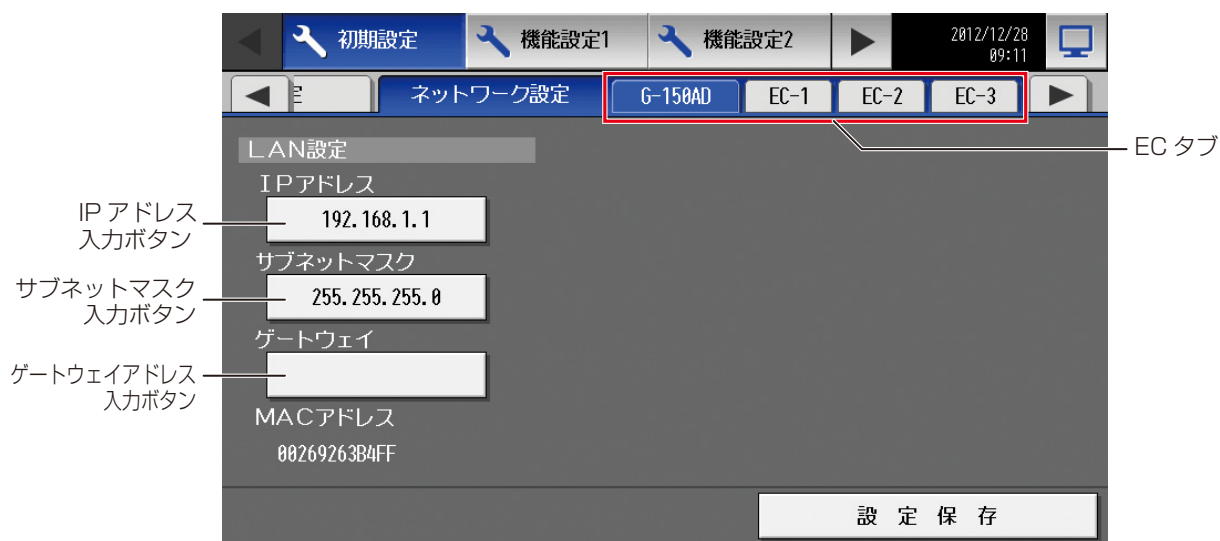
(拡張コントローラーが接続されていない状態で設定された内容は反映されません。)

6-5-1.ユニットの設定 (P.61) で、拡張コントローラー接続を[利用する]にした場合、ネットワーク設定画面でECタブが表示され、ECタブで設定対象を切り換えてG-150AD本体、接続している各ECの設定を行います。

まず、ECタブで[G-150AD]を選択し、G-150ADのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行います。

なお、設定方法は、6-6-1.LANの設定を行う (P.63) を参照してください。

※拡張コントローラーを使用する場合は、G-150ADの外部入力は利用出来ません。



次に、ECタブを[EC-1][EC-2][EC-3]に切替えて拡張コントローラーの設定を行います。



必ず本画面の「バージョン」に表示されている[DB No.]とログイン画面に表示されるG-150AD本体の[DB No.]が一致しているか確認をしてください。

※「バージョン」は拡張コントローラーのIPアドレス設定を行い、G-150ADと拡張コントローラーの接続が確立した後に表示されます。

① 拡張コントローラーの IP アドレスを G-150AD に設定する

(1)各ECのIPアドレスをG-150ADに設定します。IPアドレス入力ボタンをタッチすると、キーボード画面が表示されます。そこで、接続されているECのIPアドレスを入力します。入力するIPアドレスは、EC本体のスイッチで設定したアドレスを入力してください。

※拡張コントローラー本体で設定したアドレスと異なる場合、正常に動作しません。

※拡張コントローラーのIPアドレスの設定方法は、拡張コントローラー PAC-YG50EC 据付工事/取扱説明書をご参照ください。

※正常に動作しない場合、拡張コントローラー本体の設定、G-150ADで設定したアドレスが間違っていないか、再度ご確認ください。



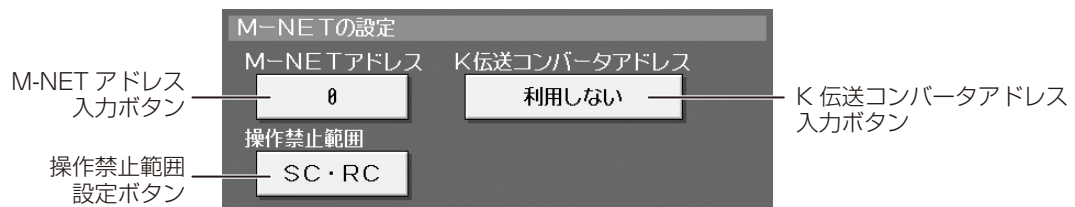
(2)設定後、ネットワーク設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

(3)IPアドレス設定後、拡張コントローラーの接続情報を収集する状態を示す画面が数分間表示されます。

② 拡張コントローラーの M-NET の設定を行う

M-NETの設定部で、拡張コントローラーのM-NETアドレス、K制御機種の有無、手元禁止を送信する機器を設定します。

※必ず正しいIPアドレスを設定し、拡張コントローラーを接続した状態で、M-NETアドレスの設定を行ってください。



(1)[M-NETアドレス]部に拡張コントローラーのM-NETアドレスを入力します。通常は[0]を入力してください。

(2)K制御の空調機が接続される場合は、K伝送コンバータのM-NETアドレスを[K伝送コンバータアドレス]部に入力します。

※K制御機種を接続する場合、拡張コントローラーのM-NETアドレスは必ず「0」に設定してください。

※K制御機種の室内ユニットアドレスは、M伝送機種の室内ユニットアドレスよりも大きくなるように設定してください。

※K制御機種のグループ設定は、グループ番号とそのグループに属する室内ユニットの最小アドレスが同じになるよう設定してください。

(3)手元操作禁止に設定した場合に、下位システムコントローラとリモコンの両方を操作禁止とするか、リモコンだけを操作禁止とするかを選択します。下位システムコントローラとリモコンの両方を操作禁止とする場合は[SC・RC]を、リモコンだけを操作禁止とする場合は[RCのみ]を操作禁止範囲設定ボタンをタッチして、選択します。

※通常は[SC・RC]を選択してください。

(4)設定後、ネットワーク設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

③ 拡張コントローラーの外部入力の設定を行う

外部入力機能を用いると、別売りの外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) を介して接点信号やパルス信号でECに接続する空調機の一括停止、一括運転などができます。

タッチするたびに、「使用しない」「緊急停止モード(レベル入力)」「緊急停止 復元モード(レベル入力)」「運転/停止モード(レベル入力)」「運転/停止/操作禁止/操作許可モード(パルス入力)」が切り替わります。

※外部機器との接続等、詳しくは拡張コントローラー PAC-YG50EC 据付工事/取扱説明書をご参照ください。

6-7. グループの設定を行う

設定変更画面のメニューバーの[初期設定] - [グループ設定]をタッチしてグループ設定画面を開き、G-150ADに接続される空調機または汎用機器のグループ登録およびグループ名称設定を行います。G-150AD 1台につき、最大50ユニットまでの接続が可能です。また、別売の拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を併設することで、最大150台 (PAC-YG50EC 3台使用時) まで管理台数を増やすことができます。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

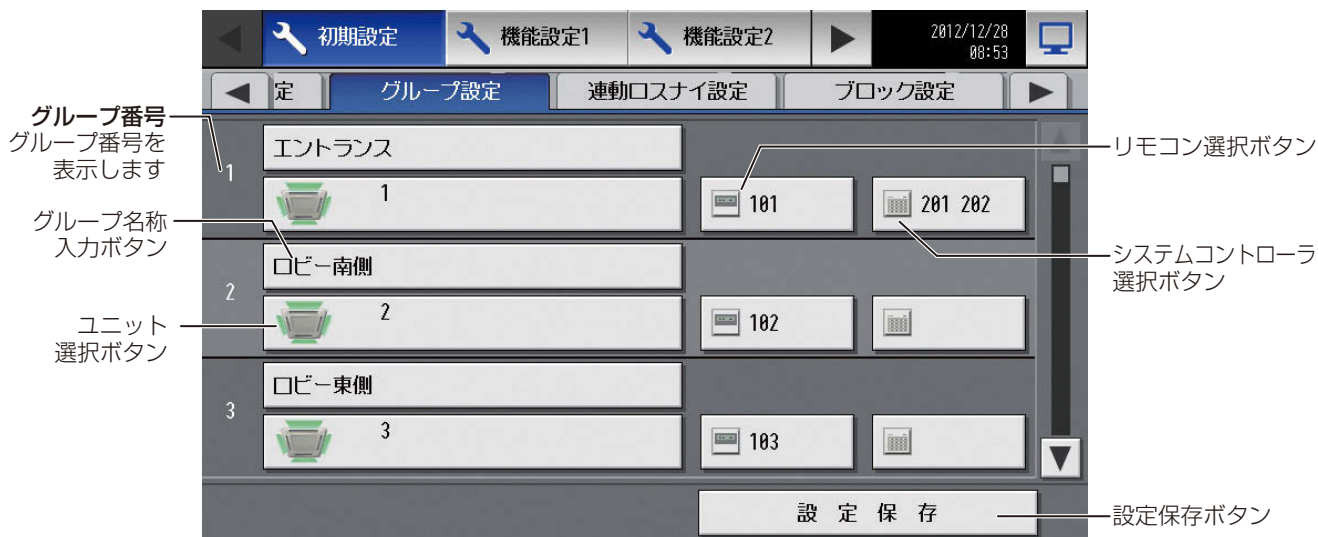
※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000から行ってください。

※汎用インターフェース (PAC-YG66DC) の1接点は1ユニットに換算されます。

※空調機と汎用機器が混在したグループを設定することはできません。

※汎用機器のグループには、リモコン、システムコントローラは登録できません。

※汎用インターフェース (PAC-YG66DC) 1台に汎用機器を最大6台接続可能です。



6-7-1. 空調機をグループに登録する

空調機を登録する場合、設定したいグループのユニット選択ボタンをタッチし、ユニット選択画面を表示します。

表示されたユニット選択画面で、機種選択ボタンをタッチし、[空調機]の表示にします (換気機器を登録したい場合、[ロスナイ]の表示にします。加熱加湿付ロスナイを登録したい場合、[加熱加湿付ロスナイ]の表示にします。)。次に登録したいユニット番号をクリックし、選択状態 (オレンジ枠表示) にします。

接続を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (オレンジ枠非表示) に戻ります。

登録後[OK]ボタンをタッチすると、変更した設定が反映され、[キャンセル]ボタンで変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。

※1グループに対し、最大16台までの空調機が登録できます。

※汎用機器が登録されているグループを空調機に変更する場合、汎用機器の接続を解除してから空調機を登録してください。

※同じグループには、同一の機器のみ登録可能です (ex. 空調機を登録したグループには空調機のみ)

※ロスナイグループにて、ナイトパーズありのユニットとナイトパーズなしのユニットを同一グループに登録しないでください。また、24時間換気ありのユニットと24時間換気なしのユニットを同一グループに登録しないでください。



6-7-2. グループ名称を設定する

(1)グループ名称入力ボタンを押して、キーボード画面を表示し、グループ名称を最大 20 文字 (全角半角問わず) で設定します。
※グループ名称には半角の < > & ' ' の文字は利用できません。

(2)アイコンを変更する場合はアイコン選択ボタンをタッチし、表示されたアイコンの中から使用するアイコンを選択します。



(3)グループにリモコンを登録したい場合は、リモコン選択ボタンをタッチしてリモコン選択画面を表示し、登録したいユニット番号をタッチして選択状態 (オレンジ枠表示) にします。解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (オレンジ枠非表示) に戻ります。登録後 [OK] ボタンをタッチすると、変更した設定が反映され、[キャンセル] ボタンで変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。

- ※ 1 グループに対し、最大 2 台までのリモコンが登録できます。
- ※ MA リモコンは登録する必要はありません。
- ※ システムコントローラ 3 台接続時、リモコンは 1 台設定出来ません。システムコントローラ 4 台接続時、リモコンは選択できません。(システムコントローラと合わせて 4 台まで)
- ※ 他のグループに登録されているリモコンは、灰色表示となり、選択できません。



(4)グループにシステムコントローラを登録したい場合は、システムコントローラ選択ボタンをタッチしてシステムコントローラ選択画面を表示し、登録したいユニット番号をタッチして選択状態 (オレンジ枠表示) にします。

解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (オレンジ枠非表示) に戻ります。登録後 [OK] ボタンをタッチすると、変更した設定が反映され、[キャンセル] ボタンで変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。

- ※ 1 グループに対し、リモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- ※ K 伝送コンバータは登録する必要はありません。



(5)設定後、グループ設定画面の [設定保存] をタッチすると、設定が保存されます。
※設定を変更した場合は、通常画面に戻る際に数分間設定の時間がかかる場合があります。

6-7-3. 汎用機器をグループに登録する

(1) 汎用機器を登録する場合、設定したいグループのユニット選択ボタンをタッチし、表示されたユニット選択画面で [汎用機器 (PAC-YG66DC 接続)] を選択して汎用機器の登録画面を表示します。

次に登録したい汎用機器が接続された汎用インターフェース (PAC-YG66DC) のユニット番号をタッチして選択状態 (黄緑枠表示) にした状態で、グループに登録する接点の番号を選択し、他のユニット番号をタッチすると、最初に選択したユニット番号の選択枠がオレンジ枠表示に変わりグループに登録されます。(黄緑枠表示が現在選択しているユニット、オレンジ枠表示がグループ登録されているユニットです) 接続を解除したい場合は、ユニット番号を選択し、選択されている接点番号をタッチすることで非選択状態 (オレンジ枠非表示) に戻ります。登録後 [OK] ボタンをタッチすると、変更した設定が反映され、[キャンセル] ボタンで変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。

※ 1 グループに対し、最大 16 台までの汎用機器が登録できます。

※ 空調機が登録されているグループを汎用機器に変更する場合、空調機の接続を解除してから汎用機器を登録してください。

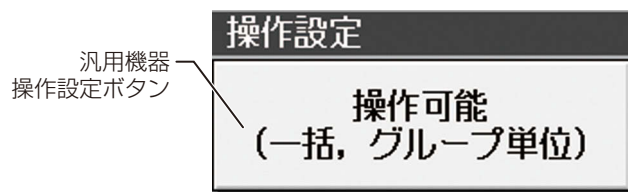
※ 同じグループには、汎用機器以外の機器 (空調機、換気機器) は登録出来ません。



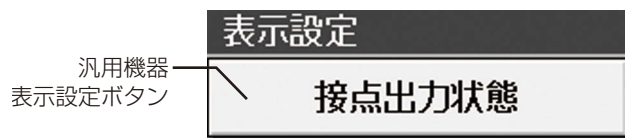
(2) アイコンを変更する場合はアイコン選択ボタンをタッチし、表示されたアイコンの中から使用するアイコンを選択します。



(3) 本体液晶画面、Web ブラウザ、または TG-2000 の操作画面で運転・停止操作を可能とするか、操作不可とするかを [操作設定] 部で選択します。一括操作時に運転・停止状態を反映させたいときは [操作可能 (一括、グループ単位)] を、グループ単位での操作のみ行いたい場合は [操作可能 (グループ単位)] を、操作を禁止したい場合は [操作禁止 (監視のみ)] を選択します。



(4) 監視画面にて表示される運転・停止状態を、汎用機器に対する出力状態を表示するか、汎用機器からの入力状態を表示するかを [表示設定] 部で選択します。



(5) 設定後、グループ設定画面の [設定保存] をタッチすると、設定が保存されます。

※ 設定を変更した場合は、通常画面に戻る際に数分間設定の時間がかかる場合があります。

6-7-4. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

設定変更画面のメニューバーの[初期設定] - [グループ設定]をタッチしてグループ設定画面を開き、ECタブから設定したいECを選択し、空調機または汎用機器のグループ登録およびグループ名称設定を行います。EC 1台につき、最大 50 ユニットまでの接続が可能です。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000 から行ってください。

※汎用インターフェース (PAC-YG66DC) の1 接点は1 ユニットに換算されます。

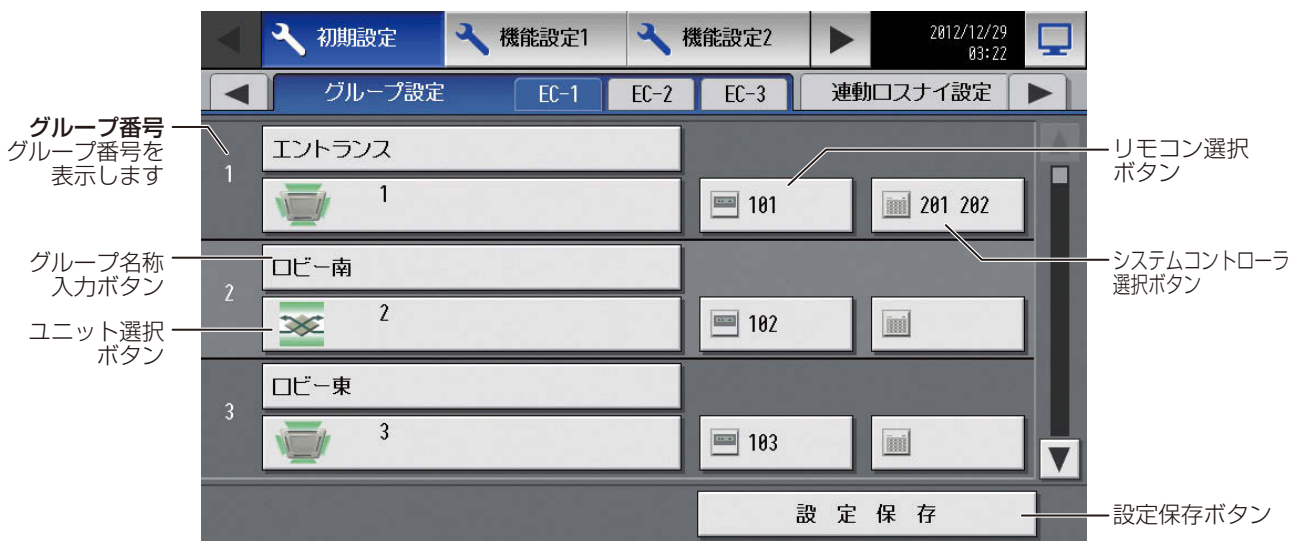
※空調機と汎用機器が混在したグループを設定することはできません。

※汎用機器のグループには、リモコン、システムコントローラは登録できません。

※異なる拡張コントローラーに接続されている機器を混在してグループ登録することはできません。

お願い

- 必ず拡張コントローラーを接続している状態で設定してください。
(拡張コントローラーが接続されていない状態で設定された内容は、後から拡張コントローラーを接続しても反映されません。)



グループ名称の設定・空調機のグループ登録・汎用機器のグループ登録の詳しい設定方法は、6-7-1 (P.67)、6-7-2 (P.68)、6-7-3 (P.69)の項目を参照してください。

6-8. 換気機器（ロスナイ・加熱加湿付ロスナイ）の連動情報を設定する

換気機器を室内ユニットの運転/停止に連動して動作させたい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]－[連動ロスナイ設定]をタッチして連動ロスナイ設定画面を開き、換気機器の連動条件を設定します。

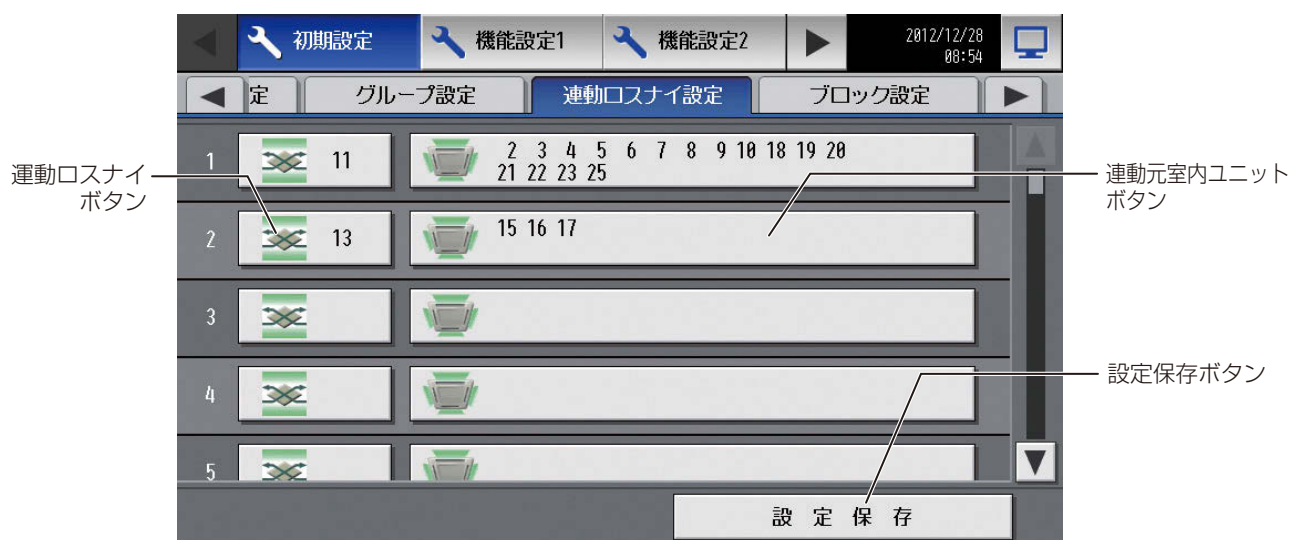
※加熱加湿付ロスナイは、加熱加湿付ロスナイ直影タイプを示します。

※加熱加湿付ロスナイを連動ロスナイとして登録する場合は、SW3-1 をOFF（工場出荷時）にしてください。詳しくは加熱加湿付ロスナイの据付工事説明書をご覧ください。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000 から行ってください。

※換気連動設定している換気機器を単独でグループ設定している場合、換気機器の単独グループで換気機器を運転/停止させると、室内ユニットと連動して運転/停止動作はしません。



(1)連動させる換気機器を登録する場合は、連動ロスナイボタンをタッチすると、連動ロスナイ選択画面が表示されますので、登録したいユニット番号をタッチし、選択状態（オレンジ枠表示）にします。解除したい場合は、再度タッチすることで非選択状態（オレンジ枠非表示）に戻ります。選択後、[OK] ボタンを押して、変更した設定を反映させます。変更しない場合は、[キャンセル] ボタンで元の画面に戻ります。



(2)連動元室内ユニットボタンをタッチして、連動元室内ユニット選択画面を表示し、登録したいユニット番号をタッチして選択状態（オレンジ枠表示）にします。解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（オレンジ枠非表示）に戻ります。選択後、[OK] ボタンを押して、変更した設定を反映させます。変更しない場合は、[キャンセル] ボタンで元の画面に戻ります。

※1台の換気機器に対し、最大16台までの室内ユニットが登録できます



(3)設定後、連動ロスナイ設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

※設定を変更した場合は、通常画面に戻る際に数分間設定の時間がかかる場合があります。

■ 拡張コントローラー（PAC-YG50EC）を接続している場合

換気機器を室内ユニットの運転/停止に連動して動作させたい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]－[連動ロスナイ設定]をタッチして連動ロスナイ設定画面を開き、ECタブから設定したい拡張コントローラーを選択し、換気機器の連動条件を設定します。

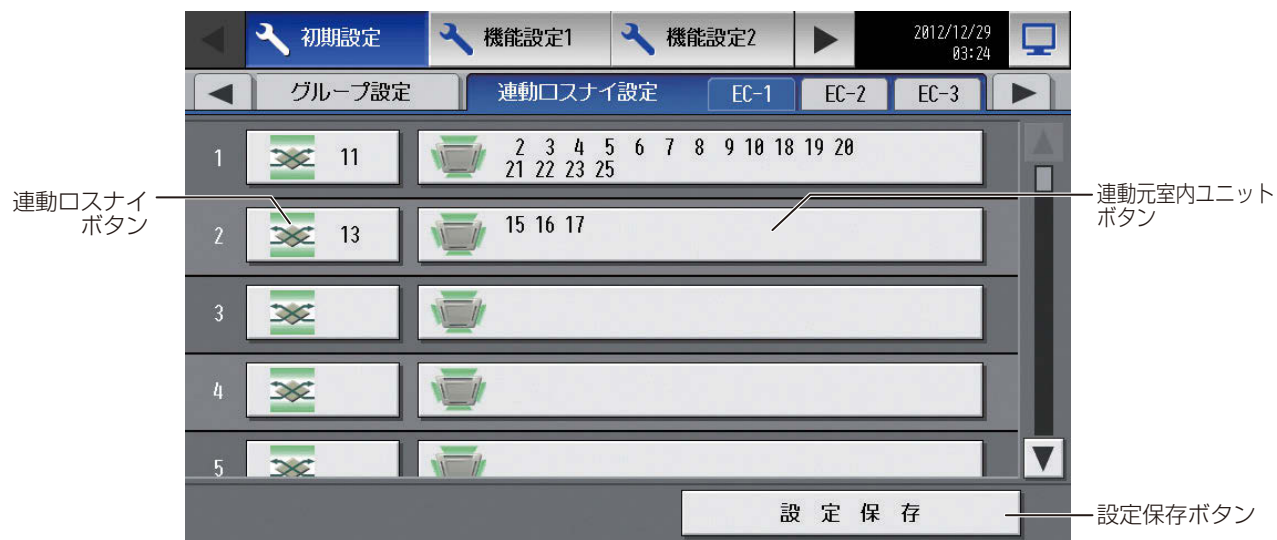
※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000から行ってください。

※異なる拡張コントローラーに接続されている機器を連動設定することはできません。

お願い

- ・必ず拡張コントローラーを接続している状態で設定してください。
(拡張コントローラーが接続されていない状態で設定された内容は反映されません。)



連動ロスナイ、連動元室内ユニットの詳しい設定方法は、P.71 を参照してください。

6-9. ブロックを登録する

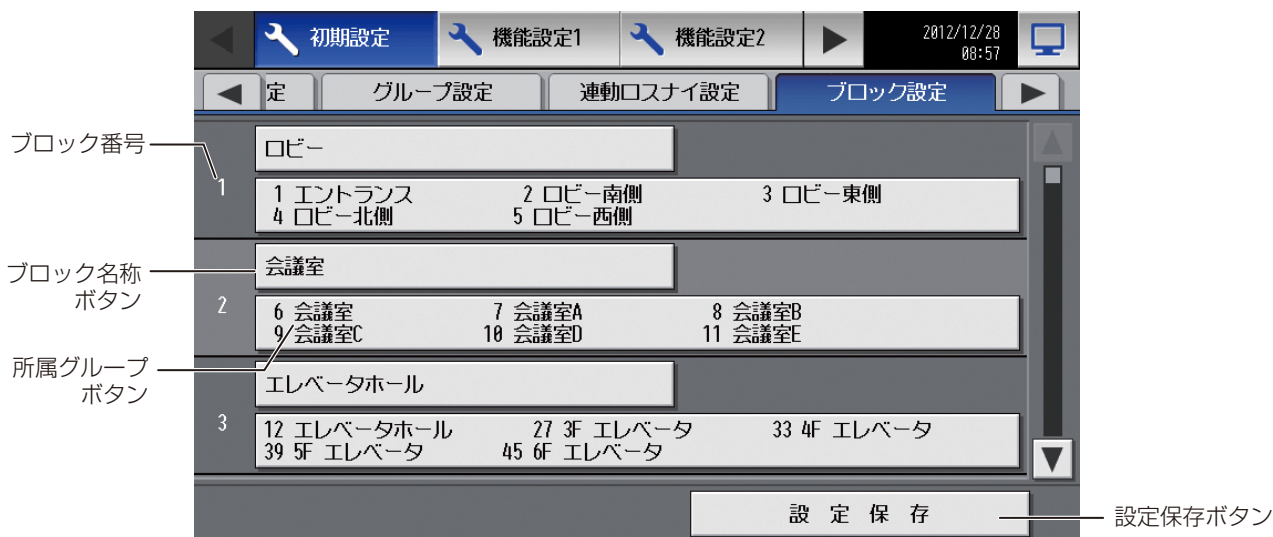
複数の空調グループを一括して監視・操作したい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]-[ブロック設定]をタッチしてブロック設定画面を開き、ブロックにグループを登録します。

※ブロックは、省エネ・ピークカット制御の設定単位として利用されますので、省エネ・ピークカット制御をする場合は必ず設定してください。(省エネ・ピークカット制御の設定はWeb画面より行ってください。)

※24時間換気のロスナイに対して、ピークカット停止制御すると換気が停止するため、24時間換気のロスナイは別ブロックに設定してください。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000から行ってください。



6-9-1. グループをブロックに登録する

所属グループボタンをタッチすると、グループ選択画面が表示されますので、登録したいグループ番号をタッチし、選択状態(オレンジ枠表示)にします(最後にタッチしたグループ番号のグループ名称が表示されます)。

解除したい場合は、再度タッチすることで非選択状態(オレンジ枠非表示)に戻ります。



設定後、ブロック設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

6-9-2. ブロック名称を設定する

ブロック名称ボタンをタッチして、キーボード画面を表示し、ブロック名称を最大20文字(全角半角問わず)で設定します。設定後、ブロック設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

※ブロック名称には半角の<>&'の文字は利用できません。

6-9-3. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

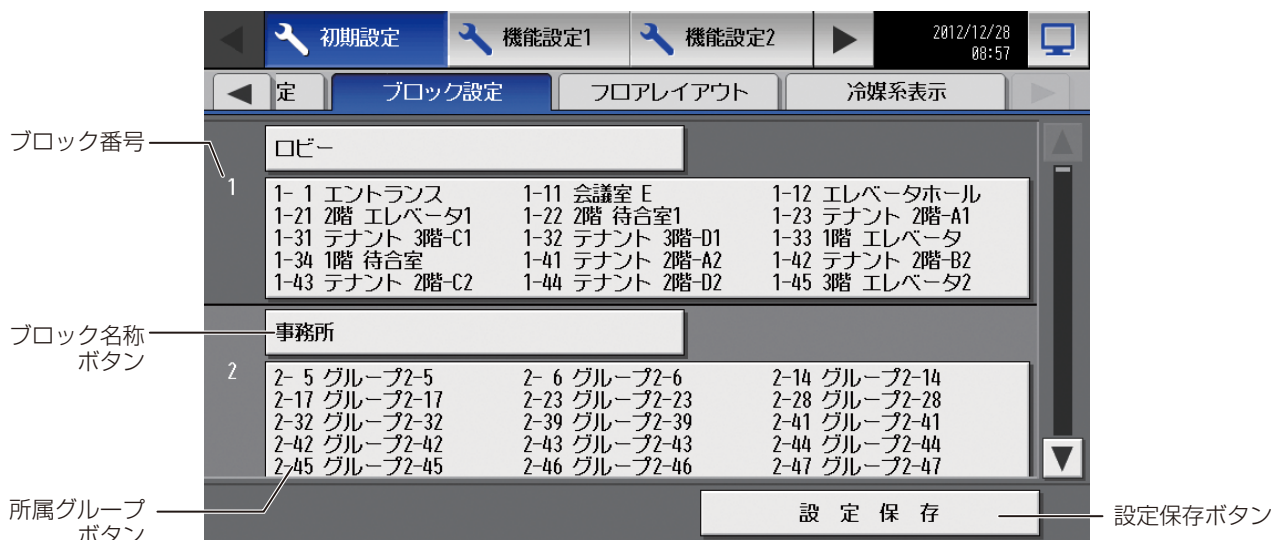
複数の空調グループを一括して監視・操作したい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定] - [ブロック設定]をタッチしてブロック設定画面を開き、ブロックにグループを登録します。

※ブロックは、省エネ・ピークカット制御の設定単位として利用されますので、省エネ・ピークカット制御をする場合は必ず設定してください。(省エネ・ピークカット制御の設定はWeb画面より行ってください。)

※24時間換気のロスナイに対して、ピークカット停止制御すると換気が停止するため、24時間換気のロスナイは別ブロックに設定してください。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とG-150ADの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000から行ってください。



① ブロック名称を設定する

ブロック名称ボタンをタッチして、キーボード画面を表示し、ブロック名称を最大20文字(全角半角問わず)で設定します。設定後、ブロック設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

※ブロック名称には半角の<> & ' 'の文字は利用できません。

② グループをブロックに登録する

所属グループボタンをタッチすると、グループ選択画面が表示されますので、ECタブより登録したいグループが設定されているECを選択後、登録したいグループ番号をタッチし、選択状態(オレンジ枠表示)にします(最後にタッチしたグループ番号のグループ名称が表示されます)。

解除したい場合は、再度タッチすることで非選択状態(オレンジ枠非表示)に戻ります。



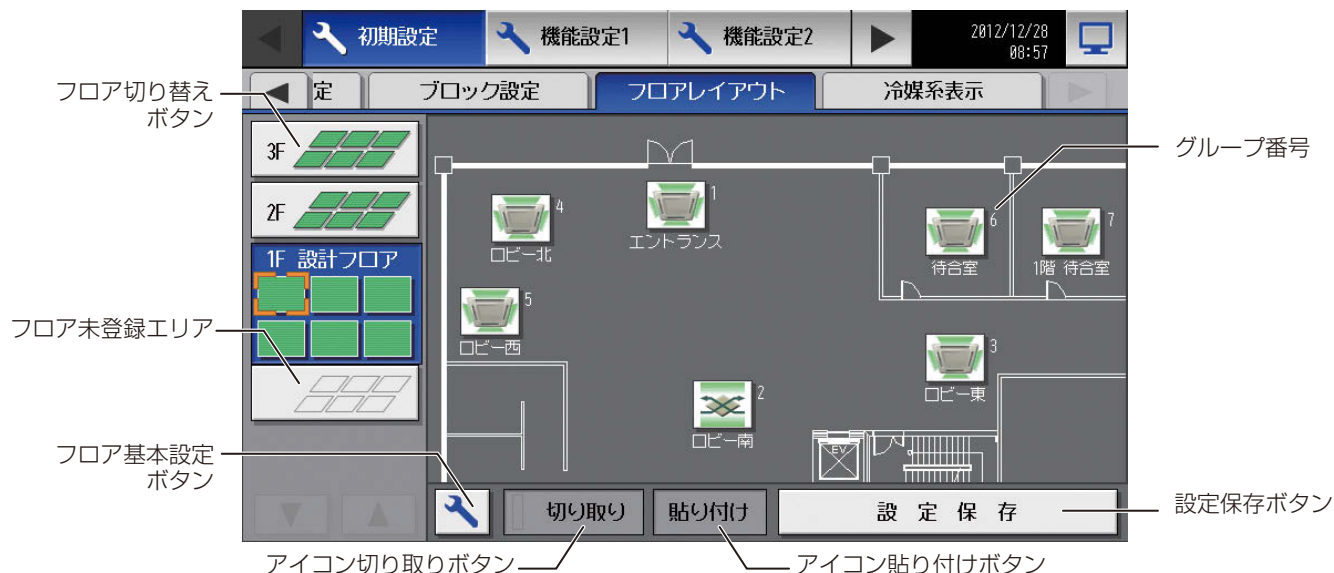
設定後、ブロック設定画面の[設定保存]をタッチすると、設定が保存されます。

※登録されたグループは、[EC番号+グループ番号 グループ名称]で所属グループボタン上に表示されます。

6-10. フロアレイアウトを設定する

監視/操作画面のフロア一覧画面で表示されるフロアのレイアウトを変更したい場合、フロアに配置するグループの表示位置を変更したい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]-[フロアレイアウト]をタッチして、フロアレイアウト設定画面を開き、設定します。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

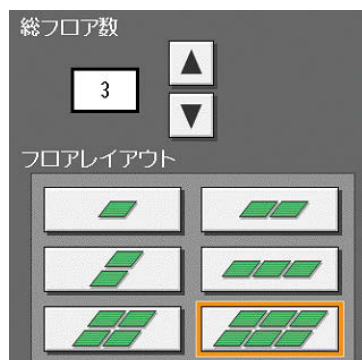


6-10-1. フロアの設定を行う

フロア基本設定ボタンをタッチして、フロア基本設定画面を表示します。



(1) フロア数・レイアウトの設定



フロア基本設定画面で、フロア数を上下ボタンで設定し、フロアレイアウトを選択します。フロアレイアウトは、フロア数の設定によって、選択できないものがあります。

※フロア数1～3：全レイアウト選択可能

※フロア数4～5：[縦1×横1][1×2][2×1][1×3][2×2]が選択可能

※フロア数6～8：[縦1×横1][1×2][2×1]が選択可能

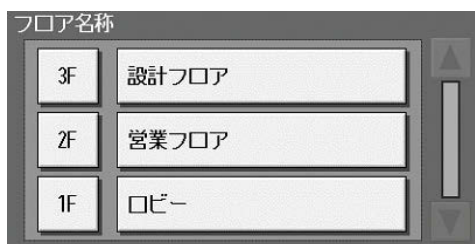
※フロア数9～10：[縦1×横1]が選択可能

※フロア数「-」を選択した場合、フロア未登録エリアのみが表示され、レイアウトの選択は出来ません(フロア未登録エリアのレイアウトは、[縦2×横3]に固定)

※フロアを削減した場合やレイアウトを縮小した場合、削除されたエリアに登録されていたアイコンは、フロア未登録エリアに移動します。

※初期は、[縦1×横2]で設定されています。

(2) 階数名称・フロア名称を変更する



フロア基本設定画面で、階数名称ボタンを押して、階数名称を最大 3 文字で設定します。
また、フロア名称ボタンを押して、フロア名称を最大 20 文字で設定します。

(3) 平面図を読み込む

USBメモリから読み込み

フロア基本設定画面で、USBメモリから読み込みボタンを押すと、USBから平面図ファイル (gif形式 256 色) を読み込みます。

平面図のファイルは、USBメモリのルートフォルダ内に以下に示すファイル名・固定のサイズで保存し、USBメモリから読み込みボタンを押すことで、画像が読み込まれます。**読み込み可能なファイルは、各フロアにつき縦 660 ドット×横 1890 ドット固定の gif 形式です。**

※拡張データ (メタデータ) 付の gif 形式ファイルは読み込めません。
メタデータの方式として XMP があります。

各フロアに対応するファイル名は以下の通りです。






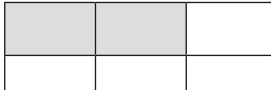

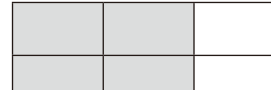

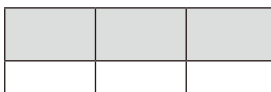

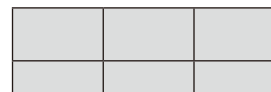
※以下に表す [フロア] は、階数名称ではなく、フロア画面で下から数えた順番です。

ex. 階数名称を [15 階] と設定した場合でも、設定した中で一番下のフロアであれば、ファイル名は、[floor_01.gif] となります。

フロア	ファイル名	フロア	ファイル名
1	floor_01.gif	6	floor_06.gif
2	floor_02.gif	7	floor_07.gif
3	floor_03.gif	8	floor_08.gif
4	floor_04.gif	9	floor_09.gif
5	floor_05.gif	10	floor_10.gif

※設定した平面図を消したい場合は、初期の背景色で塗りつぶしたファイル作成し、読み込んでください。

設定するフロア構成によって、画像の表示される範囲が変わります。(画像サイズは 660 × 1890 ドット固定です。)

フロア構成	表示範囲	フロア構成	表示範囲
縦1×横1 	縦330×横630ドット 	縦2×横1 	縦660×横630ドット 
縦1×横2 	縦330×横1260ドット 	縦2×横2 	縦660×横1260ドット 
縦1×横3 	縦330×横1890ドット 	縦2×横3 	縦660×横1890ドット 

※各フロア構成にあった画像を作成してください (画像サイズは 縦 660 × 横 1890 ドット固定)

※ 1 フロア 6 分割で対応できない場合は、2 フロア以上を用いて設定してください。

使用できる色は以下の通りです (RGB 表示)。

※これ以外の色は、設定した色と違う色が表示されますので、この中の色を使用して画像を作成してください。

R	G	B
224	71	72
221	151	152
81	66	81
105	89	105
17	16	17
51	42	52
27	23	30
165	145	185
33	37	57
2	17	85
6	35	160
6	28	122
9	40	168
12	45	176
154	162	194
211	214	227
15	49	182
17	53	188
20	57	195
24	64	205
17	46	149
21	52	163
28	70	215
32	64	178
45	80	204
44	75	190
55	90	213
69	99	205
99	122	202

R	G	B
101	112	150
126	137	176
142	149	175
175	180	199
33	77	225
37	83	234
39	86	240
41	89	245
42	92	249
46	93	246
23	47	124
63	104	238
77	116	241
99	137	255
126	146	214
149	170	235
70	79	108
179	189	222
191	202	230
192	210	241
163	170	180
236	242	250
159	185	210
144	154	162
204	228	245
112	183	219
126	139	145
214	241	251
159	240	253

R	G	B
130	150	153
105	134	135
37	96	86
204	214	211
48	64	59
250	255	253
227	255	243
241	255	248
237	249	243
67	97	79
59	78	66
61	116	80
85	128	100
154	177	162
14	45	24
59	93	70
178	187	181
46	181	88
59	157	90
90	213	129
214	255	225
224	239	228
129	155	135
178	194	182
115	255	143
99	193	117
182	201	185
59	255	88
19	255	48

R	G	B
176	255	185
238	255	240
154	255	163
198	255	203
106	255	116
137	255	144
226	252	227
124	233	125
250	255	250
167	229	166
107	145	104
182	211	180
23	95	15
149	211	141
128	140	126
95	202	74
194	231	186
147	169	142
41	177	3
166	203	154
208	224	202
219	235	211
172	187	164
203	211	197
241	244	238
199	201	195
110	114	98
127	129	119
210	211	196

R	G	B
255	253	185
193	193	150
255	255	221
121	121	106
162	162	147
142	142	129
94	94	89
212	212	203
235	235	227
213	213	207
203	203	198
137	137	134
116	116	114
245	245	242
85	85	84
121	121	120
253	253	252
119	117	23
255	253	143
253	241	7
174	173	157
208	195	0
220	210	64
156	153	113
201	199	175
151	150	136
187	175	71
195	193	175
198	197	187

R	G	B
179	159	1
172	169	147
187	185	169
179	177	162
205	203	187
224	222	206
212	201	139
136	134	122
158	156	143
217	215	202
230	228	216
142	128	71
254	246	220
244	237	215
33	25	2
111	110	107
63	43	4
106	104	100
133	132	130
116	79	14
254	251	246
255	151	0
93	61	13
254	221	171
157	97	18
211	205	197
205	128	31
187	116	28
219	138	35

R	G	B
225	148	50
214	159	89
77	76	75
230	211	206
207	203	202
225	197	192
225	8	8
221	179	179
152	151	151
255	255	255
250	250	250
249	249	249
246	246	246
243	243	243
241	241	241
239	239	239
236	236	236
232	232	232
228	228	228
225	225	225
220	220	220
217	217	217
215	215	215
211	211	211
209	209	209
207	207	207
205	205	205
202	202	202
198	198	198

R	G	B
195	195	195
193	193	193
191	191	191
189	189	189
185	185	185
179	179	179
173	173	173
171	171	171
169	169	169
166	166	166
161	161	161
154	154	154
148	148	148
143	143	143
133	133	133
129	129	129
103	103	103
82	82	82
70	70	70
64	64	64
58	58	58
51	51	51
44	44	44
41	41	41
34	34	34
4	4	4
0	0	0
255	170	63
255	203	131

※初期の背景色は、RGB[103、103、103]を使用しています。

6-10-2. グループの表示エリアを変更する



切り取り



貼り付け



フロアレイアウト設定画面で、表示エリアの変更を行いたいグループを選択状態(オレンジ枠表示)にします。

※グループ登録され、レイアウト設定されていないグループは、フロア未登録エリアにグループ番号順に配置されます。(左上のエリアに配置されている数が最大の場合、一つ右のエリアに配置されます。)

アイコン切り取りボタンをタッチすると、選択しているグループがコピー状態(薄いオレンジ枠表示)となります。

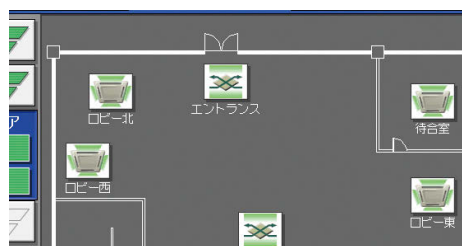
その状態で、移動させたいエリアを選択し、アイコン貼り付けボタンをタッチすると、切り取ったグループアイコンがそのエリアに表示されます。

移動を取り消したい場合は、切り取った場所と同じ場所でアイコン貼り付けボタンをタッチすることで非選択状態(オレンジ枠非表示)に戻ります。

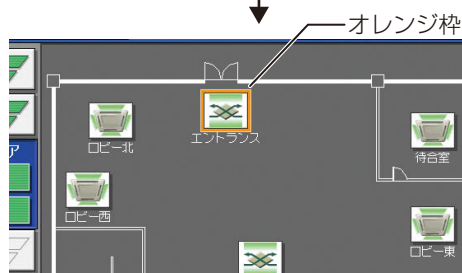
設定保存ボタンをタッチすると、変更したグループ表示位置を保存します。

※設定保存ボタンをタッチする前にメニューバーやサブメニューで移動する場合、ポップアップで注意が表示されます。設定を保存しないまま他の画面に移動した場合は、設定した内容は適用されません。

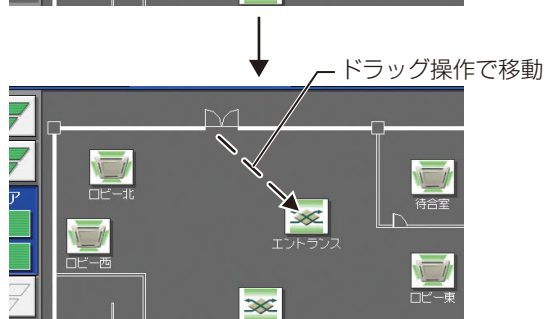
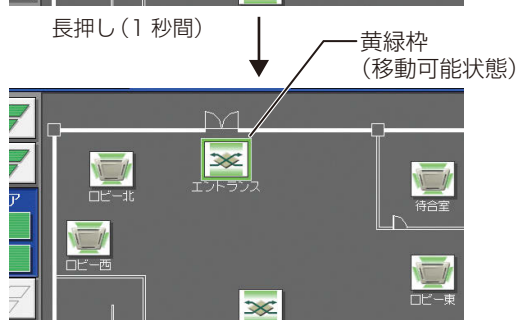
6-10-3. グループのエリア内での表示位置を変更する



フロアレイアウト設定画面で、表示位置の変更を行いたいグループを選択します。



オレンジ枠が表示された状態で 1 秒間押し続けると、アイコンの選択枠がオレンジ枠から黄緑枠に変化し、移動可能状態となります。

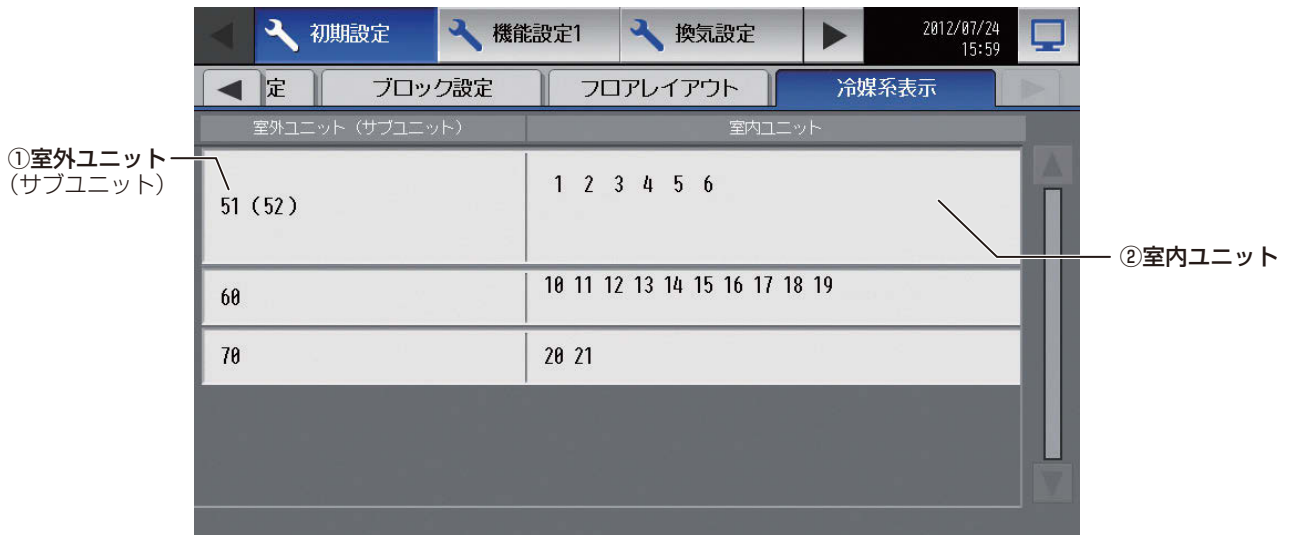


その状態で、ドラッグ操作を行うと、グループの位置をエリア内の任意の位置に移動させることができます。

6-11. 冷媒系の一覧を確認する

G-150ADに接続されている冷媒系(室外ユニットと室内ユニットの接続情報)の一覧を確認したい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]→[冷媒系表示]をタッチし、冷媒系表示画面を表示させます。

※冷媒系の一覧には、グループ設定画面でグループ登録され、立ち上げ処理が正常に終了したユニットの情報が表示されます

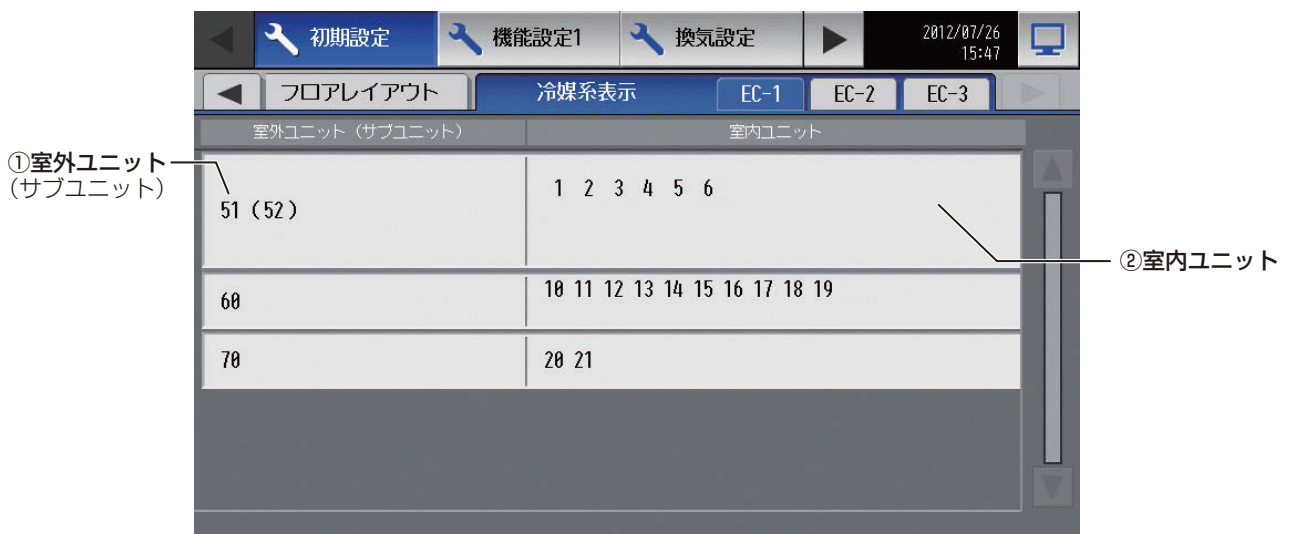


項目	内容
①室外ユニット	室外ユニットのユニット番号を表示します。 (カッコ内は、接続されているサブユニットのユニット番号)
②室内ユニット	同行に表示されている室外ユニットに接続されている室内ユニットのユニット番号を表示します。

■ 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

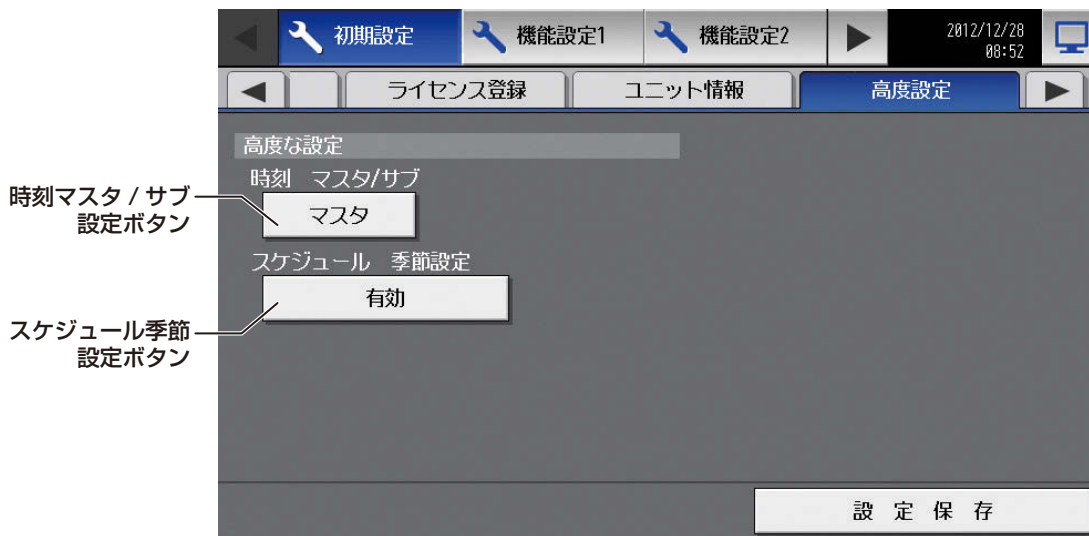
G-150ADに接続されている冷媒系(室外ユニットと室内ユニットの接続情報)の一覧を確認したい場合、設定変更画面のメニューバーの[初期設定]→[冷媒系表示]をタッチし冷媒系表示画面を表示させます。その後、ECタブより確認したいECを選択すると、冷媒系が表示されます。

※冷媒系の一覧には、グループ設定画面でグループ登録され、立ち上げ処理が正常に終了したユニットの情報が表示されます。



6-12. 高度な設定を行う

通常は本設定を行う必要はありません。



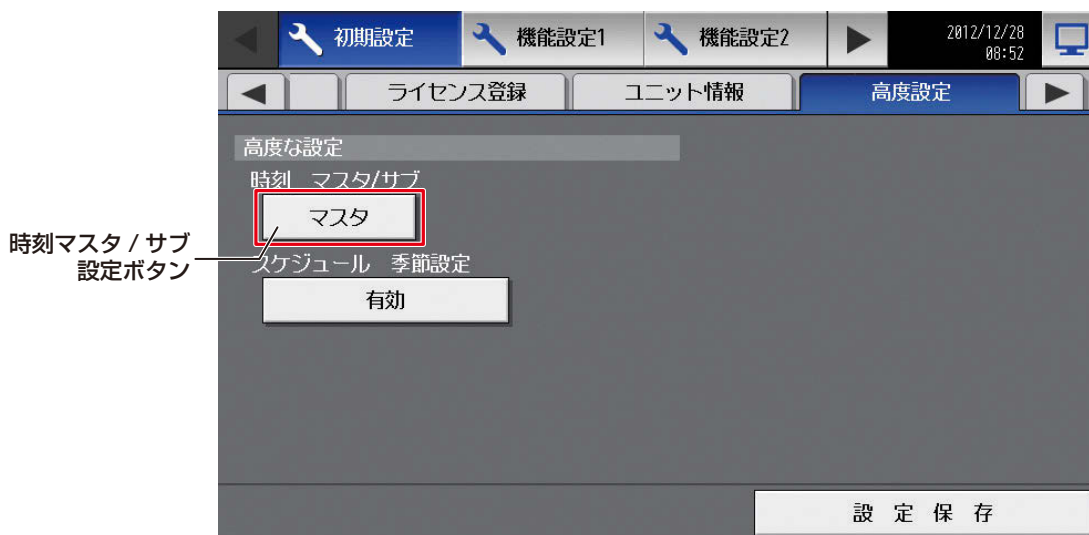
6-12-1. 時刻マスタ/サブ

工場出荷時はマスタに設定されています。

拡張コントローラーが接続されており、G-150ADの他に拡張コントローラーに上位コントローラーが接続されているシステム構成の場合（83 ページ（1）のようなシステム構成の場合）のみ設定を行います（※ 1）。設定変更画面のメニューバーの[初期設定]－[高度設定]をタッチして、高度設定画面を開き、設定します。83 ページにシステム構成ごとの設定内容を示しますのでご確認ください。

※ 1 拡張コントローラーに複数台のG-150ADを接続する場合の設定方法は、「4-3. 拡張コントローラー使用時、複数台のG-150ADを接続する場合 (P.23)」を参照してください。

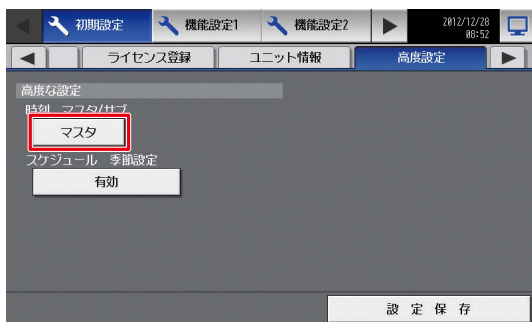
※ 2 ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。



マスタ/サブ設定による違い

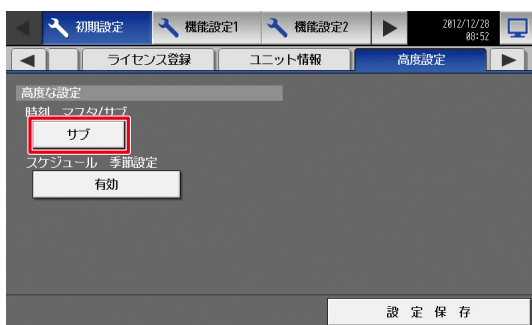
	マスタ設定	サブ設定
時刻設定	可能	不可
時刻合わせ	本コントローラで設定	他のコントローラの時刻に合わせる

(1) 時刻マスタ / サブ設定をマスタに設定する



時刻マスタ/サブ設定ボタンを押下し、[マスタ]を表示した状態で、[設定保存]ボタンを押してください。
※工場出荷時はマスタとなっております。

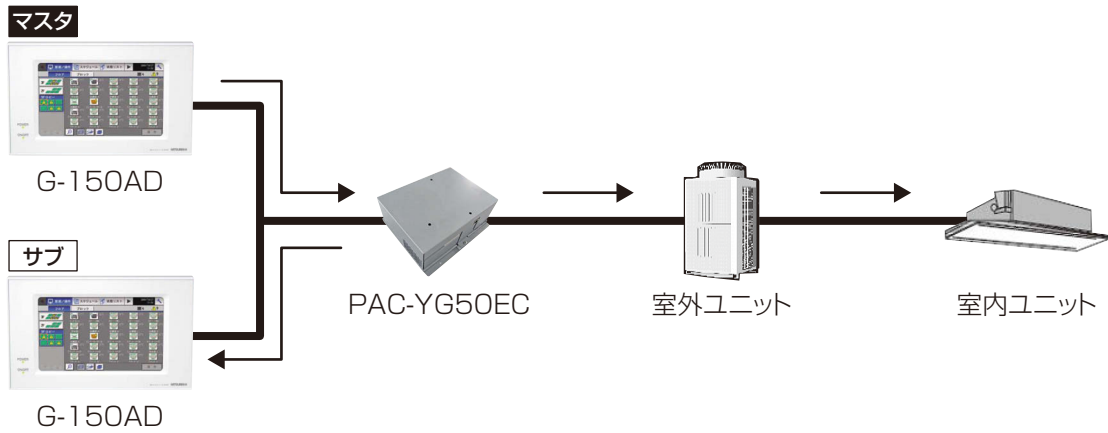
(2) 時刻マスタ / サブ設定をサブに設定する。



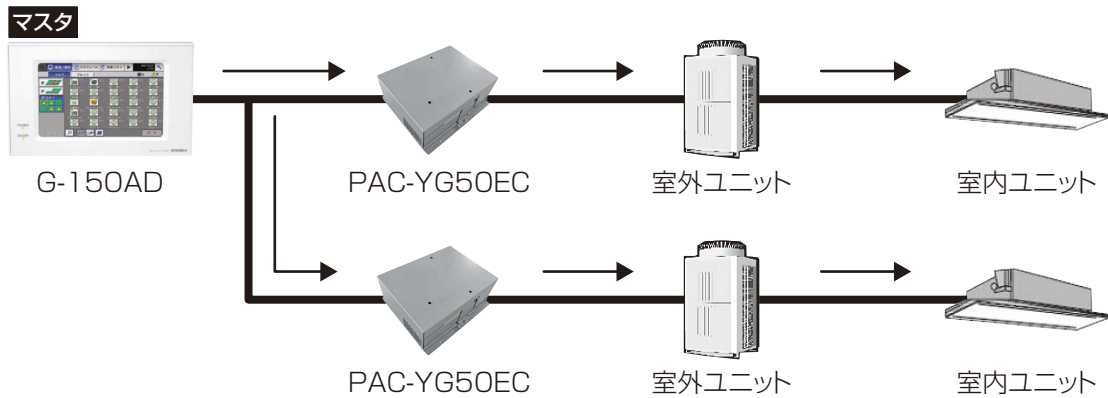
時刻マスタ/サブ設定ボタンを押下し、[サブ]を表示した状態で[設定保存]ボタンを押してください。

■システム構成と時刻マスタ/サブ設定内容

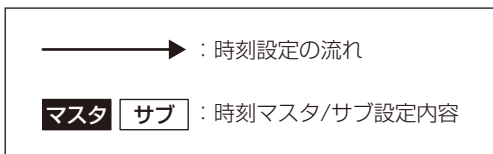
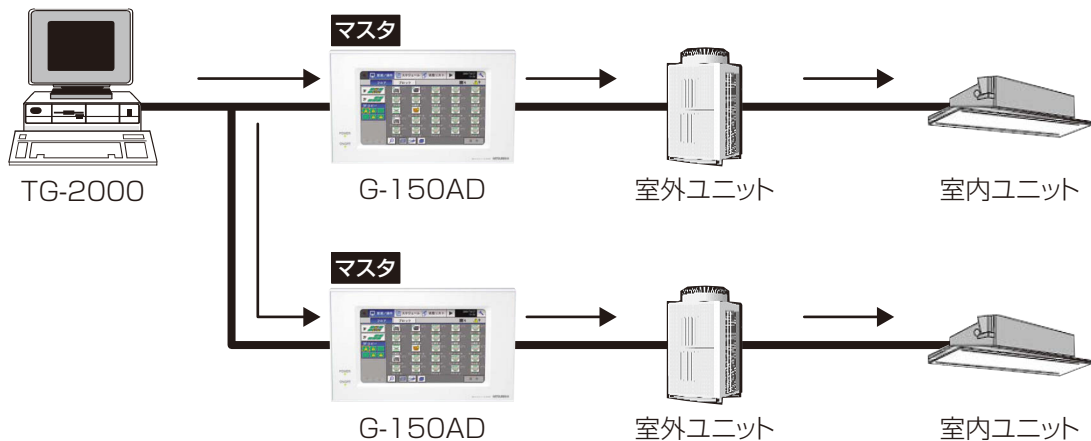
(1) 拡張コントローラに接続された上位コントローラ (G-150AD) が複数台の場合
(マスタはシステム上、1台のみ設定する)



(2) 拡張コントローラに接続された上位コントローラ (G-150AD) が1台の場合
(出荷時設定 (マスタ) のまま変更しない)



(3) G-150AD に上位システム (TG-2000 など) が接続されている場合
(出荷時設定 (マスタ) のまま変更しない)

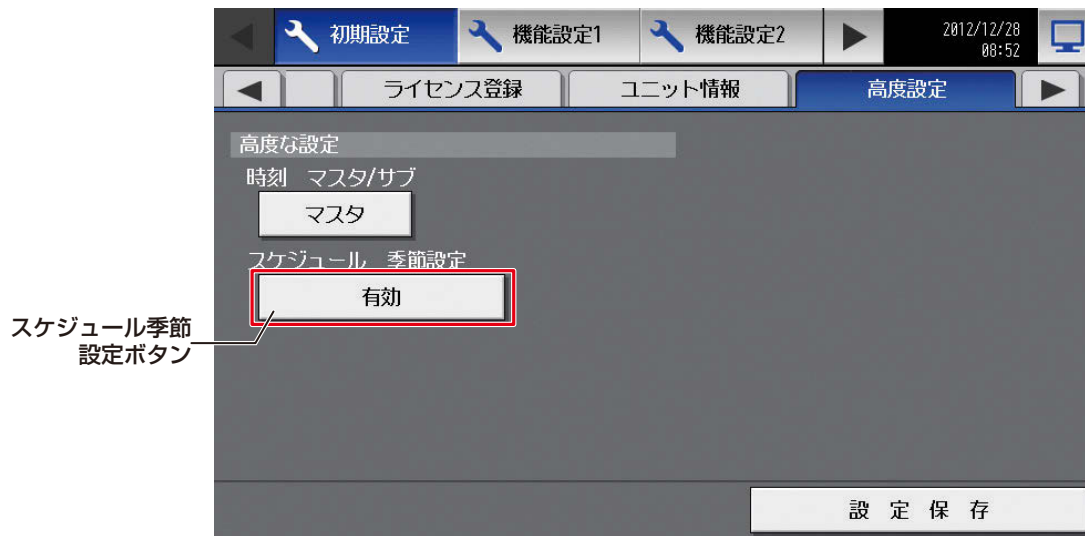


6-12-2. スケジュール季節設定

スケジュール季節設定の有効／無効を設定します。

有効の場合、週間スケジュールを使用することができます。無効の場合、週間スケジュールは動作しません。

工場出荷時は、有効に設定されていますので、本設定値のままで使用してください。



7 機能設定 1

7-1. ET制御設定

ET制御とは、冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、負荷に応じて蒸発温度（Evaporating Temperature）を上昇させ、圧縮機入力を低減することにより運転効率を向上させる室外ユニットの機能です。G-150ADより、室外ユニットのET制御機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

※本機能を利用時は、別途ライセンス登録（E制御ライセンス）が必要となります。E制御ライセンス未登録の場合でも、本機に設定を保存できます。ライセンス登録時に機能が利用可能になります。

※室外ユニットがET制御に対応している場合に利用できます。

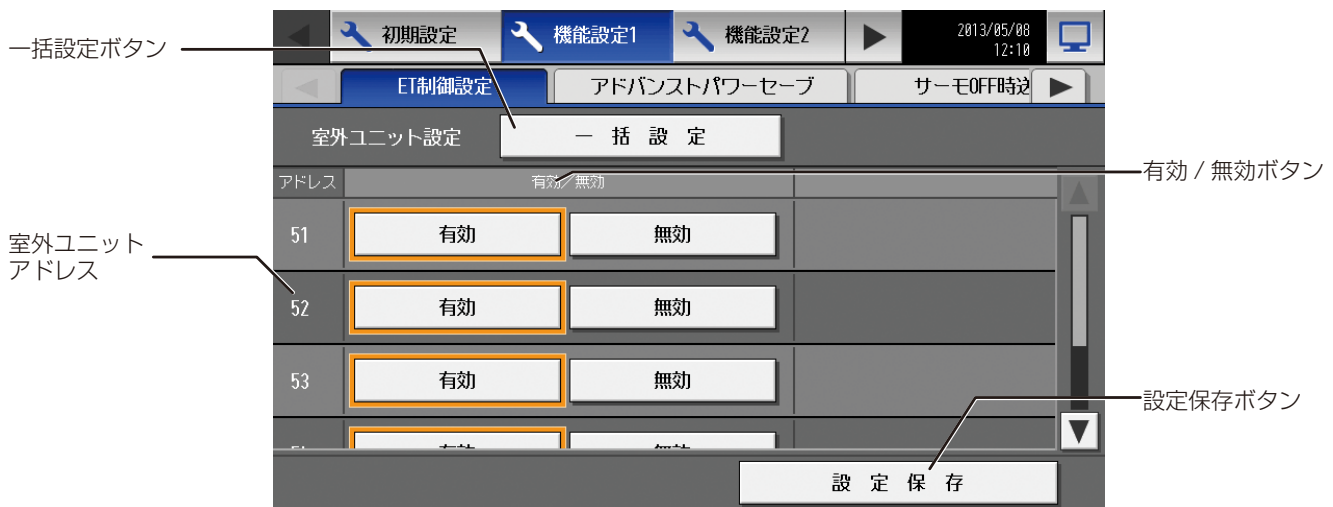
※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

7-1-1. ET制御設定を行う

ET制御を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの[機能設定 1] - [ET制御設定] をタッチすると、ET制御機能をもつ室外ユニットが一覧表示されます。本機に保存されている設定値が選択表示されます。（工場出荷時は、有効に設定されています。）

室外ユニット毎に[有効][無効]のいずれかを選択してください。（選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。）設定完了後、設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。

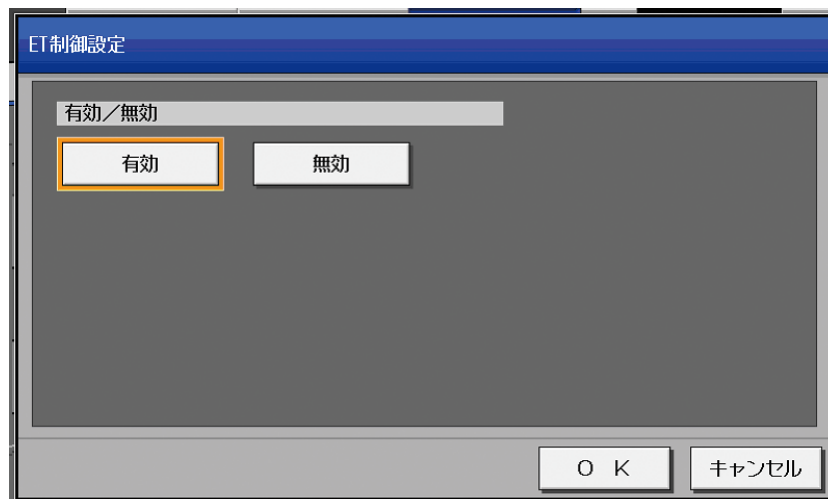
※E制御ライセンス未登録時、画面左下に「ライセンス未登録」と表示されます。



7-1-2. 一括設定を行う

ET制御設定画面にて、一括設定ボタンをタッチすると、一括設定画面が表示されます。

[有効][無効]のいずれかを選択してください。（選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。）[OK] ボタンをタッチすると、ET制御設定画面に戻り、表示されている室外ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。[キャンセル] ボタンをタッチすると変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。設定完了後、設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。



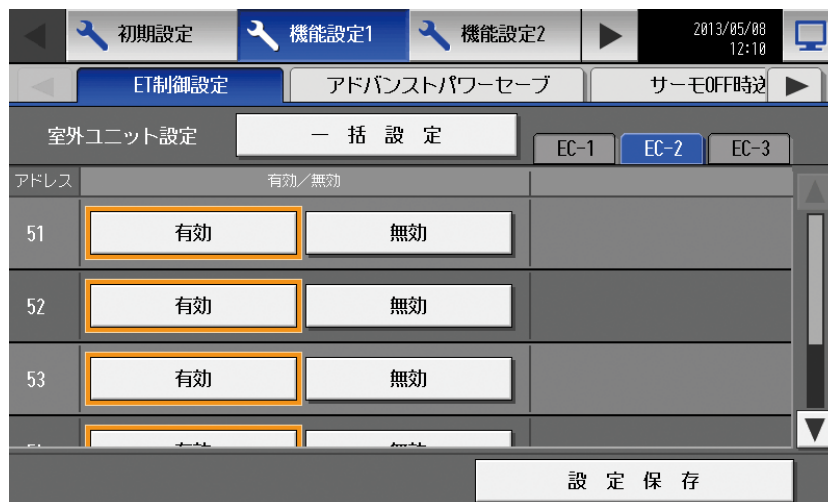
7-1-3. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

ET制御設定を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの「機能設定1」 - 「ET制御設定」をタッチすると、ET制御設定機能をもつ室外ユニットが一覧表示されます。ET制御設定画面で、設定したい室外ユニットが接続されている拡張コントローラーを、ECタブで選択し、各室外ユニット毎の設定を行います。

※拡張コントローラーを接続している場合の一括設定は、ECタブ毎(拡張コントローラー毎)の一括設定です。

※G-150ADを複数台接続して使用する場合は、いずれか1台のG-150ADに設定してください。

また、接続するG-150ADは、全てVer.3.00以降としてください。



7-2. アドバンストパワーセーブ設定

アドバンストパワーセーブ制御とは、室外ユニットの使用電力量に制限をかける室外ユニットの機能です。常時運転時の使用電力量に制限をかける事で省エネ効果が得られます。G-150AD より、室外ユニットのアドバンストパワーセーブ制御機能を有効にするか、無効にするかの設定と制御レベルを設定します。

※本機能を利用時は、別途ライセンス登録 (E 制御ライセンス) が必要となります。E 制御ライセンス未登録の場合でも、本機に設定を保存できます。ライセンス登録時に機能が利用可能になります。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

7-2-1. アドバンストパワーセーブ設定を行う

アドバンストパワーセーブ設定を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの [機能設定 1] - [アドバンストパワーセーブ] をタッチすると、アドバンストパワーセーブ設定可能な室外ユニットが一覧表示されます。各室外ユニットの設定値が選択表示されます。(工場出荷時は、有効・制御レベル：なし に設定されています。)



(1) 有効/無効を選択

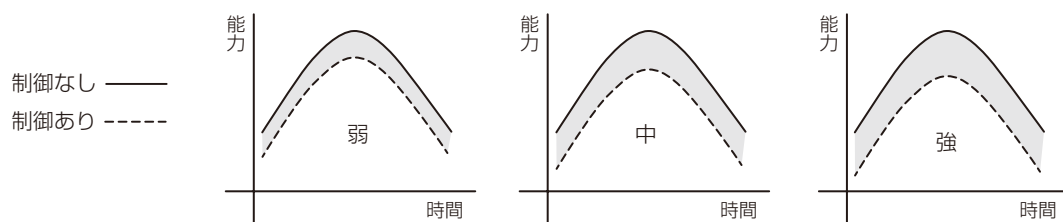
室外ユニット毎に、[有効] [無効] のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

(2) 制御レベルを選択

室外ユニット毎に、[なし] [弱] [中] [強] のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

※[なし]ではアドバンストパワーセーブ制御を行いません。

※[弱][中][強]の順に省エネ効果が増します。



(3) 設定保存

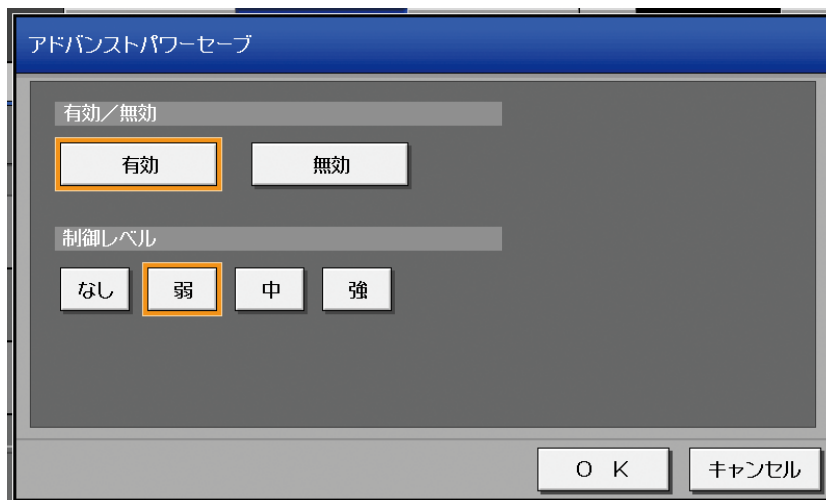
設定完了後、設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。

7-2-2. 一括設定を行う

アドバンストパワーセーブ設定画面にて、一括設定ボタンをタッチすると、一括設定画面が表示されます。

[有効] [無効] 及び [なし] [弱] [中] [強] のいずれかを選択してください。

(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。) [OK] ボタンをタッチすると、アドバンストパワーセーブ設定画面に戻り、表示されている室外ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。[キャンセル] ボタンをタッチすると変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。設定完了後、設定保存ボタンをタッチしてください。設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。



7-2-3. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

アドバンストパワーセーブ設定を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの[機能設定 1] - [アドバンストパワーセーブ] をタッチすると、アドバンストパワーセーブ機能をもつ室外ユニットが一覧表示されます。アドバンストパワーセーブ設定画面で、設定したい室外ユニットが接続されている拡張コントローラーを、ECタブで選択し、各室外ユニット毎の設定を行います。

※拡張コントローラーを接続している場合の一括設定は、ECタブ毎(拡張コントローラー毎)の一括設定です。

※ G-150AD を複数台接続して使用する場合は、いずれか 1 台の G-150AD に設定してください。

また、接続する G-150AD は、全て Ver.3.10 以降としてください。



7-3. サーモOFF時送風設定

サーモOFF時送風制御とは、空調機のサーモOFF時にファンの送風運転を制御する室内ユニットの機能です。ファンの送風運転を停止させることで消費電力を低減させ、省エネを実現します。G-150ADより、室内ユニットに対して、サーモOFF時送風制御の設定を行えます。

※本機能を利用時は、別途ライセンス登録 (E 制御ライセンス) が必要となります。E 制御ライセンス未登録の場合、設定変更できません。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

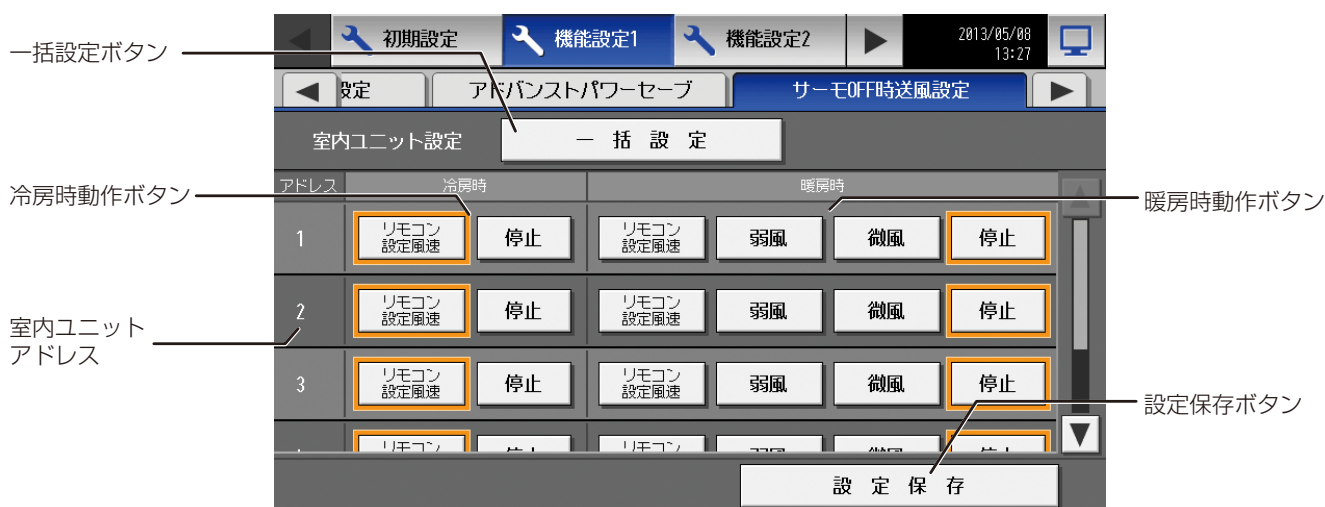
※形名の末尾がG1の室内ユニット接続時に設定可能です。

※本機能を利用時は、室温検知センサーを外付けの温度センサー (PAC-SE40TS) やリモコンセンサーに切り換える必要があります。

※サーモOFF時送風設定によって省エネ制御中のアイコンは表示されません。

7-3-1. サーモOFF時送風設定を行う

サーモOFF時送風設定を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの【機能設定 1】 - 【サーモOFF時送風設定】をタッチすると、サーモOFF時送風制御機能をもつ室内ユニットが一覧表示されます。各室内ユニットの設定値が選択表示されます。



(1) 冷房時動作を選択

室内ユニット毎に、【リモコン設定風速】【停止】のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

※【リモコン設定風速】とは、G-150AD、リモコンで設定された風速で動作する設定です。

(2) 暖房時動作を選択

室内ユニット毎に、【リモコン設定風速】【弱風】【微風】【停止】のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

※機種により、弱風・微風を設定できない場合があります。

(3) 設定保存

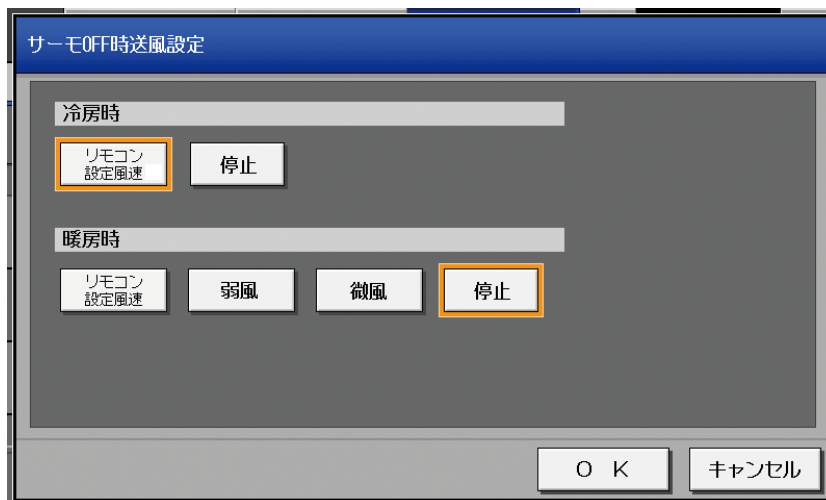
設定完了後、設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。

7-3-2. 一括設定を行う

サーモOFF時送風設定画面にて、一括設定ボタンを押すと、一括設定画面が表示されます。

冷房時の動作 [リモコン設定風速] [停止] のいずれかと、暖房時の動作 [リモコン設定風速] [弱風] [微風] [停止] のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

[OK] ボタンをタッチすると、サーモOFF時送風設定画面に戻り、表示されている室内ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。[キャンセル] ボタンをタッチすると変更した設定を破棄し、元の画面に戻ります。設定完了後、設定保存ボタンをタッチすると変更した設定が適用されます。



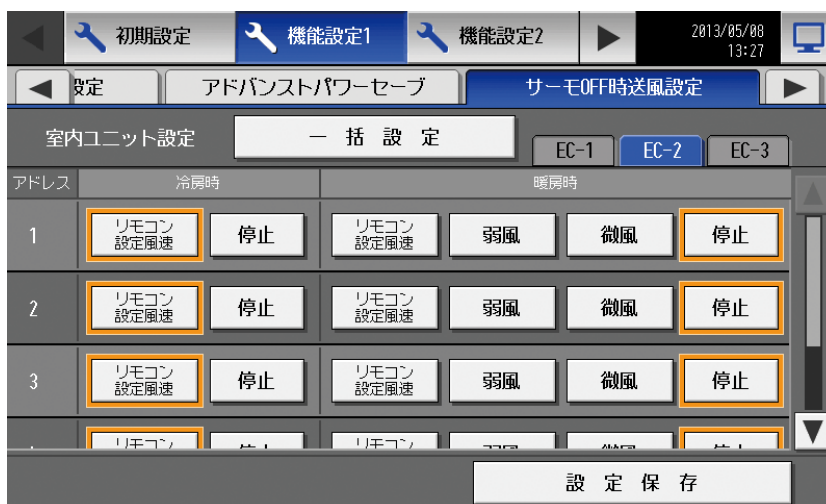
7-3-3. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

サーモOFF時送風設定を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの [機能設定 1] - [サーモOFF時送風設定] をタッチすると、サーモOFF時送風機能をもつ室内ユニットが一覧表示されます。サーモOFF時送風設定画面で、設定したい室内ユニットが接続されている拡張コントローラーを、ECタブで選択し、各室内ユニット毎の設定を行います。

※拡張コントローラーを接続している場合の一括設定は、ECタブ毎(拡張コントローラー毎)の一括設定です。

※G-150ADを複数台接続して使用する場合は、いずれか1台のG-150ADに設定してください。

また、接続するG-150ADは、全てVer.3.00以降としてください。



7-4. 計測設定

温度・湿度、電力量などを計測したい場合、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) ・計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC) を接続して、[機能設定 1] — [計測設定] をクリックして計測設定画面を開き、設定を行います。

※拡張コントローラ (PAC-YG50EC) 接続時は、[拡張コントローラシステム選択部] でシステムを選択し、各システム毎に設定を行ってください。

※計測値を電力按分課金支援機能、省エネ・ピークカット制御に利用する場合は別途電力按分課金支援、省エネ・ピークカット用のライセンス登録が必要となります。ライセンスが正常に登録されていることを、オプション機能のライセンス登録画面でご確認ください。(6-4 (P.60) 参照)
計測設定の現在表示や、上下限値警報はライセンスなしで利用できます。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※拡張コントローラを接続してG-150ADを複数接続する場合は、いずれか1台で本設定を行ってください。

お願い 拡張コントローラ (PAC-YG50EC) 接続時、設定は拡張コントローラを正常に接続している状態で行ってください。
拡張コントローラと正常に接続していない状態で設定した場合、その拡張コントローラの計測設定は設定されません。



ECを接続していない場合



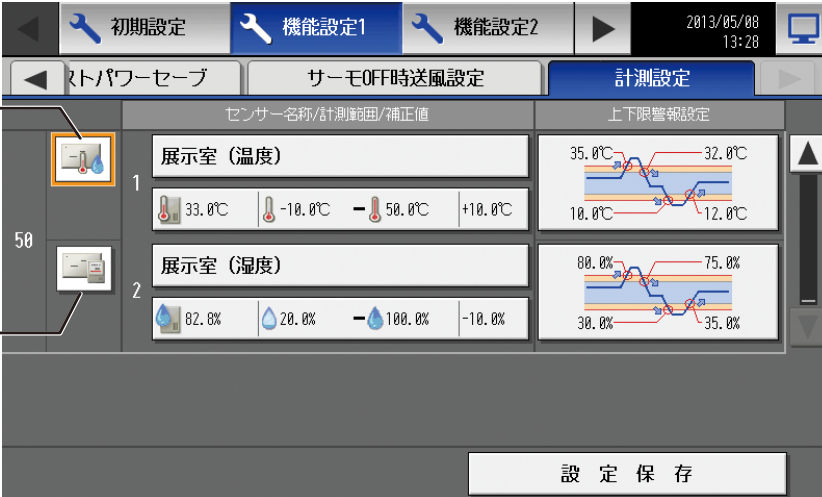
ECを接続している場合

7-4-1. 計測コントローラの種別選択

環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) か計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC) の選択を行います。
 選択したアイコンには、オレンジ枠が表示され、右側の画面は、選択されたコントローラの設定画面が表示されます。

	環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC)
	計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC)

※環境用計測コントローラの接続を解除したい場合は、選択状態となっている環境用計測コントローラのアイコンを再度クリックし、選択を解除してください。
 計量用計測コントローラの接続を解除したい場合も、同様の操作となります。



環境用計測コントローラ

計量用計測コントローラ

50

初期設定 機能設定1 機能設定2 2013/05/08 13:28

ストパワーセーブ サーモOFF時送風設定 計測設定

センサー名称/計測範囲/補正值 上下限警報設定

展示室 (温度)

33.0°C -10.0°C 50.0°C +10.0°C

展示室 (湿度)

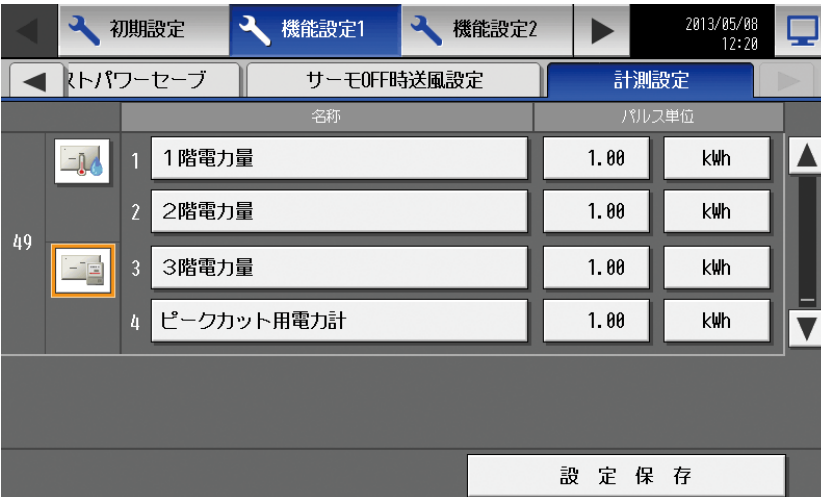
82.0% 20.0% 100.0% -10.0%

35.0°C 32.0°C 10.0°C 12.0°C

80.0% 75.0% 30.0% 35.0%

設定保存

環境用計測コントローラを選択した場合



初期設定 機能設定1 機能設定2 2013/05/08 12:20

ストパワーセーブ サーモOFF時送風設定 計測設定

名称 パルス単位

1階電力量 1.00 kWh

2階電力量 1.00 kWh

3階電力量 1.00 kWh

ピークカット用電力計 1.00 kWh

49

設定保存

計量用計測コントローラを選択した場合

7-4-2. 環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) の設定

使用する温度・湿度用センサーのシステム設定を行います。1台の環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) に対し、温度または湿度のセンサーが2個まで接続できます。

上下限警報値設定部

(1) センサー名称ボタン

(2) センサー種別選択ボタン

ユニットアドレス 50

計測種別

現在のセンサー値

計測範囲

展示室 (温度)

33.0°C | -10.0°C | 50.0°C | +10.0°C

展示室 (湿度)

82.0% | 20.0% | 100.0% | -10.0%

35.0°C | 32.0°C | 18.0°C | 12.0°C

80.0% | 75.0% | 30.0% | 35.0%

補正值

設定保存ボタン

設定保存

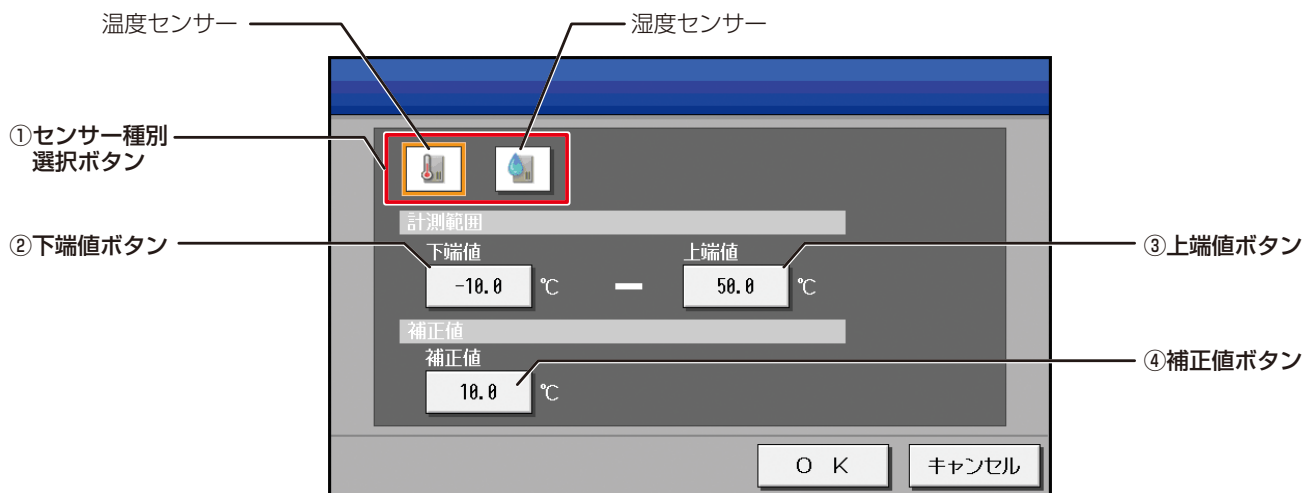
(1) センサー名称の入力

[センサー名称] ボタンを押下し、キーボード入力画面を表示させます。センサー名称の名前は、20文字以下となります。(半角、全角によらず)

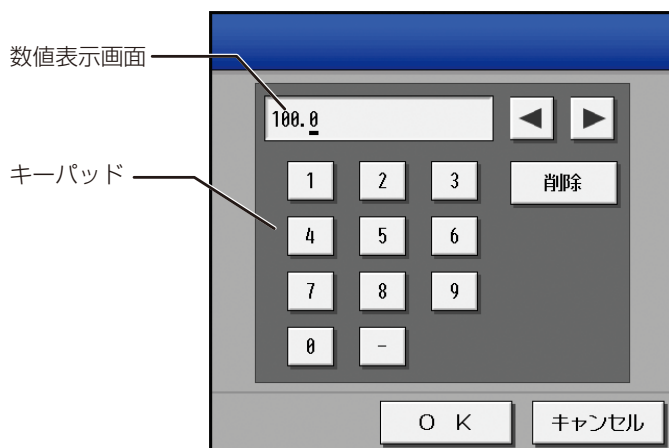
※センサー名称に、<, >, &, ' の文字は使用できません。

(2) センサー種別設定

[センサー種別選択] ボタンを押すと、下に示す画面が表示されます。



機能	内容				
①センサー種別選択ボタン	<p>接続したセンサーに合わせ、[温度センサー] または [湿度センサー] を選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>温度センサー。 選択した場合、表示が°Cに切り替わります。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>湿度センサー。 選択した場合、表示が%に切り替わります。</td> </tr> </table>		温度センサー。 選択した場合、表示が°Cに切り替わります。		湿度センサー。 選択した場合、表示が%に切り替わります。
	温度センサー。 選択した場合、表示が°Cに切り替わります。				
	湿度センサー。 選択した場合、表示が%に切り替わります。				
②下端値ボタン	<p>接続したセンサーの温度範囲または湿度範囲を入力します。 下端値ボタンを押すと、キーボード入力ボタンが表示されます。 下端値を入力し、[OK] ボタンを押すと下端値が設定されます。 温度センサーの設定可能範囲は、 - 100.0°C (- 148.0°F) (下端値) ~ +100.0°C (212.0°F) (上端値) です。 湿度センサーの設定可能範囲は、0.0% (下端値) ~ 100.0% (上端値) です。 ※ Pt100 センサーを接続した場合は、- 30°C ~ + 60°C で設定してください。その他のセンサーの場合は各センサーの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。</p>				
③上端値ボタン	上端値を設定します。				
④補正值ボタン	<p>補正值を設定します。 計測値が、センサーが読み取った値と、実際の値に差異があり修正する必要がある場合に、補正值を入力します。 設定可能範囲は、- 10°C ~ +10°C (- 18°F ~ +18°F) です。</p>				



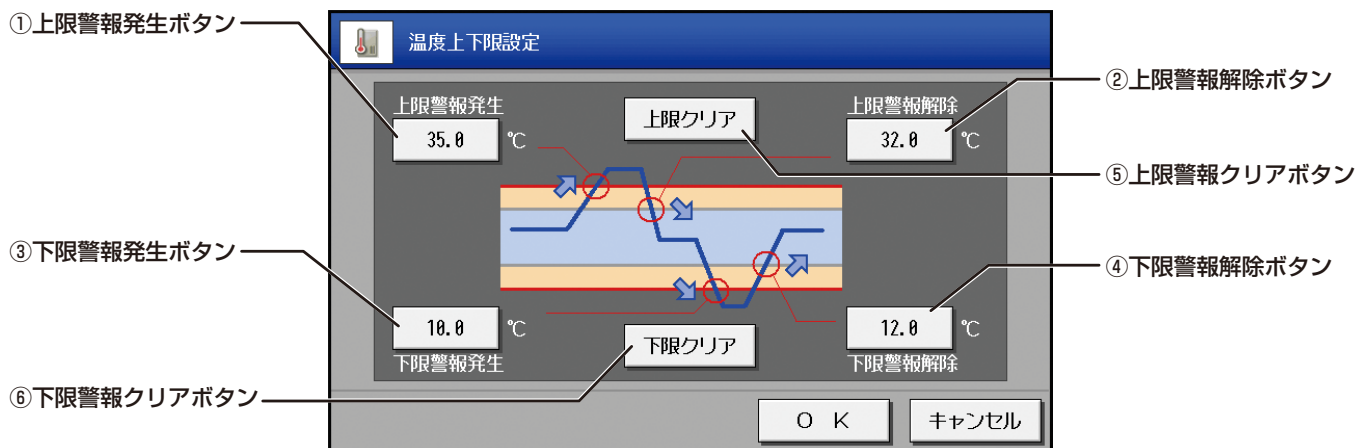
数値キーボード

(3) 上下限警報設定部の設定

上下限度警報値は、温度や湿度が設定した範囲を外れた場合に警報を発生させる設定ができます。

対象のセンサーの上下限警報設定ボタンを押すと、上下限警報設定画面が表示されます。

※検知・解除を過度に検出しないよう、検知値と解除値の間は1℃程度離すことを推奨いたします。



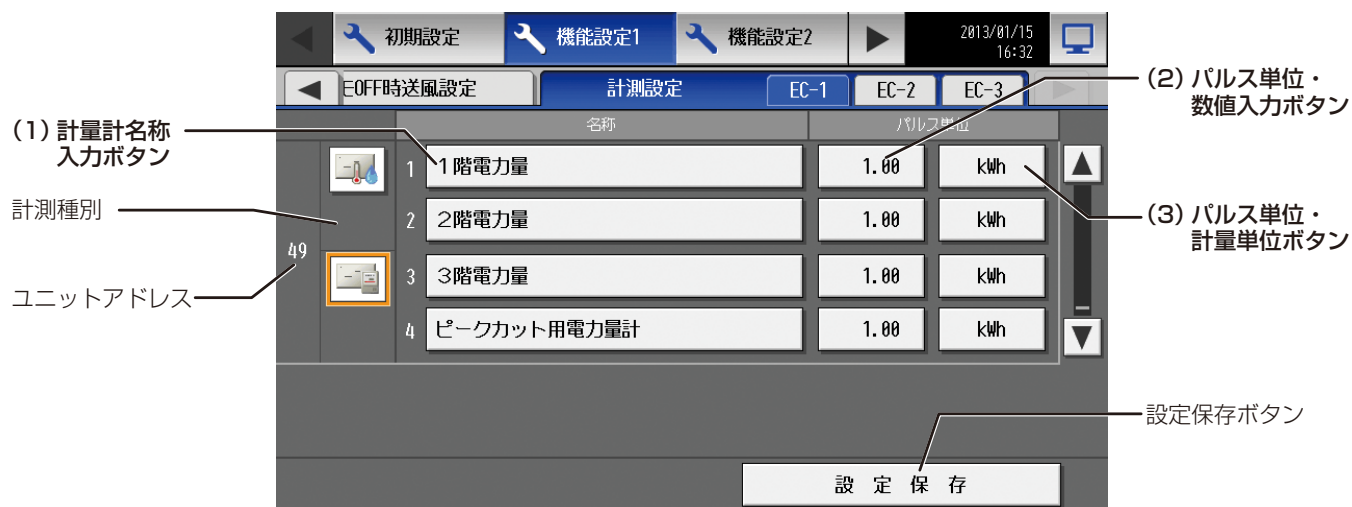
機能	内容
①上限警報発生ボタン	数値キーボード (P.94 参照) が表示されます。設定したい値を入力してください。 温度センサーの設定可能範囲は、- 100℃ (- 148°F) ~ +100℃ (+212°F)、または、空白 (設定なし) です。 湿度センサーの設定可能範囲は、0.0% ~ +100.0%、または、空白 (設定なし) です。初期値は空白です。 [OK] ボタンを押すと設定が保存され、計測器設定画面に戻ります。
②上限警報解除ボタン	上限警報解除値を入力します。
③下限警報発生ボタン	下限警報発生値を入力します。
④下限警報解除ボタン	下限警報解除値を入力します。
⑤上限クリアボタン	上限警報発生値と上限警報解除値を消します。
⑥下限クリアボタン	下限警報発生値と下限警報解除値を消します。

(4) 設定保存

〔設定保存〕 ボタンを押すと、変更した設定が保存されます。

7-4-3. 計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC) の設定

電力量計、水道量計などの計量計を接続する場合のシステム設定を行います。1 台の計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC) に対し、計量計が 4 個まで接続できます。



(1) 計量計の名称を入力

[計量計名称入力] ボタンを押下し、キーボード入力画面を表示させます。計量計の名前は、20 文字以下となります。(半角、全角によらず)

※計量計名称に、<,>,&,"の文字は使用できません。

(2) パルス単位の設定

[パルス単位・数値入力] ボタンを押すと、数値キーパッドが表示されます (P.94 参照)。キーパッド上で数値を入力します。設定可能範囲は、0.01 ~ 100.0、または、空白 (使用しない) があります。初期値は空白です。

※パルス単位・数値を入力しないと、パルス単位・数値、パルス単位・計量単位が保存されません。

(3) 計量単位の設定

[パルス単位・計量単位] ボタンを押す度に、[kWh] → [m³] → [MJ] → [--] → [kWh] と切り替わります。計測に合う単位を選択してください。初期値は、空白です。使用しない計量計は、計量単位を空白のままとしてください。

(4) 設定保存

[設定保存] ボタンを押すと、変更した設定が保存されます。

お願い

パルス単位は使用する計量計に合わせて設定してください。

また、正常に設定されたことを確認するため、実際の計量計のメーター値と計量用計測コントローラがカウントした計量値を確認した後、一定時間経過後に両方とも同じ値だけ増加していることを必ずご確認ください。

(計量用計測コントローラがカウントした計量値は、計測一覧画面、または、管理者用Webブラウザで確認できます。)

8 機能設定2

8-1. 外気温連動制御機能

外気温連動制御とは、冷房期間中に外気温と建物内(入口)の温度差が小さくなるように制御して、外部から建物内に入ったときのヒートショック(急激な温度差による身体への負担)を防止するための機能です。本機能をご使用する場合は、「機能設定1」の「計測設定」で環境用計測コントローラの設定を行ってください。

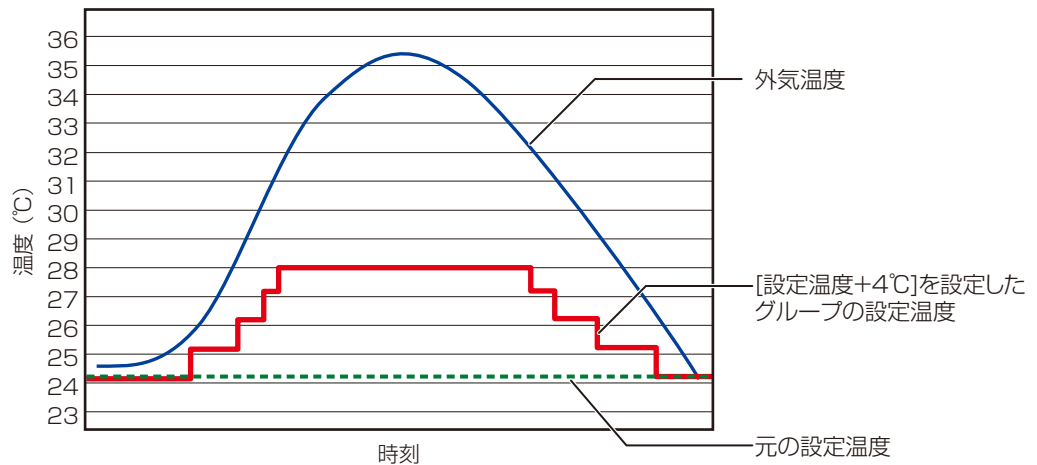
※外気温は当社製環境用計測コントローラ(PAC-YG63MC)を接続し、計測してください。

※本機能は運転モードが[冷房][ドライ]の場合に動作を行います。

※空調機グループのみ制御対象で、ロスナイ・加熱加湿付ロスナイ(SW3-1 OFF)・汎用機器の制御は出来ません。

- (1) 各空調グループに外気温に連動して最大何度まで設定温度を変化させるかを設定します。例えば[+4℃]を選択した場合、元の設定温度が26℃のときは、外気温の上昇に合わせて最大30℃まで設定温度が変化します。[+2℃]を選択した場合は最大28℃まで設定温度が変化します。
- (2) 設定内容入力後、設定保存ボタンをクリックしてG-150ADに設定内容を送信します。
外気温連動制御を設定した空調グループは、下図のように外気温の上昇に伴って空調機の設定温度が徐々に上昇し、外気温が下がってくると徐々に元の設定温度に戻ります。

外気温	連動制御後の設定温度
[設定温度+1.4℃]以下	設定温度
[設定温度+1.5℃]～[設定温度+4.4℃]	設定温度+1℃
[設定温度+4.5℃]～[設定温度+6.4℃]	設定温度+2℃
[設定温度+6.5℃]～[設定温度+7.4℃]	設定温度+3℃
[設定温度+7.5℃]以上	設定温度+4℃



8-1-1. 外気温連動制御設定を行う

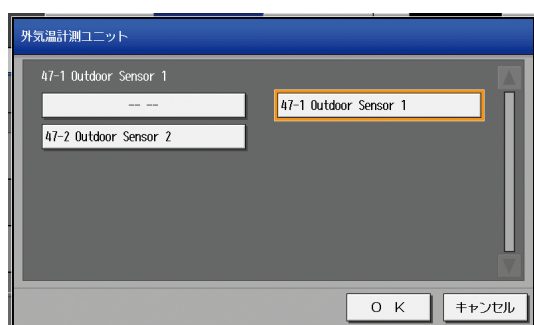
外気温連動制御機能を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの[機能設定 2] - [外気温連動制御]をタッチすると外気温連動制御設定画面が表示されます。外気温連動制御設定画面で、外気温計測ユニットの選択、各グループごとの制御レベルの設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。



8-1-2. 外気温計測ユニットを選択する

外気温連動制御機能を使うために、まず外気温計測ユニットを選択します。外気温連動制御設定画面の外気温計測ユニット選択ボタンを押すと、以下のような外気温計測ユニット選択画面が表示されます。



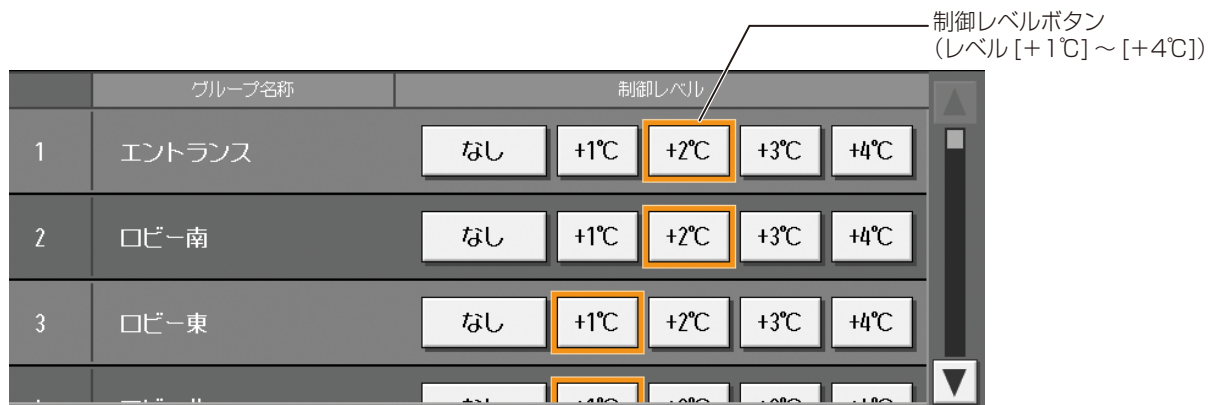
表示されているボタンの中から、外気温連動制御に使用する外気温計測ユニットのボタンを選択し、OKボタンをタッチします。

(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

選択された外気温計測ユニットは、外気温連動制御設定画面の外気温計測ユニット選択ボタン上に表示されます。一度選択したものを解除したい場合は、[---]を選択して、OKボタンをタッチしてください。

8-1-3. 制御レベルを設定する

外気温計測ユニットを選択後、外気温連動制御設定画面で各グループごとに制御レベルを設定します。



外気温連動制御を行うグループは、制御レベルに応じて、[+1°C][+2°C][+3°C][+4°C]のいずれかを選択、行わないグループは[なし]をタッチし選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

設定完了後、設定保存ボタンをタッチしてください。設定保存ボタンをタッチした時点で、変更した設定が適用されます。

8-1-4. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

外気温連動制御機能を利用したい場合、設定変更画面のメニューバーの[機能設定 2] - [外気温連動制御]をタッチすると外気温連動制御設定画面が表示されます。外気温連動制御設定画面で、外気温計測ユニットの選択を行い、ECタブより設定したいグループが接続されているECを選択し、各グループごとの制御レベルの設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※拡張コントローラーを接続し、G-150ADを複数台接続して使用する場合は、いずれか1台のG-150ADに設定してください。

外気温計測ユニット
選択ボタン

外気温計測ユニット 3-49-1

EC-1 EC-2 EC-3

	グループ名称	制御レベル				
1	エントランス	なし	+1°C	+2°C	+3°C	+4°C
2	ロビー南	なし	+1°C	+2°C	+3°C	+4°C
3	ロビー東	なし	+1°C	+2°C	+3°C	+4°C

制御レベルボタン
(レベル1~4)

制御レベルボタン
(制御なし)

設定保存ボタン

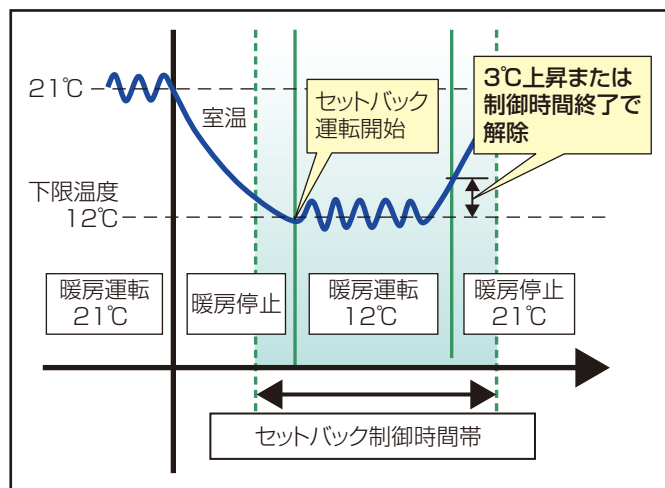
8-2. セットバック機能

セットバック機能とは、設定した時間内に一定の温度範囲内から室温が外れたときに自動的に暖房または冷房運転を行い、室内の露付きや過度の温度上昇を防止する機能です。

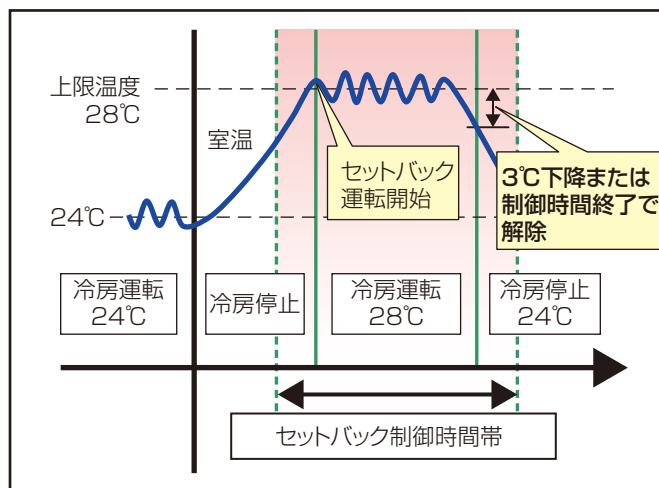
※本制御では、セットバック対象空調グループが[停止]かつ[指定温度を超過]した場合に暖房運転または冷房運転を開始します。

※室温を空調機の吸込み温度センサーで計測している場合、空調機が停止していると空気がこもり、正しい室温が計測できない場合があります。実際の室温が正常に取得できていない場合は、室温検知センサーを外付けの温度センサー（PAC-SE40TS）やリモコンセンサーに切り換えてご利用ください。

※セットバック制御を設定した場合、空調グループは以下のような動きとなります。



下限温度超過時(暖房制御)



上限温度超過時(冷房制御)

8-2-1. セットバック設定を行う

セットバック機能を利用したい場合、初期設定画面のメニューバーの[機能設定2]－[セットバック]をタッチするとセットバック設定画面が表示されます。セットバック設定画面で、セットバック制御時間帯の設定を行い、各グループごとの上限温度、下限温度の設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

グループ名称	下限温度	上限温度
1 エントランス	17°C	--
2 ロビー南	15°C	29°C
3 ロビー東	--	21°C

8-2-2. セットバック制御時間帯を設定する

セットバック機能を利用するために、まずセットバック制御を行う時間帯を設定します。セットバック制御時間帯設定ボタンをタッチすると、次のような時間帯設定画面が表示されます。



時間帯設定画面で、セットバックの使用可否、制御開始時刻と終了時刻を設定します。

まず、セットバック設定ボタンで、セットバック機能を使用するかしないかを設定します。

次に時刻を設定します。時刻は、▲▼ボタンをタッチすることで、変更することが出来ます。設定終了後、OKボタンをタッチすると、変更した設定を適用し、セットバック設定画面へ戻ります。設定をやめる場合は、キャンセルボタンをタッチして、セットバック設定画面へ戻ります。

※ [00:00 ~ 00:00] を設定した場合、常時 (24 時間) セットバック制御が有効となります。

8-2-3. 下限・上限温度を設定する

時間帯設定後、グループごとに下限温度・上限温度を設定します。

	グループ名称	下限温度 - 上限温度
1	エントランス	13°C - --
2	ロビー南	15°C - 29°C
3	ロビー東	-- - 21°C

下限・上限温度設定ボタン

下限・上限温度設定ボタンをタッチして、温度設定画面を表示します。



▲▼ボタンで、下限温度・上限温度を設定します。設定を[--]とした場合、制御は行われません。設定完了後、OKボタンをタッチすると、変更した設定を適用しセットバック設定画面へ戻ります。変更しない場合は、キャンセルボタンをタッチします。

※設定は、下限温度<上限温度となります。

※機種により、設定できる温度は変わります。



セットバック設定画面

セットバック設定画面へ戻った後、変更した設定がボタンに表示されていることを確認して、[設定保存ボタン]をタッチしてください。[設定保存ボタン]をタッチした時点で、設定が保存されます。

8-2-4. 拡張コントローラー (PAC-YG50EC) を接続している場合

セットバック機能を利用したい場合、初期設定画面のメニューバーの[機能設定 2] - [セットバック]をタッチするとセットバック設定画面が表示されます。セットバック設定画面で、セットバック制御時間帯の設定を行い、ECタブより設定したいグループが接続されているECを選択し、各グループごとの上限温度、下限温度の設定を行います。

※ビル管理者でログインした場合、操作が禁止されている場合があります。

※必ず拡張コントローラーを接続した状態で設定してください。

※拡張コントローラーを接続し、G-150ADを複数台接続して使用する場合は、いずれか1台のG-150ADに設定してください。

初期設定 機能設定1 機能設定2 2013/01/12 14:09

外気温連動制御 セットバック

制御時間帯 22:00 - 06:00 EC-1 EC-2 EC-3

	グループ名称	下限温度	上限温度
1	エントランス	--	26°C
2	ロビー南	14°C	20°C
3	ロビー東	13°C	24°C

設定保存

セットバック 制御時間帯 設定ボタン

下限・上限温度 設定ボタン

設定保存ボタン

9 換気設定

9-1. 24 時間換気

ロスナイを 24 時間動作させるものです。

換気設定画面のメニューバーの[換気設定]-[24 時間換気]をタッチすると 24 時間換気に対応しているロスナイグループのみが表示されます。24 時間換気を設定するには、設定する対象を選択し、24 時間換気の内容を設定します。

※外部入力によるレベル運転中(13-1.外部入力機能(P.119)参照)は、24 時間換気運転しません。

(1) 設定対象を選択する

(1-1) グループ単位での選択



設定対象選択画面

特定のグループを設定したい場合は、24 時間換気の設定対象選択画面から、設定したいグループのアイコンをタッチし、選択します。複数グループの選択が可能で、選択したグループは、アイコンにオレンジの枠が表示されます。一度選択したグループの選択を取り消したい場合は、選択状態になっているアイコンをもう一度タッチすることで特定のグループの選択を取り消すことができます。また、全選択解除ボタンをタッチすると全ての選択を取り消すことができます。設定対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると、24 時間換気内容設定画面が表示されます。

※ 1 グループは、1 つのアイコンとグループ名称で表示されています。

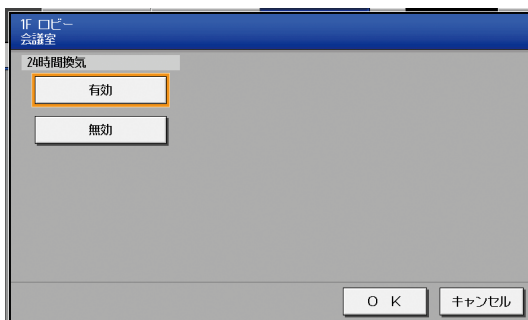
(1-2) 全て選択

全てのグループを設定したい場合は、24 時間換気の設定対象選択画面から、全ユニット選択ボタンをタッチします。全てのグループアイコンにオレンジの枠が表示されます。

設定対象を選択後、画面右下の[設定]ボタンをタッチすると 24 時間換気設定画面が表示されます。

※ 24 時間換気に対応しているロスナイグループのみが対象です。

(2) 24 時間換気の有効 / 無効を選択する



24 時間換気設定画面

24 時間換気の有効 / 無効を選択します。

選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。

OK ボタンを押すと、設定を確定し、24 時間換気設定画面に移行する前の画面に戻ります。

有効を設定した場合、24 時間換気操作が可能になり、操作画面で 24 時間換気ボタンが表示されます。

※ 24 時間換気を有効から無効にする場合は、24 時間換気のスケジュールを削除してから設定を変更してください。

※ 手元リモコンから設定変更された場合、本機の設定も変更されます。

お知らせ ・ 24 時間換気中に無効に設定した場合、ロスナイは停止します。

9-2. ナイトパーズ

ナイトパーズとは、外気温度の低い夜間に、外気を取り入れ、室内の空気を排出することで翌日の冷房の立ち上がり時の冷房負荷を軽減しようとするものです。

換気設定画面のメニューバーの[換気設定]-[ナイトパーズ]をタッチするとナイトパーズに対応しているロスナイグループのみが表示されます。

※ナイトパーズ運転中は、普通換気で運転します。

※外部入力によるレベル運転中(13-1.外部入力機能(P.119)参照)は、ナイトパーズ運転しません。

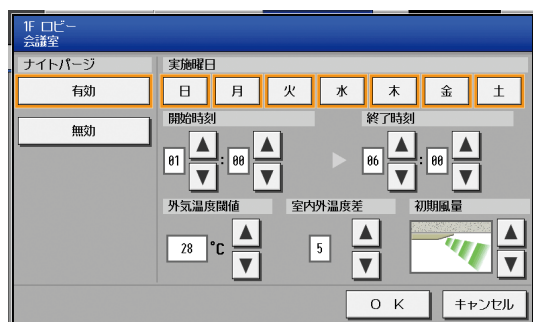
※ナイトパーズ時間帯にスケジュールが設定されている場合、スケジュールが優先されます。

(1) 設定対象を選択する

24時間換気設定と同様に設定対象を選択します。(9-1.(1)参照)

※ナイトパーズに対応しているロスナイグループのみが対象です。

(2) ナイトパーズを設定する



ナイトパーズ内容設定画面

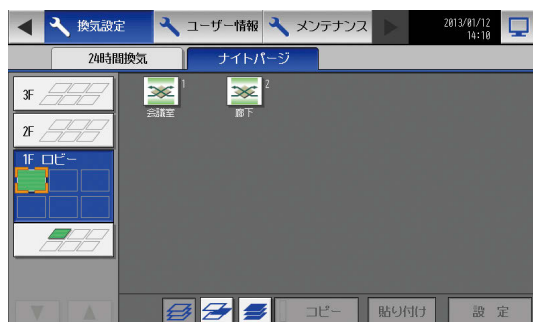
ナイトパーズ内容設定画面で、ナイトパーズ(有効/無効)、実施曜日、開始時刻、終了時刻、外気温度閾値、室内外温度差、初期風量を設定し、[OK]ボタンをタッチしてナイトパーズ設定を保存します。無効を設定した場合、ロスナイはナイトパーズ運転を行いません。

前回保存時から設定内容を変更した場合、[キャンセル]ボタンをタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

※無効の場合は、実施曜日、開始時刻、終了時刻、外気温度閾値、室内外温度差、初期風量の設定はできません。

※手元リモコンから設定変更された場合、本機の設定も変更されます。

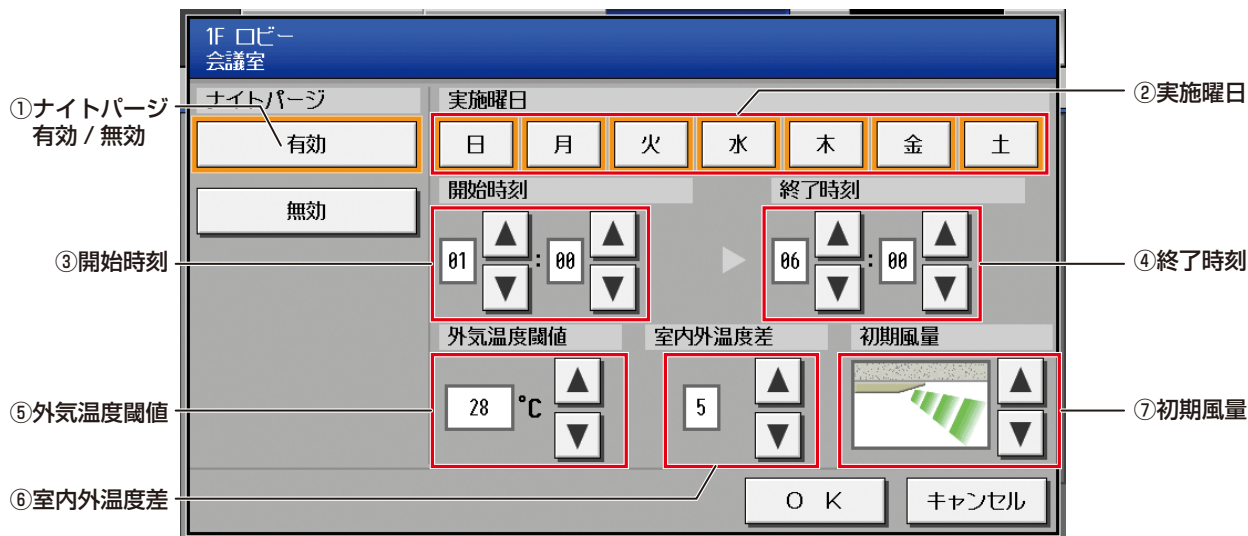
(3) 設定を他のグループへコピーする



グループ間でナイトパーズ設定の内容をコピーする場合は、ナイトパーズ設定画面からグループを選択して[コピー]をタッチし選択状態とし、他のグループを選択してから[貼り付け]をタッチします。

お知らせ ・無効を設定した場合、ロスナイはナイトパーズ運転を終了します。

・ナイトページ内容設定画面



	機能	操作方法	表示内容
①	ナイトページ有効/無効	ナイトページの有効、無効を設定します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。
②	実施曜日	ナイトページ運転する曜日を選択します。	選択した曜日ボタンにオレンジの枠が表示されます。 開始時刻の曜日を実施曜日としてください。 例えば、開始時刻を23:00、終了時刻を6:00とした場合、実施曜日を「月」とすると、月曜日の23:00に開始し、火曜日の6:00に終了します。 曜日の複数選択は可能です。 複数グループ選択して、開いた場合は、全ての曜日を選択した状態となります。
③	開始時刻	▲▼ボタンにより、ナイトページ運転を開始する時刻を設定します。	▲ボタンをタッチすると、数字が一つ増加し、▼ボタンをタッチすると数字が一つ減少します。(1分単位で設定可能です)
④	終了時刻	▲▼ボタンにより、ナイトページ運転を終了する時刻を設定します。	▲ボタンをタッチすると、数字が一つ増加し、▼ボタンをタッチすると数字が一つ減少します。(1分単位で設定可能です)
⑤	外気温度閾値	右の上下ボタンで外気温度閾値を設定します。	上ボタンを押下することで、1度上昇し、下ボタンを押下することで、1度下降します。 ※設定温度範囲は、「15℃～30℃」です。
⑥	室内外温度差	右の上下ボタンで室内温度、外気温度の温度差を設定します。	上ボタンを押下することで、1度上昇し、下ボタンを押下することで、1度下降します。 ※設定温度範囲は、「0℃～7℃」です。
⑦	初期風量	右の上下ボタンでナイトページ運転中の風量(初期値)を設定します。	3段階種(微弱あり) (微弱) → (弱) → (強) 風量は、2段階(微弱なし)、3段階(微弱あり)、風量切り替え無しがあります。 ※自動あり機種でも自動は表示されません。 ※風量1段階機種の場合、風量は表示されません。

※外気温度閾値と室内外温度差は、ナイトページが動作する条件の外気温度並びに室内と室外の温度差を設定します。

上記画面例では、現在時刻が開始時刻AM1:00から終了時刻AM6:00までの間にあり、“過去”24時間以内にロスナイが外気温度閾値28℃(設定値)以上を検知した場合、かつ、現在の室内温度が22℃より高い場合、(室内温度-室外温度)が室内外温度差5℃(設定値)より大きい場合、ナイトページ運転を行います。(室内温度、室外温度は、ロスナイが検知した値です)

例. 室内温度27℃、室外温度21℃の場合、ナイトページ運転
室内温度25℃、室外温度21℃の場合、ナイトページ停止

10 ユーザー設定

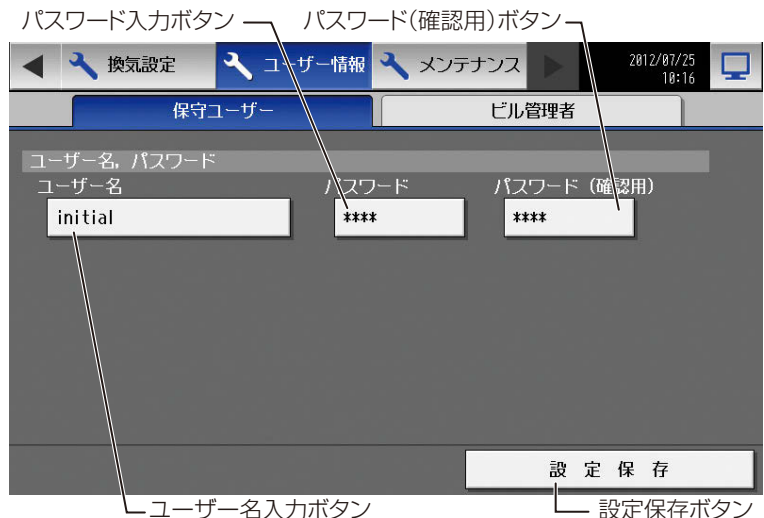
設定変更画面のメニューバーより[ユーザー情報]をタッチすると、ユーザー設定画面へ移行します。
ユーザー設定は保守ユーザーとビル管理者の2種類あります。

保守ユーザー	すべての設定・変更が可能です。
ビル管理者	保守ユーザーから許可された項目のみ設定・変更可能です。

10-1. 保守ユーザーの設定を行う

保守ユーザーのユーザー名、パスワードの変更を行いたい場合、設定変更画面の[ユーザー情報]-[保守ユーザー]をタッチし、保守ユーザー設定画面を表示します。
※保守ユーザーでログインしている場合以外は表示できません。

お願い 変更したログイン・パスワードは忘れないようお気をつけください。
忘れた場合は、ログインすることが出来ません。
万が一忘れた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



(1) 保守ユーザー名の変更

保守ユーザー名の変更を行う場合、ユーザー名入力ボタンをタッチし、キーボード画面を表示し、最大 20 文字でユーザー名の入力を行います。

(2) パスワードの変更

保守ユーザーのパスワードの変更を行う場合、パスワード入力ボタンをタッチし、キーボード画面を表示し 3 文字～ 10 文字でパスワードの入力し、パスワード(確認用)ボタンを押し、再度同じパスワードを入力します。

※画面の表示は、入力文字数分[*]が表示されます。

※大小英文字、数字が使用可能です。

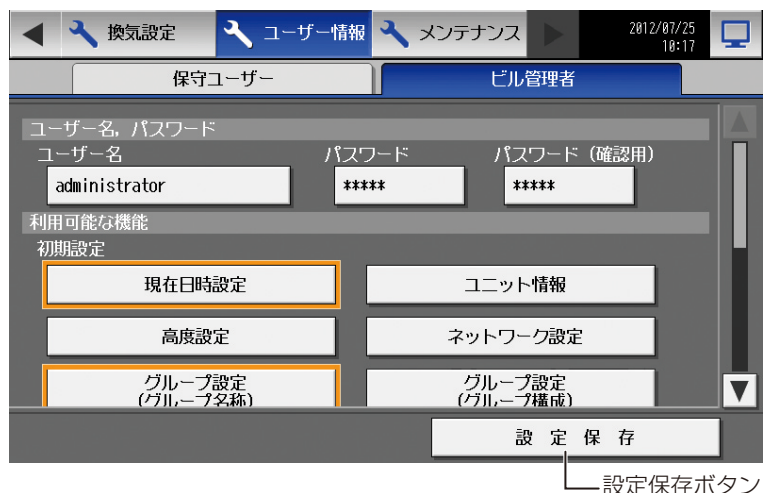
ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存ボタンをタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。



10-2. ビル管理者のユーザー設定を行う

ビル管理者のユーザー名、パスワードの変更、利用可能な機能の設定を行いたい場合、設定変更画面の[ユーザー情報]-[ビル管理者]をタッチし、ビル管理者のユーザー設定画面を表示します。

※ビル管理者でログインしている場合、現在の状況は確認できませんが、変更はできません。



(1) ビル管理者のユーザー名の変更

ビル管理者のユーザー名の変更を行う場合、ユーザー名入力ボタンをタッチし、キーボード画面を表示し、最大20文字でユーザー名の入力を行います。

(2) パスワードの変更

ビル管理者のユーザーパスワードの変更を行う場合、パスワード入力ボタンをタッチし、キーボード画面を表示し3文字～10文字でパスワードの入力し、パスワード(確認用)ボタンを押し、再度同じパスワードを入力します。

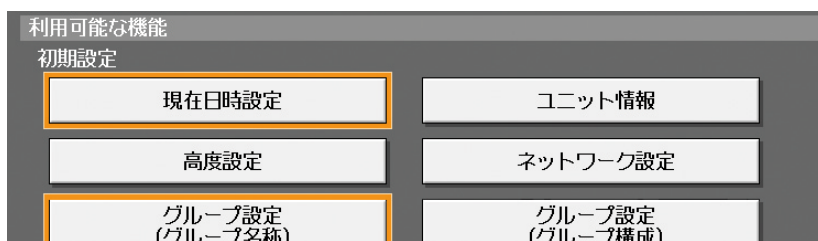
※画面の表示は、入力文字数分[*]が表示されます。

ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存ボタンをタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。



(3) 利用可能な機能の設定

利用可能な機能の設定を行う場合、機能利用可否ボタンをタッチすると、選択状態(オレンジ枠表示)になり、解除したい場合は、再度タッチすると非選択状態(オレンジ枠非表示)となります。選択、非選択にした状態で、設定保存ボタンをタッチすると変更が保存され、適用されます。



利用制限可能な機能一覧

機能		内容	
初期設定	現在日時設定	現在日時の設定	
	ユニット情報* ¹	G-150ADの本体情報の設定、ECの接続有無	
	高度設定* ¹	G-150ADの時刻マスタ/サブ設定、スケジュール季節設定の有効/無効	
	ネットワーク設定* ¹	G-150AD・ECのネットワークの設定、外部入出力等の設定	
	グループ設定	グループ名称	グループ名称の設定
		グループ構成* ¹	グループに所属する室内ユニット、換気機器、汎用機器、リモコン、システムコントローラの接続設定
	連動ロスナイ設定* ¹	連動する換気機器の接続設定	
	ブロック設定	ブロック名称	ブロック名称の設定
ブロック構成* ¹		ブロックに所属するグループの登録設定	
フロアレイアウト設定	フロア名称	フロア名称の設定	
	フロア構成* ¹	フロア構成の設定	
機能設定 1	ET制御設定	ET制御機能の設定	
	アドバンストパワーセーブ設定	アドバンストパワーセーブ機能の設定	
	サーモOFF時送風設定	サーモOFF時送風機能の設定	
	計測設定	計測の設定	
機能設定 2	外気温連動制御	外気温連動制御機能の設定	
	セットバック	セットバック機能の設定	
換気設定	24時間換気	換気機器の24時間換気機能の設定	
	ナイトパーシ	換気機器のナイトパーシ機能の設定	

* 1 : 工場出荷時、ビル管理者の操作は禁止となっております

11 メンテナンス画面

11-1. USBメモリへのデータコピー

お知らせ

●USBメモリは、下表に示す、動作確認済みのメモリを使用してください。(2013年5月現在)

No.	メーカー	型名	容量	No.	メーカー	型名	容量
1	Sandisk	SDCZ6-2048-J65RB	2G	10	Verbatim	USBM4GVWS1	4G
2	kingston	DT400/2GBFE	2G	11	SILICON POWER	SP002GBUF2M01V1 *	2G
3	I/O データ	TB-BH2/2G/ *	2G	12	ELECOM	MF-NU2A04G **	4G
4	I/O データ	TB-BH2/4G/ *	4G	13	Transcend	TS2GJFV33	2G
5	BUFFALO	RUF-C2GS- ** /U2	2G	14	TDK	UFD4GS-T * A	4G
6	BUFFALO	RUF2-C2GS- ** /M	2G	15	BUFFALO	RUF2-K4GE- **	4G
7	BUFFALO	RUF-C4GS- ** /U2	4G				
8	BUFFALO	RUF-C8GS- ** /U2	8G				
9	adata	C702	2G				

※ 3、4、5、6、7、8、11、12、14、15の型名の*、**には色が入ります。

※ 10、12、13、14についてはセキュリティ機能設定しない状態で使用してください。

●USBメモリが入手できない場合には下記①～③の条件を満たすものを選定し、運用前に、複数回、動作確認の上、使用してください。

※動作確認済みでないメモリで読み込み／書き込みを行うと予期せぬ動作となる可能性があります。

そのため運用する前(試運転時)に確認してから使用してください。データ書き込み異常が発生したメモリは使用しないでください。

①USB規格：USB1.1 対応していること。

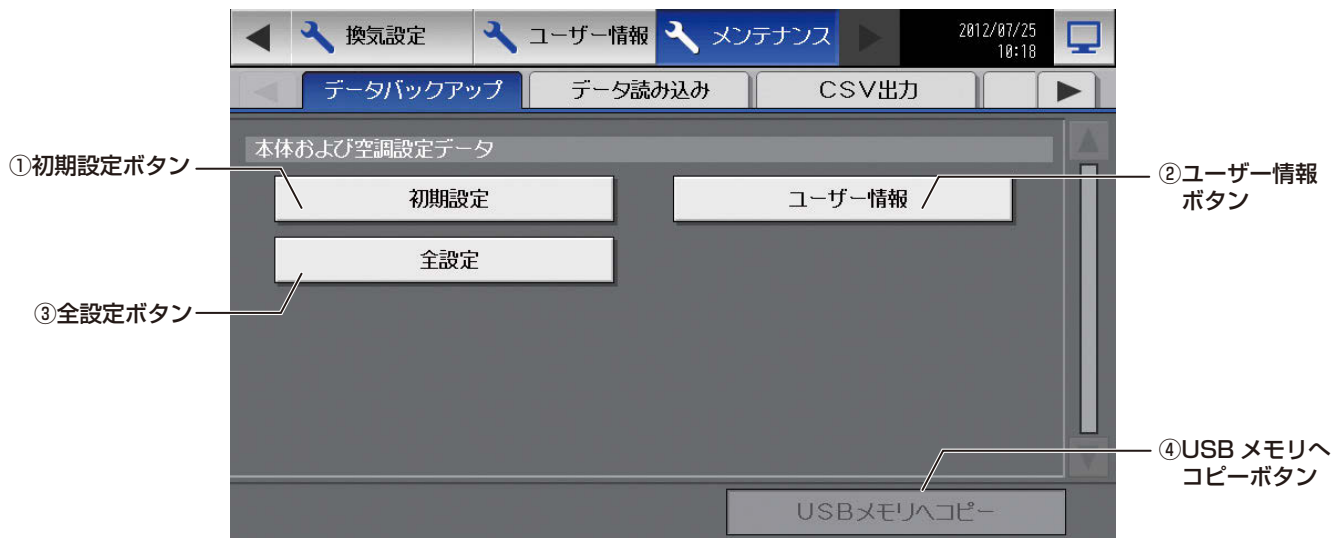
②フォーマット形式：FAT32、FAT(FAT16)形式でフォーマットされていること。

③セキュリティ機能がないものもしくはセキュリティ機能無しでも使用できるもの。

データ書き込み異常が発生した後、別のUSBメモリに変えても正常に書き込めないような場合は、G-150ADを再起動(電源切→入)してから最初に異常発生したもの以外のUSBメモリの確認を改めて行って下さい。



USBメモリへのデータコピーを行いたい場合、USB差込口にUSBメモリを挿し、設定変更画面の[メンテナンス]－[データバックアップ]をタッチし、データバックアップ画面を表示します。



データバックアップ画面

項目		内容
設定データ	①初期設定	<p>ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態で [USBメモリへコピー] ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダに ¥[製造番号] ¥SettingData のフォルダが作成され（既にフォルダがある場合はそのまま利用します）。このフォルダ内に G-150AD のユーザー情報を除く、設定データをコピーします。 ※液晶画面で設定できない、省エネ設定データなども保存します。 ※ビル管理者でログインした場合、保守ユーザーに利用可能な機能がすべて許可されていなければ選択できません。（利用可能な機能については、10-2 (P.106) を参照して下さい。)</p>
	②ユーザー情報	<p>ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態で [USBメモリへコピー] ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダに ¥[製造番号] ¥SettingData のフォルダが作成され（既にフォルダがある場合はそのまま利用します）、このフォルダ内に G-150AD のユーザー情報をコピーします。 ※保守ユーザーログイン時のみコピーできます。</p>
	③全設定	<p>ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態では、初期設定ボタン、ユーザー情報ボタンが解除状態となります。また、初期設定ボタン、ユーザー情報ボタンをタッチし、選択状態にすると、本ボタンは解除状態となります。 選択した状態で [USBメモリへコピー] ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダに ¥[製造番号] ¥SettingData のフォルダが作成され（既にフォルダがある場合はそのまま利用します）、このフォルダ内に G-150AD の全設定情報（初期設定データとユーザー情報データ）*をコピーします。</p>
④USBメモリへコピー	<p>初期設定ボタン、ユーザー情報ボタン、全設定ボタンを選択した状態で、タッチすると、選択しているボタンの内容を USBメモリに保存します。 ※自動的に固定のファイル名称が付けられ保存されます。 ※同じ機器で保存した前のデータが ¥[製造番号] ¥SettingData のフォルダ内に残っている場合、「以前のバックアップファイルが残っています。上書きしてもよろしいですか？」の確認画面が表示されます。 ※拡張コントローラーを接続している場合で、拡張コントローラーのソフトウェアバージョンが 1.00 の場合は、必ず G-150AD 本体、拡張コントローラーの両方でデータ保存を行ってください。 ※拡張コントローラーのバージョンが 1.10 以上の場合は、拡張コントローラーの設定データも同時に保存されます。 ※USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。 ※拡張コントローラーとの間の通信が正常に行われている状態でデータ保存を行ってください。 ※使用環境により、保存に数十分かかる場合があります。</p>	

※空調機スケジュールデータは、コピーの対象外です。

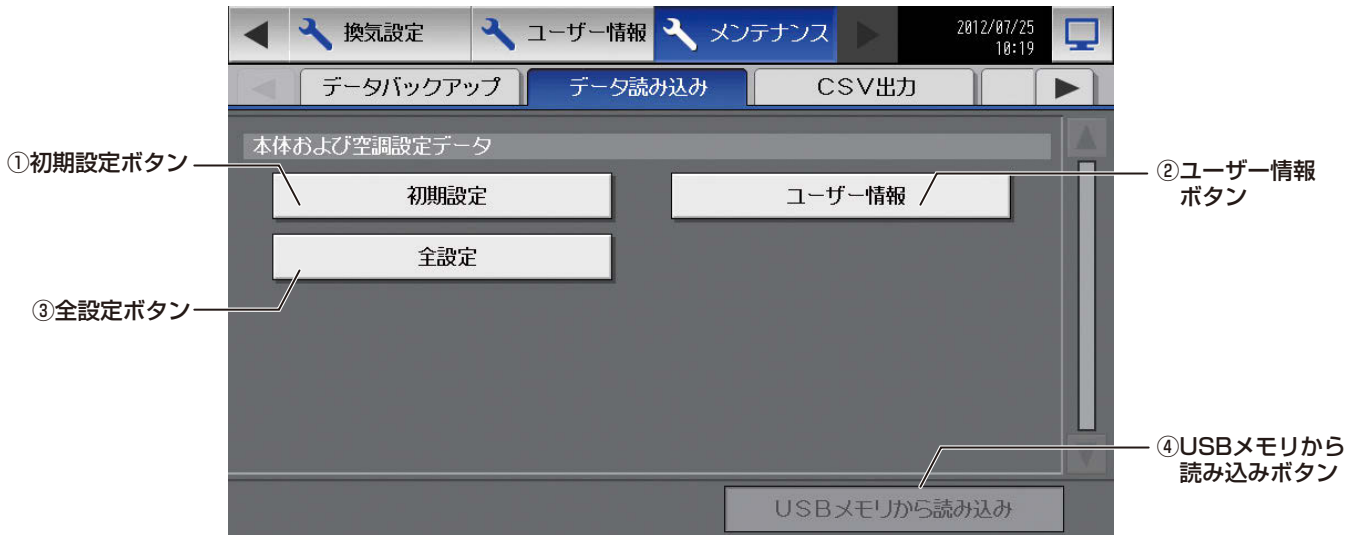
11-2. USBメモリから設定データを読み込む

USBメモリから設定データの読み込みを行いたい場合、USB差込口にUSBメモリを挿し、設定変更画面の[メンテナンス] - [データ読み込み]をタッチし、データ読み込み画面を表示します。

まず、PCを利用して、USBメモリのルートフォルダに[SetupData]フォルダを作成してください。作成した[SetupData]フォルダ内にG-150ADから書き出した設定ファイルを保存してください。

※ファイル名はバックアップ時に出力されたファイル名から変更しないでください。

※フォルダ名、ファイル名が違う場合は読み込めません。



データ読み込み画面

[SetupData]フォルダ内に設定ファイルを置きましたら、[初期設定][ユーザー情報][全設定]を選択して、[USBメモリから読み込み]をタッチしてください。しばらくお待ちいただき、完了のメッセージが表示されると読み込み完了です。完了後、選択したデータが読み込めているかを確認してください。

※読み込みが失敗する場合、フォルダ名、ファイル名を確認してください。

※読み込みが失敗する場合、USBメモリが挿さっているかを確認してください。

※拡張コントローラーから保存したデータは拡張コントローラーのUSB差込口から読み込んでください。

※拡張コントローラーやGB-50ADから保存したデータは読み込まないで下さい。

項目	内容
設定データ	①初期設定 ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態で[USBメモリから読み込み]ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダの[SetupData]フォルダ内のG-150ADのユーザー情報を除く、設定データを読み込みします。
	②ユーザー情報 ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態で[USBメモリから読み込み]ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダの[SetupData]フォルダ内のG-150ADのユーザー情報を読み込みします。
	③全設定 ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態となります。選択した状態では、初期設定ボタン、ユーザー情報ボタンが解除状態となります。また、初期設定ボタン、ユーザー情報ボタンをタッチし、選択状態にすると、本ボタンは解除状態となります。選択した状態で[USBメモリから読み込み]ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダの[SetupData]フォルダ内のG-150ADの全設定情報(初期設定データとユーザー情報データ)*を読み込みします。
④USBメモリから読み込み	初期設定ボタン、ユーザー情報ボタン、全設定ボタンを選択した状態で、タッチすると、選択しているボタンの内容を本体に読み込みます。 USBメモリにデータがない場合またはフォルダ名称が間違っている場合は、読み込むことは出来ません。 ※USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。 ※バージョンが異なるデータを読み込もうとした場合は、読み込みを行うかどうかの確認画面が表示されます。 ※他機種からコピーしたデータを本機で読みこまないでください。行った場合、正常に動作しません。 ※使用環境により、読み込みに数十分かかる場合があります。

※空調機スケジュールデータは、読み込みの対象外です。

11-3. 設定データ

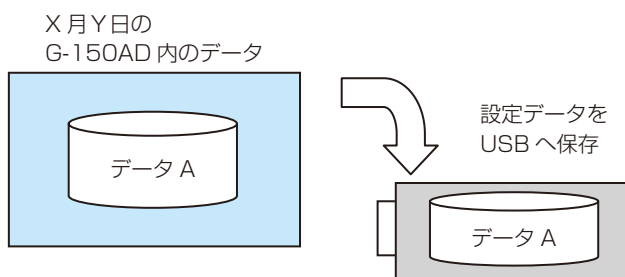
設定データ（初期設定、ユーザー情報、全設定）で読み込み、コピーするデータは以下の通りとなります。

項目	データ	
全 設 定	初期設定	[初期設定画面] - [ユニット情報画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [高度設定画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [ネットワーク設定画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [グループ設定画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [ブロック設定画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [連動ロスナイ設定画面]の設定内容
		[初期設定画面] - [フロアレイアウト]の設定内容 (USBメモリから読み込んだ平面図を含みます)
		[機能設定 1 画面] - [ET 制御設定画面]の設定内容
		[機能設定 1 画面] - [アドバンストパワーセーブ設定画面]の設定内容
		[機能設定 1 画面] - [計測設定画面]の設定内容
		[機能設定 2 画面] - [外気温連動制御画面]の設定内容
		[機能設定 2 画面] - [セットバック画面]の設定内容
		[換気設定] - [24 時間換気設定画面]の設定内容
		[換気設定] - [ナイトパーズ設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [初期設定] - [基本システム設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [初期設定] - [グループ設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [初期設定] - [連動ロスナイ設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [初期設定] - [ブロック設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 1] - [メール設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 1] - [ピークカット設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 1] - [ET 制御設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 1] - [アドバンストパワーセーブ設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 1] - [計測設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 2] - [設定温度範囲制限画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 2] - [ナイトモードスケジュール画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 2] - [オートチェンジオーバー画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 3] - [外気温連動制御画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 3] - [セットバック制御画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [機能設定 3] - [連動制御画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [換気設定] - [24 時間換気設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [換気設定] - [ナイトパーズ設定画面]の設定内容
		ユーザー情報
		[初期設定画面] - [ユーザー情報画面] - [ビル管理者画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [ユーザー設定] - [ユーザー設定画面]の設定内容
		Web ブラウザ - [システム設定] - [ユーザー登録画面]の設定内容

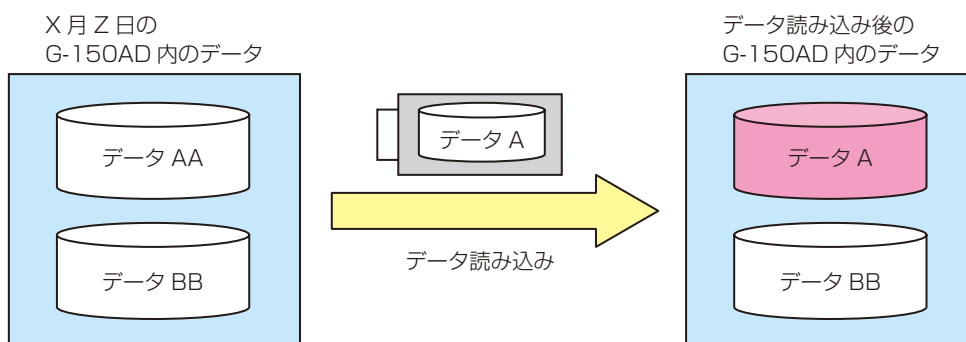
※空調機スケジュールデータは、読み込み・コピーの対象外です。

■ [初期設定]、[ユーザー情報]で保存したデータと[全設定]で保存したデータの違い

[初期設定]、[ユーザー情報]	それぞれ個別データとして扱います
[全設定]	保存時のG-150ADのデータ状態を維持します。

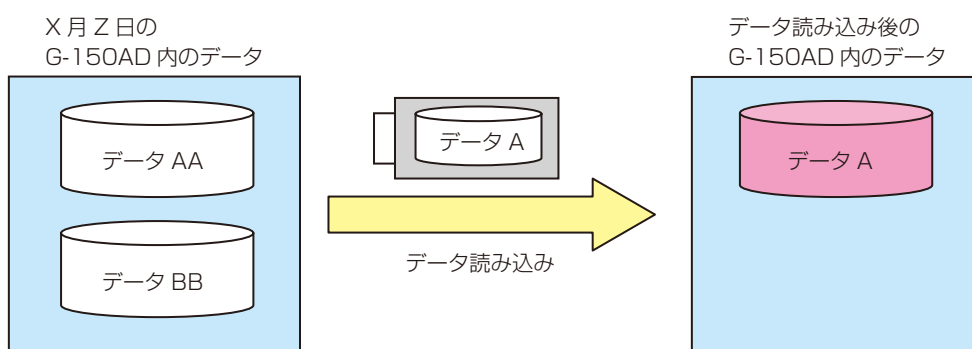


① [初期設定]、[ユーザー情報]で保存したデータを読み込んだ場合



- [データ AA]はUSBメモリ内の[データ A]に置き換わります。
- [データ BB]はそのまま残ります。

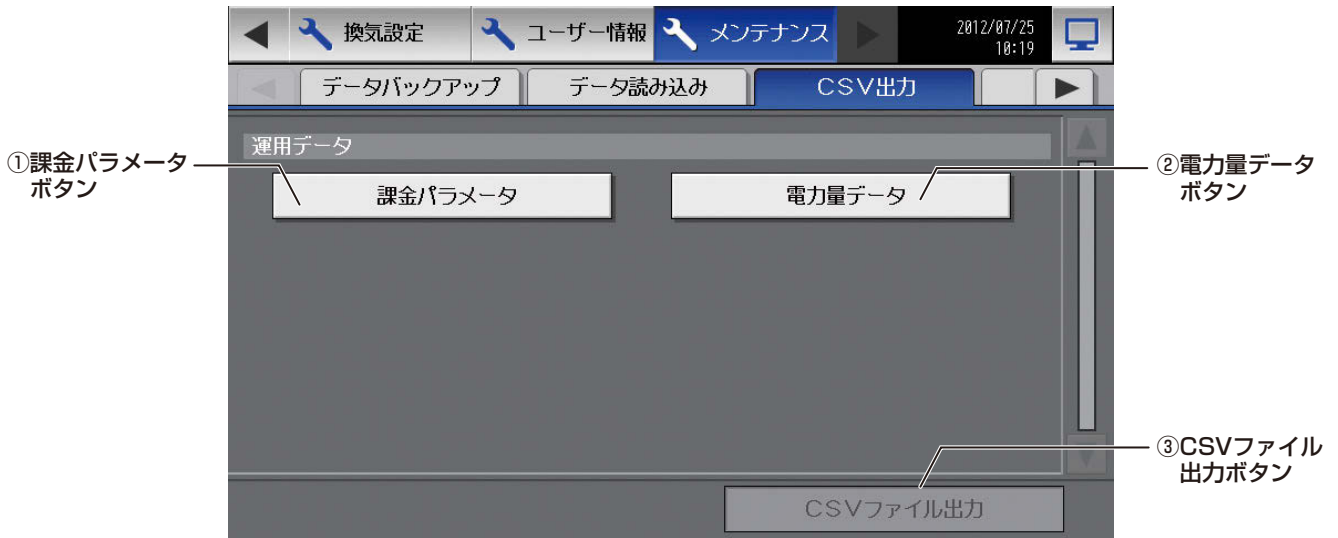
② [全設定]で保存したデータを読み込んだ場合



- [データ AA]はUSBメモリ内の[データ A]に置き換わります。
- [データ BB]はUSBメモリ内に存在しないので、削除されます。

11-4. 運用データ

USBメモリへ運用データのCSV出力を行いたい場合、USB差込口にUSBメモリを挿し、設定変更画面の[メンテナンス]—[CSV出力]をタッチし、CSV出力画面を表示します。



CSV 出力画面

項目		内容
運用データ	①課金パラメータ	<p>ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態になります。選択した状態で [CSVファイル出力] ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダに ¥[製造番号] ¥OperationalData ¥ChargeParameters ¥[日付] のフォルダが作成され、(既にフォルダがある場合はそのまま利用します)、このフォルダ内に課金パラメータデータをCSVファイルで保存します。</p> <p>※日付フォルダの形式は、[初期設定] — [ユニット情報画面] で設定した形式となります。</p> <p>※電力按分課金支援ライセンスが未登録の場合、選択できません。</p>
	②電力量データ	<p>ボタンをタッチすると選択状態になり、再度タッチすると選択解除状態になります。選択した状態で [CSVファイル出力] ボタンをタッチすると、USBメモリのルートフォルダに ¥[製造番号] ¥OperationalData ¥ChargeParameters ¥[日付] のフォルダが作成され、(既にフォルダがある場合はそのまま利用します)、このフォルダ内に電力量データをCSVファイルで保存します。</p> <p>※日付フォルダの形式は、[初期設定] — [ユニット情報画面] で設定した形式となります。</p> <p>※電力按分課金支援ライセンスが未登録の場合、選択できません。</p>
③CSVファイル出力		<p>課金パラメータボタン、電力量データボタンを選択した状態で、タッチすると、選択しているボタンの内容をUSBメモリに保存します。</p> <p>※自動的に固定のファイル名称が付けられ保存されます。</p> <p>※同じ機器で保存した前のデータが ¥[製造番号] ¥OperationalData ¥ChargeParameters ¥[日付] のフォルダ内に残っている場合、上書きされますので、前のデータを残したい場合は移動してから新たに保存してください。</p> <p>※拡張コントローラーを接続している場合で、拡張コントローラーのソフトウェアバージョンが 1.00 の場合は、必ず G-150AD 本体、拡張コントローラーの両方でデータ保存を行ってください。</p> <p>※拡張コントローラーのバージョンが 1.10 以上の場合は、拡張コントローラーの設定データも同時に保存されます。</p> <p>※USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。</p> <p>※拡張コントローラーとの間の通信が正常に行われている状態でデータ保存を行ってください。</p> <p>※課金パラメータの保存を行う場合は、数十分かかる場合があります。</p>

11-4-1. 課金パラメータデータ

CSV ファイル形式で出力される課金パラメータは以下のようになります。

※ フォルダ名の日付、ファイル名とファイル内容は [初期設定] - [ユニット情報画面] で選択されたフォーマットで表されます。

“2010年3月10日” は
 [dd/mm/yyyy] フォーマットでは、[10/03/2010]、
 [mm/dd/yyyy] フォーマットでは、[03/10/2010]、
 [yyyy/mm/dd] フォーマットでは、[2010/03/10] と表されます。

【ファイル名】

- 拡張コントローラなしの場合
 ChargeParameter_[yyyy]-[mm]-[dd]A[室内ユニットのアドレス(2桁固定)]-[時間帯(1~5)*].csv
 (yyyy : 年, mm : 月, dd : 日)
 例) ChargeParameter_2010-03-10A01-1.csv
 - 拡張コントローラありの場合
 ChargeParameter_[yyyy]-[mm]-[dd]A[拡張コントローラの番号(1~3)][室内ユニットのアドレス(2桁固定)]-[時間帯(1~5)*].csv (yyyy : 年, mm : 月, dd : 日)
 例) ChargeParameter_2010-03-10A1-01-1.csv
- * 時間帯 1 ~ 5 の設定は、TG-2000 からのみ行うことができます。出荷時の設定では時間帯 1 のみの設定となっています。

【ファイル内容】

各ファイルのCSV内容のフォーマットは以下の通りで、1ファイル最大62日分のデータを表示します。

※ CSVの区切り文字(“,” または“;”)、小数点の区切り文字(“.” または“.”)は初期設定Webにて設定された文字を利用します。

項目		フォーマット
1行目	ファイル区分	課金パラメータ : 201
2行目	データ範囲	開始日付 + "-" + 終了日付 ※年月日はユニット情報画面で設定されたフォーマットで記載されます。 [10/03/2010] 設定時は [dd/mm/yyyy] [03/10/2010] 設定時は [mm/dd/yyyy] [2010/03/10] 設定時は [yyyy/mm/dd]
3行目	室内ユニットアドレス	"Address " + M-NETアドレス
4行目	項目	"Date , SaveValue , ThermoTime , FanTime , SubHeaterTime"
5 ~ 66行目(最大)	データ	日付、能力セーブ量(分)、サーモON時間(分)、FAN運転時間(分)、補助ヒータON時間(分) ※各値は運転開始以降の積算量となります。 ※能力セーブ量は 運転時間(分) × 能力セーブ値(%) の値が積算されます。

- ※ 課金データのデータ範囲は 0 ~ 999999 で、最大値を超えた場合は再度、0 からカウントを始めます。
- ※ 運転が始まるまでデータがないため、ファイルは出力されません。
- ※ 空調機が運転し始めた時(初動時)からデータが出力されます。
- ※ 電力按分課金支援ライセンスが未登録の場合、ファイルは出力されません。

CSVフォーマット例(EC接続あり/なし共通)

201 2010/03/10-2010/03/12 Address 01 Date,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime 2010/03/10,57,102,150,0 2010/03/11,76,122,178,0 2010/03/12,84,134,194,0
--

11-4-2. 電力量データ

CSV ファイル形式で出力される電力量データは以下のようになります。

※ フォルダ名の日付、ファイル名とファイル内容は [初期設定] - [ユニット情報画面] で選択されたフォーマットで表されます。

“2010年3月10日” は
 [dd/mm/yyyy] フォーマットでは、[10/03/2010]、
 [mm/dd/yyyy] フォーマットでは、[03/10/2010]、
 [yyyy/mm/dd] フォーマットでは、[2010/03/10] と表されます。

【ファイル名】

- 拡張コントローラなしの場合
 ChargeParameter_[yyyy]-[mm]-[dd]MCPA[計量用計測コントローラのアドレス(01 ~ 50)]-[時間帯(1 ~ 5)*].csv
 (yyyy : 年, mm : 月, dd : 日)
 例) ChargeParameter_2010-03-10MCPA50-3.csv
 - 拡張コントローラありの場合
 ChargeParameter_[yyyy]-[mm]-[dd]MCPA[EC番号(1 ~ 3)]-[計量用計測コントローラのアドレス(01 ~ 50)]-[時間帯(1 ~ 5)*].csv (yyyy : 年, mm : 月, dd : 日)
 例) ChargeParameter_2010-03-10MCPA1-50-3.csv
- * 時間帯 1 ~ 5 の設定は、TG-2000 からのみ行うことができます。G-150ADの出荷時設定では、時間帯 1 のみの設定となっています。

【ファイル内容】

各ファイルのCSV内容のフォーマットは以下の通りで、1ファイル最大62日分のデータを並べて表示します。
 データは古いものから順に出力します。

※ CSVの区切り文字(“,” または“;”)、少数点の区切り文字(“.” または“.”)は初期設定Webにて設定された文字を利用します。

項目		フォーマット
1行目	ファイル区分	電力量データ:202
2行目	データ範囲	開始日付+“-”+終了日付 ※年月日はユニット情報画面で設定されたフォーマットで記載されます。 [10/03/2010] 設定時は [dd/mm/yyyy] [03/10/2010] 設定時は [mm/dd/yyyy] [2010/03/10] 設定時は [yyyy/mm/dd]
3行目	計量用計測 コントローラ	MCアドレスと時間帯(1 ~ 5)のデータを記載 [EC接続なし] “MCP+ M-NETアドレス(2桁)+” - “+時間帯(1桁) [EC接続あり] “MCP+EC番号(1桁)+” - “+M-NETアドレス(2桁)+” - “+時間帯(1桁)
4行目	項目	“No., Date, Count value(Ch1), Count value(Ch2), Count value(Ch3), Count value(Ch4)”
5 ~ 66行目(最大)	データ	no., 日付, Ch1 計量MC電力量(kWh), Ch2 計量MC電力量(kWh), Ch3 計量MC電力量(kWh), Ch4 計量MC電力量(kWh) ※各値は運転開始以降の積算量となります。

※電力積算量のデータ範囲は“0.00 ~ 999999.99”で最大値を超えた場合は再度、0.00 からカウントをはじめます。

※運転が始まるまでデータがないため、ファイルは出力されません。

※電力積算値がカウントされ始めた時(初動時)からデータが出力されます。

※電力按分課金支援ライセンスが未登録の場合、ファイルは出力されません。

※計量MC…計量用計測コントローラ(PAC-YG60MC)

CSVフォーマット例(EC接続なしの場合)

```
202
2010/03/10-2010/03/12
MCP 50-3
No.,Date,Count value(Ch1), Count value(Ch2), Count value(Ch3), Count value(Ch4)
503,2010/03/10,100000.00,0.00,0.00,0.00
503,2010/03/11,100100.00,0.00,0.00,0.00
503,2010/03/12,100250.00,0.00,0.00,0.00
```

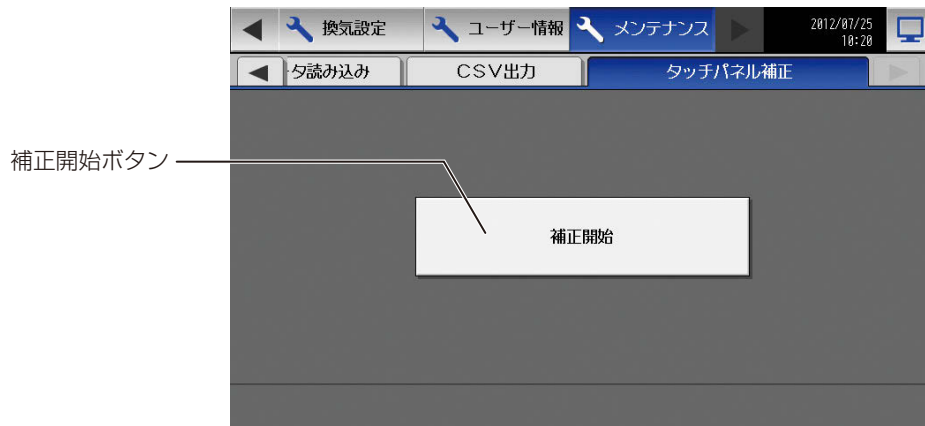
CSVフォーマット例(EC接続ありの場合)

```
202
2010/03/10-2010/03/12
MCP 1-50-3
No.,Date,Count value(Ch1), Count value(Ch2), Count value(Ch3), Count value(Ch4)
1503,2010/03/10,100000.00,0.00,0.00,0.00
1503,2010/03/11,100100.00,0.00,0.00,0.00
1503,2010/03/12,100250.00,0.00,0.00,0.00
```

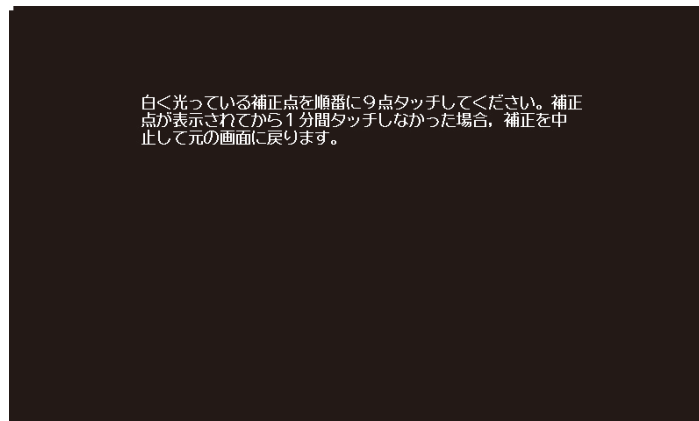
11-5. タッチパネルの調整を行う

タッチパネルの調整を行いたい場合、設定変更画面の[メンテナンス]→[タッチパネル補正]をタッチし、タッチパネル補正画面を表示します。

※タッチパネルの調整を行うときは、市販のタッチペンなどにて実施することを推奨します。



[補正開始]ボタンをタッチすると、補正画面が表示されます。



液晶画面に左上→中央上→右上→左中央→中央→右中央→左下→中央下→右下の順に5ドット×5ドットの白色の補正点を表示します。タッチするごとに補正点の表示が切り替わります。9点全てをタッチすると、終了のメッセージが表示され、タッチパネル補正画面に戻ります。なお、各補正点を表示してから1分間タッチされなかった場合は、既に押された補正点も全て破棄し(保存しない)、タッチパネル補正画面に戻ります。

※指でタッチすると、ずれる場合がありますので、先が細く鋭利でないものでタッチしてください。

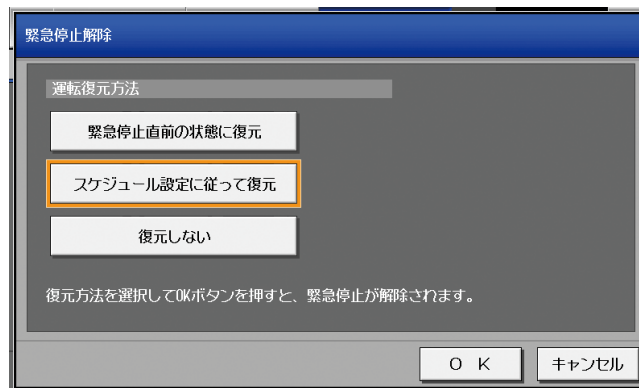
※タッチする際、鋭利なものでタッチすると画面に傷がつく場合があります。

11-6. 緊急停止解除画面

外部入力の機能設定が「緊急停止 復元モード(レベル入力)」の場合、入力接点ONで空調機、換気機器*の緊急停止を行います。その後、入力接点がOFFになっても空調機、換気機器は緊急停止させたまま、解除待ち状態になります。解除待ち状態では、上位機器(Facima BA System)から解除操作を行うことで、空調機、換気機器の緊急停止が解除されます。上位機器(Facima BA System)から解除操作ができない場合、緊急停止解除画面で解除操作を行うことができます。解除待ち状態になると、[メンテナンス]のサブメニューに[緊急停止解除]が表示され、タッチすると、緊急停止解除画面が表示されます。



[緊急停止解除] ボタンをタッチすると、運転復元方法を選択する画面が表示されます。拡張コントローラーを接続している場合、緊急停止解除は拡張コントローラー毎に行います。対象となる拡張コントローラーをECタブで選択してから、[緊急停止解除] ボタンをタッチします。
※ECタブは、解除待ち状態のECのみが選択できます。



(1) 空調機の運転復元方法を選択

[緊急停止直前の状態に復元][スケジュール設定に従って復元][復元しない]のいずれかを選択してください。(選択したボタンには、オレンジ枠が表示されます。)

[緊急停止直前の状態に復元] : 運転/停止(/ 24時間換気)を緊急停止直前の状態に復元する。

[スケジュール設定に従って復元] : 緊急停止中に実行されたスケジュールによる運転/停止(/ 24時間換気)に従い復元する。
(緊急停止中にスケジュール実行がなかった場合は緊急停止直前の状態に復元する。)



[復元しない] : 運転/停止(/ 24時間換気)の復元を行わない。

(2) 緊急停止解除実行を選択

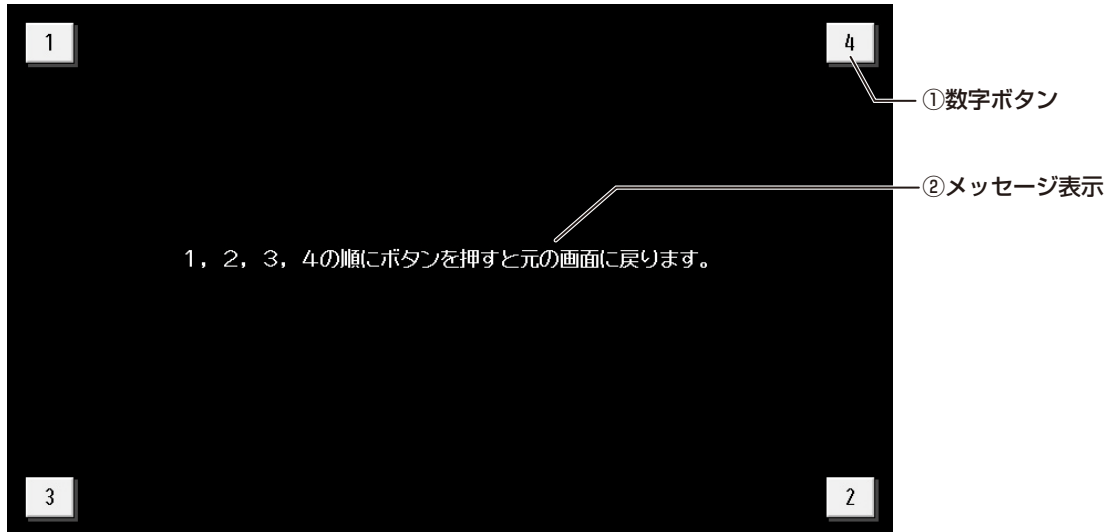
運転復元方法の選択後、OK ボタンをタッチすると緊急停止状態を解除し、運転復元方法の選択に従って空調機、換気機器*の運転状態を復元します。

※汎用DCは、ディップスイッチ設定により緊急停止時に停止させることが出来ませんが、解除時の運転状態復元の対象になりません。

12 タッチパネルの掃除を行う

タッチパネル表面の掃除を行いたい時は、[通常画面]で[設定変更ボタン]  をタッチし、ログイン画面を表示させ、タッチパネル掃除ボタン  をタッチすると、タッチパネル掃除画面が表示されます。この画面で、掃除を行ってください。

※表面を清掃する時は「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸しよく絞った布」又は「エタノールをしみ込ませた柔らかい布」で実施下さい。有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないで下さい。



項目	内容
①数字ボタン	[1] [2] [3] [4] の順序で連続してタッチすると、元の画面(通常画面)へ戻ります。それ以外の順序でのタッチした場合は、全てのボタンの押下状態が解除され、また[1] ボタンから順に押さないと元の画面へは戻りません。
②メッセージ	[1、2、3、4の順番にボタンを押すと元の画面に戻ります。] と表示。

13 外部入出力機能

- 外部入出力機能を使用する場合、別売りの外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) が必要です
- 拡張コントローラーを使用する場合、G-150AD 本体の外部入力は一括停止・一括運転には利用できません。拡張コントローラーの外部入力を使用してください。
- 拡張コントローラーを使用する場合、G-150AD 本体の外部入力を使用してデマンドレベル入力ができます。デマンド入力をする場合には、拡張コントローラー使用時でも G-150AD 本体の外部入力を使用します。
- 詳細について据付説明書および拡張コントローラー (PAC-YG50EC) 据付説明書/取扱説明書を参照してください。
- 汎用機器 (PAC-YG66DC 接続) は、外部入力機能の一括停止、一括運転の対象外です。ただし [緊急停止モード設定 (レベル入力)] [緊急停止 復元モード設定] を選択している場合は、汎用インターフェース (PAC-YG66DC) のスイッチ設定により一括停止の対象となります。

13-1. 外部入力機能

(1) 外部入力の機能設定

外部入力の設定

運転/停止/操作禁止/操作許可モード
(パルス入力)

設定変更画面のメニューバーの [初期設定] - [ネットワーク設定] をタッチしてネットワーク設定画面を開き、外部入力設定ボタンをタッチし、設定します。

- 機能設定により、外部入力機能を選択します。

外部入力信号の機能	ボタン上の表示	備考
利用しない/ デマンドレベルの入力を レベル信号で行う	<拡張コントローラを使用しない時> デマンドモード (レベル入力) /使用しない	デマンドレベルをレベル信号で入力する場合または、外部入力を使用しない場合に選択します。 デマンドレベルを4段階で入力できます。*
	<拡張コントローラを使用する時> 使用しない	外部入力を使用しない場合に選択します。 デマンドレベルの入力はできません。*
緊急停止/通常、 デマンドレベルの入力を レベル信号で行う (緊急停止モード設定 (レベル入力))	緊急停止モード (レベル入力)	緊急停止中、手元リモコンの運転/停止操作、および本機での運転/停止操作と禁止/許可の変更操作が禁止となります。スケジュール運転・24時間換気運転・ナイトパージ運転も実行されません。 緊急停止の信号をレベル信号で入力する場合に選択します。 デマンドレベルの入力は3段階で入力できます。*
緊急停止 復元/通常、 デマンドレベルの入力を レベル信号で行う (緊急停止 復元モード設定 (レベル入力))	緊急停止 復元モード (レベル入力)	緊急停止中、手元リモコンの運転/停止操作、および本機での運転/停止操作と禁止/許可の変更操作が禁止となります。スケジュール運転・24時間換気運転・ナイトパージ運転も実行されません。 接点をOFFにすると緊急停止解除待ちとなります (G-150AD 本体やリモコンの運転/停止操作の禁止は継続)。緊急停止解除および復元は上位機器 (Facima BA Sysetm) または本機が実施します。 (11-6. 緊急停止解除画面 (P.117) 参照) デマンドレベルの入力を3段階で入力できます。*
運転/停止を レベル信号で行う	運転/停止モード (レベル入力)	手元リモコンの運転/停止操作、および本機での運転/停止操作と禁止/許可の変更操作が禁止となります。スケジュール運転・24時間換気運転・ナイトパージ運転も実行されません。 (デマンドレベルの入力はできません)
運転/停止・禁止/許可を パルス信号で行う	運転/停止/操作禁止/ 操作許可モード (パルス入力)	接点 ON 時のパルス幅は 0.5 ~ 1 秒としてください。 (デマンドレベルの入力はできません)

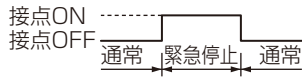
※拡張コントローラーの外部入力ではデマンドレベルの入力はできません。

拡張コントローラー使用時は、G-150AD 本体の外部入力を使用することで、デマンドレベルを4段階で入力できます。

(2) 入力信号

(2-1) レベル信号

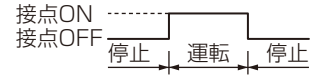
緊急停止/通常の場合



緊急停止 復元/通常の場合



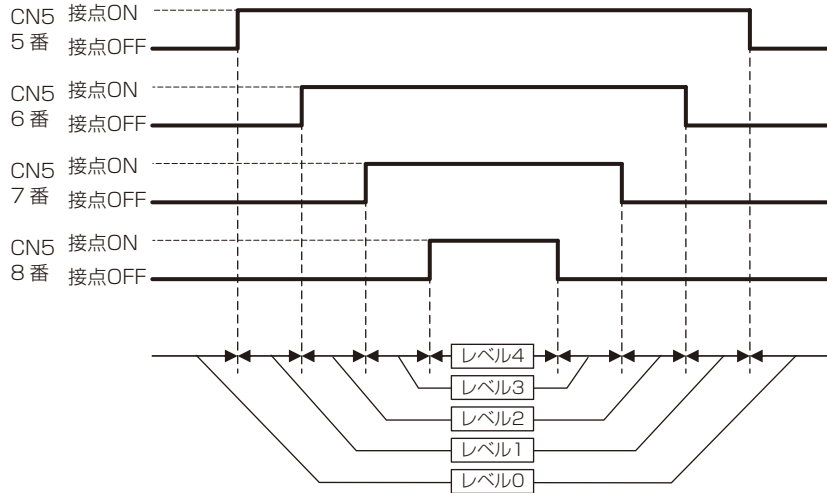
レベル運転/停止の場合



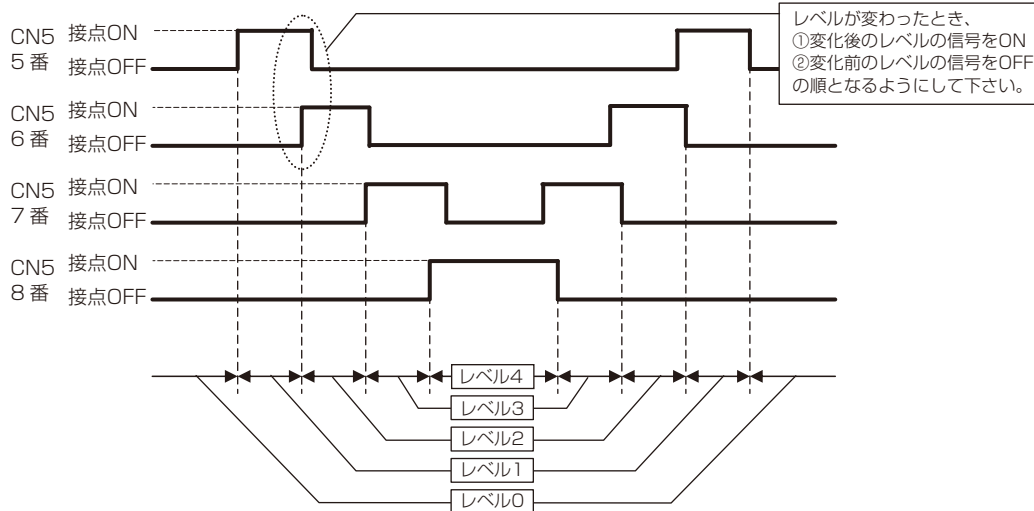
デマンドレベルの場合

2種類の仕様を想定し、下図に示すようにデマンドレベルを判定します。

(a) 高レベルの信号がONしているとき、低レベルの信号がOFFしない仕様の場合



(b) 現在のレベルの信号のみがONする仕様の場合

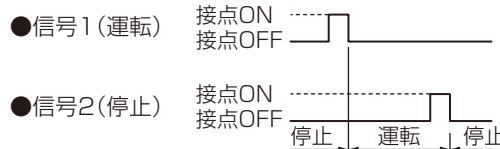


※外部入力の設定が「緊急停止モード(レベル入力)」または「緊急停止 復元モード(レベル入力)」の場合、CN5 の5番はデマンドレベル入力用ではないため、「レベル1」の入力はできません。

※外部入力の設定が「運転/停止モード(レベル入力)」または「運転/停止/操作禁止/操作許可モード(パルス入力)」の場合、デマンドレベル入力はできません。

(2-2) パルス信号

(例)運転/停止の場合



※パルス幅は0.5～1秒の範囲内としてください。
※禁止/許可入力も同様です。

(3) 外部入力端子の接続方法

CN5	リード線	緊急停止/通常のレベル信号	運転/停止のレベル信号	運転/停止、禁止/許可のパルス信号	デマンドレベル入力
No.5	橙	緊急停止/通常入力 (緊急停止 復元/通常入力)	運転/停止入力	運転入力	デマンドレベル 1
No.6	黄	デマンドレベル 2	未使用	停止入力	デマンドレベル 2
No.7	青	デマンドレベル 3	未使用	手元リモコン操作禁止入力	デマンドレベル 3
No.8	灰	デマンドレベル 4	未使用	手元リモコン操作許可入力	デマンドレベル 4
No.9	赤	外部DC電源+12Vまたは+24V			

お知らせ

●レベル信号の場合

- ・緊急停止の接点ON中は、本機および手元リモコンの操作（運転/停止のみ）が禁止となります。緊急停止解除後、空調機は停止状態のままとなりますので、運転したい場合は、手動で運転操作する必要があります。
- ・レベル運転/停止を使用中は常に本機および手元リモコンの操作（運転/停止のみ）が禁止となります。
- ・デマンドレベルの接点ON中は、デマンド制御がかかります。同時に接点をONにした場合レベルの高い方を優先して制御を行います。

●パルス信号の場合

- ・運転中に運転信号を入れても運転のままです。（停止、禁止、許可の場合も同様。）
- ・パルス信号で手元操作禁止とした場合、手元リモコンの運転/停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作が禁止となります。

13-2. 外部出力機能

(1) 外部出力の機能

- ・1台以上の空調機が運転している場合に、“運転”（接点ON）信号を出力します。
- ・1台以上の接続機器に異常が発生している場合“異常”（接点ON）信号を出力します。

(2) 外部出力端子の接続方法

CN5	リード線	各端子の内容
1番	緑	外部出力共通GND（外部DC電源GND）
2番	黒	運転/停止状態出力*
3番	茶	異常/正常状態出力

※「異常発生中」も「運転中」は出力されます。

※汎用機器（PAC-YG66DC）の運転状態は出力されません。

14 LAN 接続機能

LAN 接続機能を使用する場合は、本機のLANコネクタにLANケーブルを接続してください。

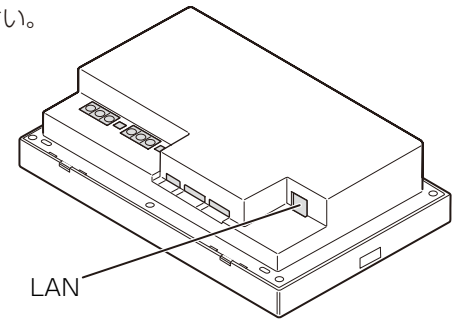
※LAN接続機能について、詳しくはWebブラウザの説明書を参照してください。

※LANケーブルは現地手配となり、100BASE-TX用ストレートケーブルをご用意ください。

※IPアドレスなどの設定方法は、「6-6. ネットワークの設定を行う」を参照してください。

※LANは100BASE-TXの仕様です。

※接続に用いるHUBはスイッチングHUBをお使いください。



お願い ・インターネットに接続するときにはルータなどのセキュリティ機器を使用して、必ずセキュリティを確保してください。

15 仕様

項目	内容		
電源	M-NET	DC17V ~ DC32V ※拡張コントローラーを使用する場合は、 使用しません。	※ PAC-SC51KU 給電装置 から給電
	本体駆動	DC24V	
周囲温度	動作時	0 ~ 40℃	
	保存時	- 20 ~ 60℃	
湿度	30 ~ 90% RH (結露なきこと)		
質量	2.1kg		
製品寸法 (W × H × D)	300 × 185 × 70.3 [25.6] mm * [] は壁埋め込み時の壁面からの厚さ		

16 異常コード一覧

お知らせ 異常が発生した場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

16-1. M-NET 異常コード

0100	ユニット異常一括
01*0	機器異常*エラー
0403	シリアル通信異常
0404	室内ユニット EEPROM 異常(A)
0701	燃焼回路異常(A)
0702	燃焼熱交過昇保護(A)
0703	失火異常(A)
0704	ヒーター異常(A)
0705	感震器作動異常(A)
0706	炎電流センサー異常(A)
0707	着火異常(A)
0708	プロアモーター回転数異常(A)
0709	油ポンプ回路異常(A)
0900	試運転モード
1000	冷媒系異常一括
10*0	冷媒系異常 *系統一括
1102	吐出温度異常(TH4)(A)
1108	インナーサーモ(49C) 作動(A)
11**	冷媒系温度異常 部位共通オペランド:**
12**	冷媒系温度異常猶予 部位共通オペランド:**
1300	低圧圧力異常(63L 作動)(A)
13**	冷媒系圧力異常 部位共通オペランド:**
14**	冷媒系圧力異常猶予 部位共通オペランド:**
1500	冷媒系 冷媒過充てん
1501	冷媒系 冷媒不足(／圧縮機シェル温度異常)
1502	冷媒系 液バック／低吐出スーパーヒート異常(A)
1503	冷媒系 凍結保護
1504	冷媒系 過昇保護
1505	冷媒系 圧縮機真空運転保護／冷媒低温異常
1506	冷媒系 冷媒ポンプ一括異常
1507	冷媒系 組成検知異常
1508	冷媒系 制御弁不良
1509	冷媒系 高圧圧力異常(ボールバルブ閉)
1510	冷媒系 ガス漏れ異常
1511	冷媒系 油面異常
1512	冷媒系 凍結予防停止
1513	冷媒系 ブライン凍結異常
1559	均油回路不良
1600	冷媒系 冷媒過充てん異常猶予
1601	冷媒系 冷媒量不足
1605	冷媒系 真空運転保護猶予
1606	冷媒系 ガスポンプ異常
1607	冷媒系 CS 回路閉塞異常猶予
1608	冷媒系 制御弁不良異常猶予
1659	冷媒系 均油回路不良異常猶予
2000	水系異常一括(ポンプインターロック異常)
20*0	水系異常 *系統一括
21**	水系温度異常 部位共通オペランド:**
22**	水系温度異常猶予 部位共通オペランド:**
23**	水系圧力異常 部位共通オペランド:**

24** 水系圧力異常猶予 部位共通オペランド:**
 2500 水系 漏水異常
 2501 水系 断水
 2502 水系 ドレンポンプ異常
 2503 水系 ドレンセンサー異常／フロートスイッチ作動
 2504 水系 液面レベル異常
 2505 水系 冷水電動弁異常
 2506 水系 温水電動弁異常
 2507 水系 結露防止制御作動
 2600 水系 漏水
 2601 水系 断水／加湿器断水
 2602 水系 ドレンポンプ異常
 2603 水系 ドレンセンサー異常
 2604 水系 液面レベル異常
 3152 空気系 インバーター制御箱内温度異常
 3182 空気系 庫内温度異常
 3252 空気系 インバーター制御箱内温度異常猶予
 3600 空気系 フィルター目詰まり
 3601 空気系 フィルターメンテナンス
 3602 空気系 ダンパー位置検出異常
 37** 空気系 異常猶予 部位共通オペランド:**
 38** 空気系 湿度異常 部位共通オペランド:**
 4000 電気系異常一括
 40*0 電気系異常 *系統一括
 4100 電気系 過電流遮断
 4101 電気系 過電流保護
 4102 電気系 欠相異常／欠相(T相)(A)
 4103 電気系 逆相／欠相異常
 4104 電気系 漏電
 4105 電気系 短絡
 4106 電気系 自電源OFF／停電異常
 4107 電気系 過負荷
 4108 電気系 過負荷保護／OCR51C／欠相(S相)、51CM コネクターオープン(A)
 4109 電気系 OCR51F
 4110 電気系 高電圧部
 4111 電気系 母線電流
 4112 電気系 巻線過熱 49℃
 4113 電気系 ヒーター過熱
 4114 電気系 ファンコントローラー異常
 4115 電気系 電源同期異常／入力回路(基板)不良
 4116 電気系 モーター異常／回転数異常
 4117 圧縮機自己保護機能作動(A)
 4118 逆相検出回路(基板)不良(A)
 4119 コネクター2本以上オープン(A)
 4121 電気系 高調波対策機器異常
 4123 電気系 インバーター出力異常
 4124 電気系 ダンパー異常
 4125 電気系 突防回路異常
 4158 電気系 過負荷保護／OCR51C異常猶予
 4162 電気系 圧縮機巻線温度異常猶予
 4163 電気系 ファンコントローラー異常猶予
 4165 電気系 電源同期異常猶予
 4171 電気系 高調波対策機器異常猶予
 4200 インバーター異常一括
 420* インバーター異常一括 インバーター番号:*

4210 インバーター過電流遮断異常一括
 421* インバーター過電流遮断 インバーター番号:*
 4220 インバーター母線電圧不足異常一括/電圧異常(A)
 422* インバーター母線電圧不足 インバーター番号:*
 4230 インバーター放熱サーモ異常一括
 423* インバーター放熱サーモ異常 インバーター番号:*
 4240 インバーター過電流(過負荷)保護異常一括
 424* インバーター過電流保護異常 インバーター番号:*
 4250 インバーター IPM /母線電圧異常一括/パワーモジュール異常(A)
 425* インバーター IPM 異常 *
 4260 インバーター冷却ファン異常
 426* インバーター冷却ファン異常 インバーター番号:*
 4300 インバーター異常猶予一括
 430* インバーター異常猶予一括 インバーター番号:*
 4310 インバーター過電流遮断異常猶予一括
 431* インバーター過電流遮断異常猶予 インバーター番号:*
 4320 インバーター母線電圧不足異常猶予一括
 432* インバーター母線電圧不足異常猶予 インバーター番号:*
 4330 インバーター放熱サーモ異常猶予一括
 433* インバーター放熱サーモ異常猶予 インバーター番号:*
 4340 インバーター過電流保護異常猶予一括
 434* インバーター過電流保護異常猶予 インバーター番号:*
 4350 インバーター IPM 異常猶予一括
 435* インバーター IPM 異常猶予 *
 4360 インバーター冷却ファン異常猶予一括
 436* インバーター冷却ファン異常猶予 インバーター番号:*
 5000 センサー故障一括
 50*0 センサー故障 *系統一括
 51** 温度センサー故障 センサー番号:**
 5202 コネクター(63L) オープン(A)
 52** 圧力センサー故障 センサー番号:**
 5300 電流センサー異常(A)
 53** 電流センサー故障 センサー番号:**
 54** 湿度センサー故障 センサー番号:**
 55** ガスセンサー故障 センサー番号:**
 56** 風速センサー故障 センサー番号:**
 57** リミットスイッチ故障 スイッチ番号:**
 58** センサー故障 センサー番号:**
 59** その他センサー故障 センサー番号:**
 6000 システム異常一括
 6101 システム異常 不能 応答フレーム有り
 6102 アンサーバック無し
 6200 コントローラH/W 異常一括
 6201 E2PROM異常
 6202 RTC異常
 6500 通信異常一括
 6600 通信異常 アドレス二重定義エラー
 6601 通信異常 極性未設定エラー
 6602 通信異常 伝送プロセッサ ハードウェアエラー
 6603 通信異常 伝送路BUSY エラー
 6604 通信異常 ACK(O6H)無し(通信回路異常)
 6605 通信異常 応答フレーム無し
 6606 通信異常 伝送プロセッサとの通信異常
 6607 通信異常 ACK無返送エラー
 6608 通信異常 応答フレーム無返送エラー

6609 通信異常
6610 通信異常
6700 通信異常 K伝送異常一括
6701 通信異常 K伝送エラー
6702 通信異常 Kアドレス二重定義エラー
6750 通信異常 K異常コード PO
6751 K異常 吸い込みセンサー異常
6752 K異常 配管センサー異常 凝縮温度検出センサー異常
6753 K異常 送受信エラー
6754 K異常 ドレンセンサー異常 フロートスイッチ作動
6755 K異常 ドレンポンプ異常
6756 K異常 凍結／過昇保護
6757 K異常 システムエラー
6758 K異常 室外ユニット異常 室内外通信エラー
6761 K異常 吸い込みセンサー異常
6762 K異常 配管センサー異常 凝縮温度検出センサー異常
6763 K異常 送受信エラー
6764 K異常 ドレンセンサー異常
6765 K異常 ドレンポンプ異常
6766 K異常 凍結／過昇保護
6767 K異常 室外ユニット異常 室内外通信エラー
6771 K異常 高圧圧力異常 低圧圧力異常
6772 K異常 インナーサーモ作動 吐出温度異常 シェルサーモ作動 過電流保護
6773 K異常 放熱板サーモ作動
6774 K異常 室外サーミス異常
6775 K異常 圧力センサー異常 室内外通信異常
6776 K異常 過電流遮断
6777 K異常 システムエラー
6778 K異常 正常
6779 K異常 冷媒過充てん 電圧異常 CTセンサー異常
6800 通信異常 その他の通信異常一括
6801 通信異常 V制御通信異常
6810 通信異常 UR通信異常一括
6811 通信異常 UR通信同期回復不能エラー
6812 通信異常 UR通信ハードウェアエラー
6813 通信異常 UR通信ステータスビット検出エラー
6820 その他の通信異常
6821 その他の通信異常 伝送路BUSY
6822 その他の通信異常 通信ACK無し
6823 その他の通信異常 応答コマンド無し
6824 その他の通信異常 受信データ誤り
6830 通信異常 MA 通信冷媒アドレス二重設定異常
6831 通信異常 MA 通信受信なし異常
6832 通信異常 MA 通信同期回復異常
6833 通信異常 MA 通信送受信H/W異常
6834 通信異常 MA 通信スタートビット検出異常
6840 通信異常 A制御内外通信受信無し異常
6841 通信異常 A制御内外通信同期回復異常
6844 通信異常 A制御内外通信内外接続誤配線、室内ユニット台数オーバー (5台以上)
6845 通信異常 A制御内外通信内外接続誤配線 (テレコ、外れ)
6846 通信異常 A制御内外通信立ち上げ時間オーバー
7000 システム異常一括
7100 システム異常 合計能力エラー
7101 システム異常 能力コードエラー
7102 システム異常 接続ユニット台数オーバー

7103	システム異常	配管長設定エラー
7104	システム異常	階高設定エラー
7105	システム異常	アドレス設定エラー
7106	システム異常	属性設定エラー
7107	システム異常	分岐口設定エラー
7108	システム異常	冷媒系設定エラー
7109	システム異常	接続設定エラー
7110	システム異常	冷媒系統接続／接続情報未設定エラー
7111	システム異常	I／O接続機器未接続／リモコンセンサー異常
7112	システム異常	I／O種別設定異常
7113	システム異常	機器未設定
7116	システム異常	リブレース未洗浄設定異常
7117	システム異常	機種識別未設定異常
7130	システム異常	組合せ異常
7131	システム異常	H／P冷専混在接続異常(設備PAC)
7132	システム異常	運転操作複数入力異常(設備PAC)
7200	システム異常	数値未設定一括
7201	システム異常	数値未設定
73**	システム異常	LON系機器異常

16-2. EC line 異常コード*

[6920]	応答なしエラー
[6922]	受信フレームID エラー
[7901]	接続台数オーバーエラー
[7902]	接続ロックエラー
[7903]	ユニット情報エラー
[7904]	システム設定エラー
[7905]	バージョンエラー

*EC line異常：G-150ADと拡張コントローラー（PAC-YG50EC）間の通信異常

■この取扱説明書は据付後お客様にお渡しください。

■ご不明な点に関するご相談はお買上げの販売店または三菱電機冷熱相談センターにお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT05495X14